

# 統計からみた 岐阜県 の現状



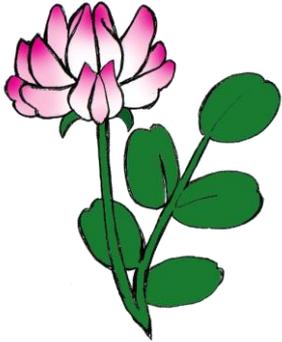
<平成以降の合併>

99市町村 (14市・55町・30村)

→42市町村 (21市・19町・2村)

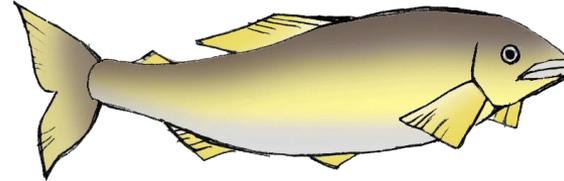
岐阜県環境エネルギー生活部統計課  
2025年7月

# 岐阜県の「花」「木」「魚」「鳥」 ～県のシンボルは特徴を示しています～



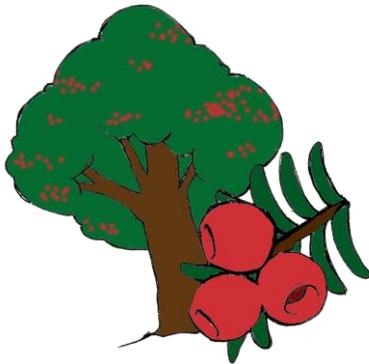
春ののどかな風景を象徴する花で、岐阜県は古くかられんげ草の主産地として知られています。

県の花：れんげ草



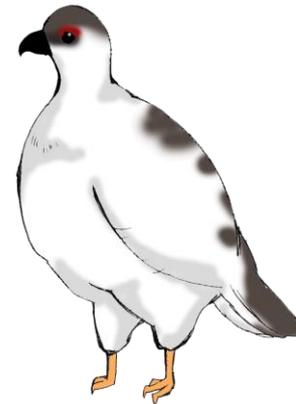
あゆは、美しい姿と良い香りで大切にされており、岐阜県のあゆは長良川の鵜飼とともに全国的に有名です。

県の魚：あゆ



昔、この木で笏（しゃく）を作って天皇にさしあげたところ正一位という位を受けました。それ以来、イチイと呼ばれていると伝えられています。

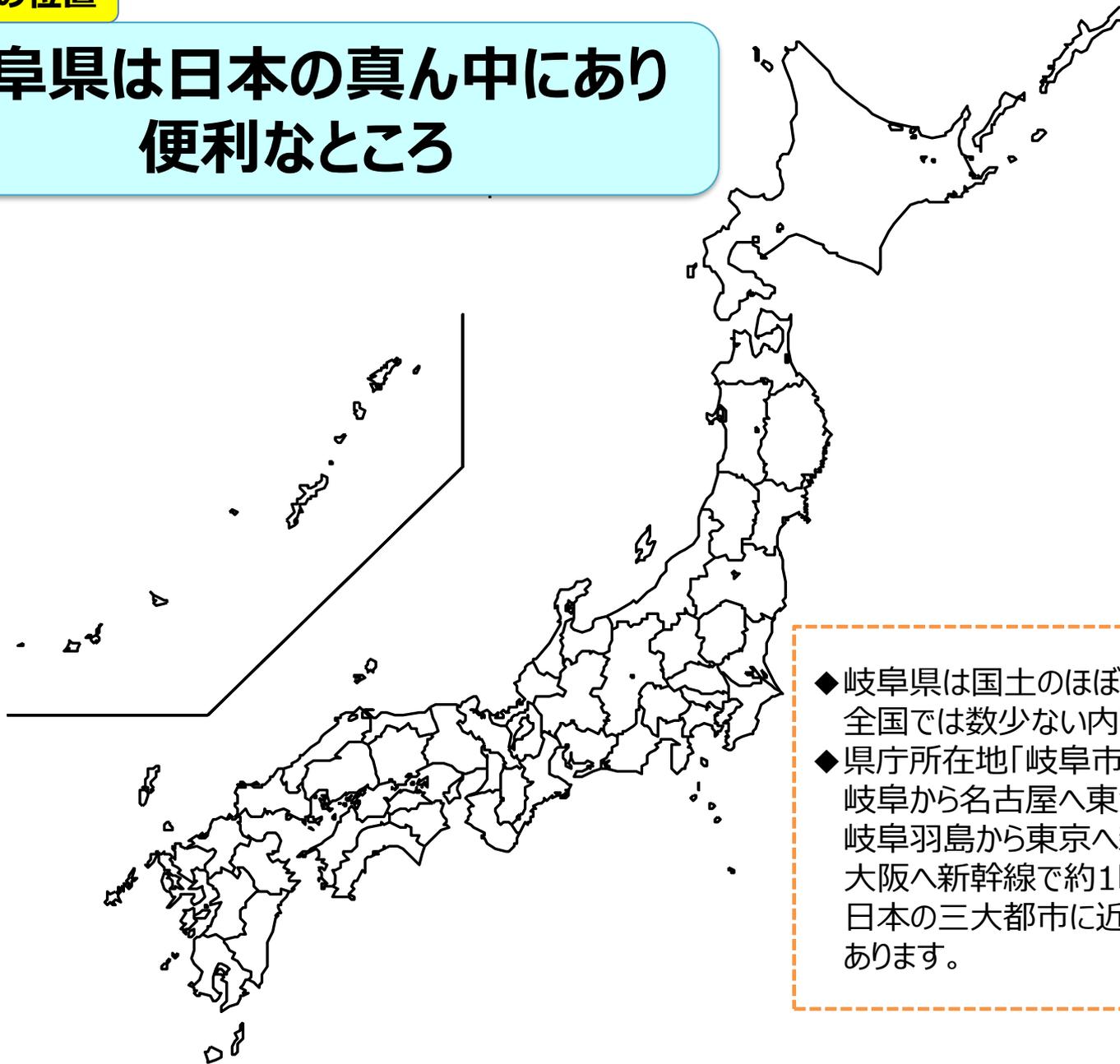
県の木：イチイ



ライチョウは、日本アルプスのうちでも、2400m以上の高い山に住み、羽毛は、夏は褐色、冬は白に変わります。国の特別天然記念物に指定されています。

県の鳥：ライチョウ

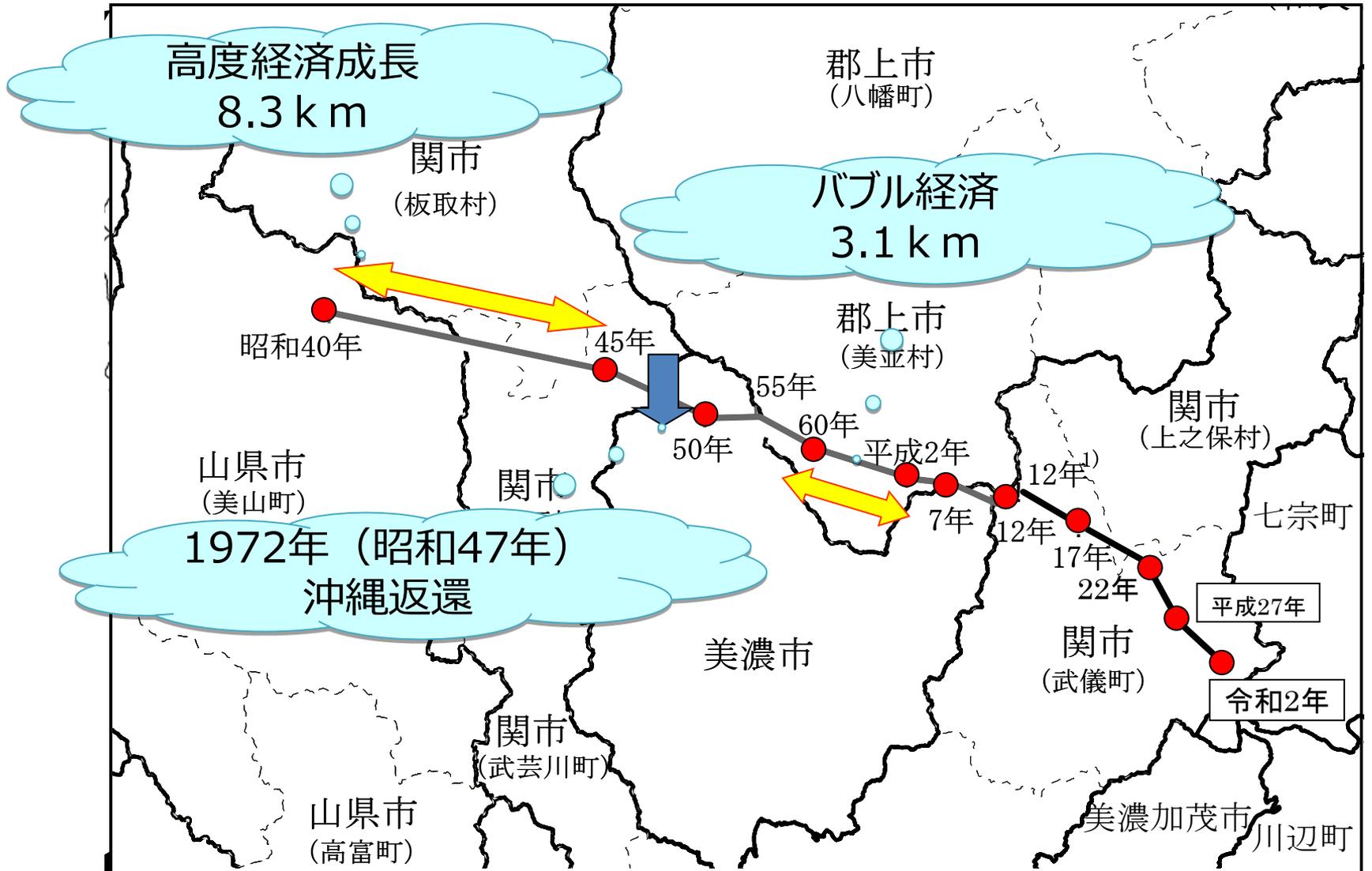
## 岐阜県は日本の真ん中にあり 便利なところ



- ◆ 岐阜県は国土のほぼ中央に位置し、全国では数少ない内陸県の一つです。
- ◆ 県庁所在地「岐阜市」からみると、岐阜から名古屋へ東海道線で約20分、岐阜羽島から東京へ新幹線で約2時間、大阪へ新幹線で約1時間と、日本の三大都市に近く、便利な位置にあります。

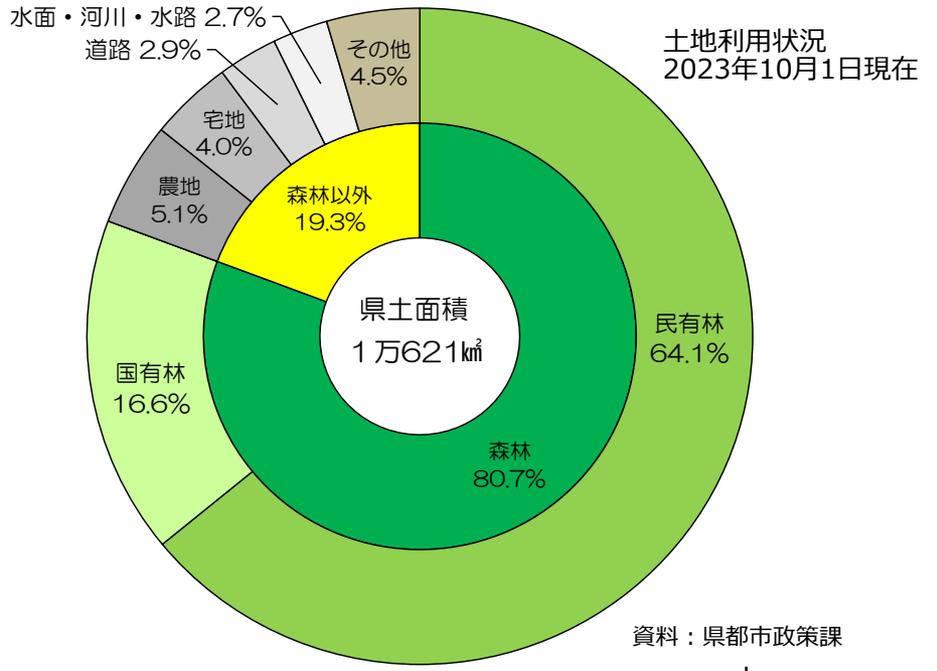
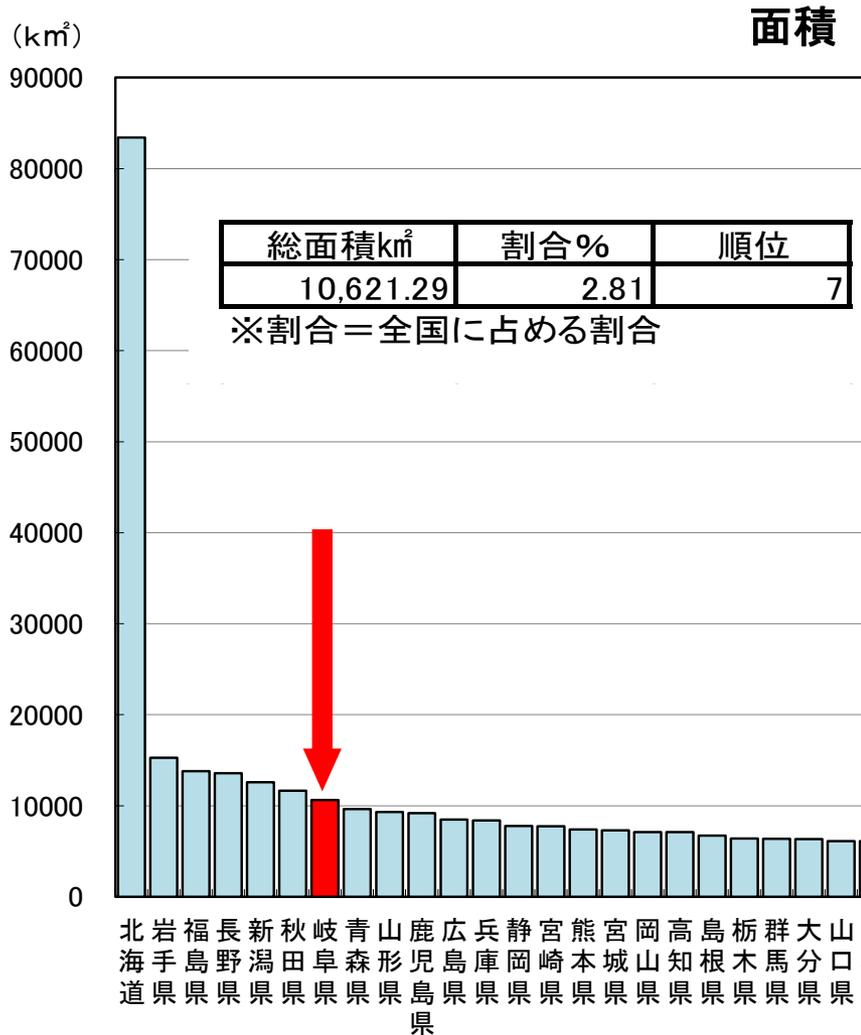


# 人口重心は一貫して南東へ移動 ～人口重心の動きは日本の人口移動を反映～



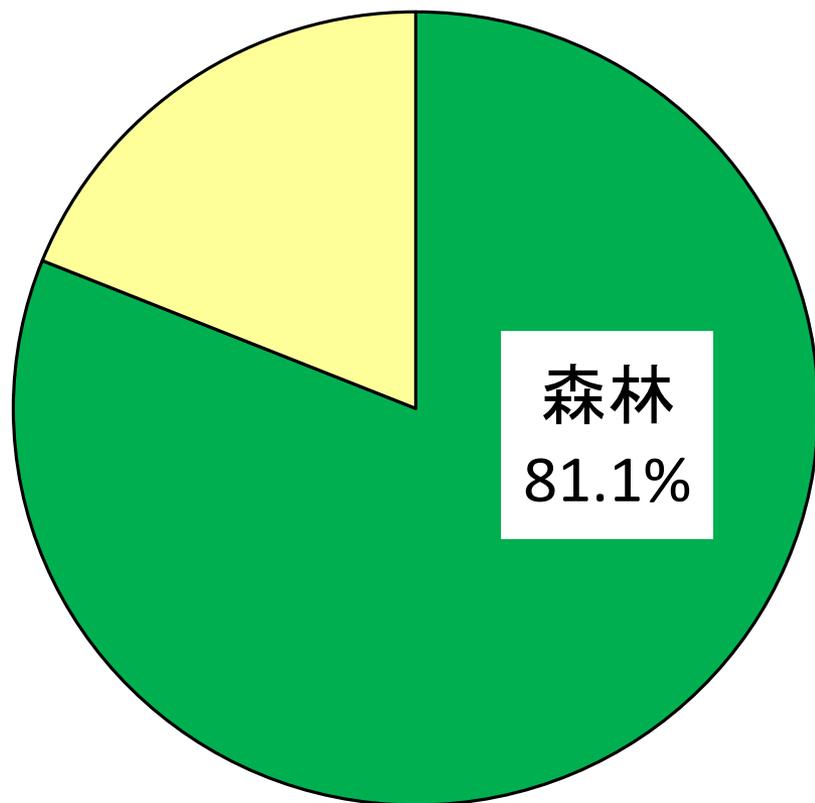
# 面積は全国7位と広い県

▶ 岐阜県の県土面積は10621 km<sup>2</sup>で  
全国7位と広い。



# 県土の約8割が豊かな森林 森林率は、全国2位！ ～豊かな森が清らかな水を蓄える～

県土に占める森林の割合（森林率）



## 【森林率】

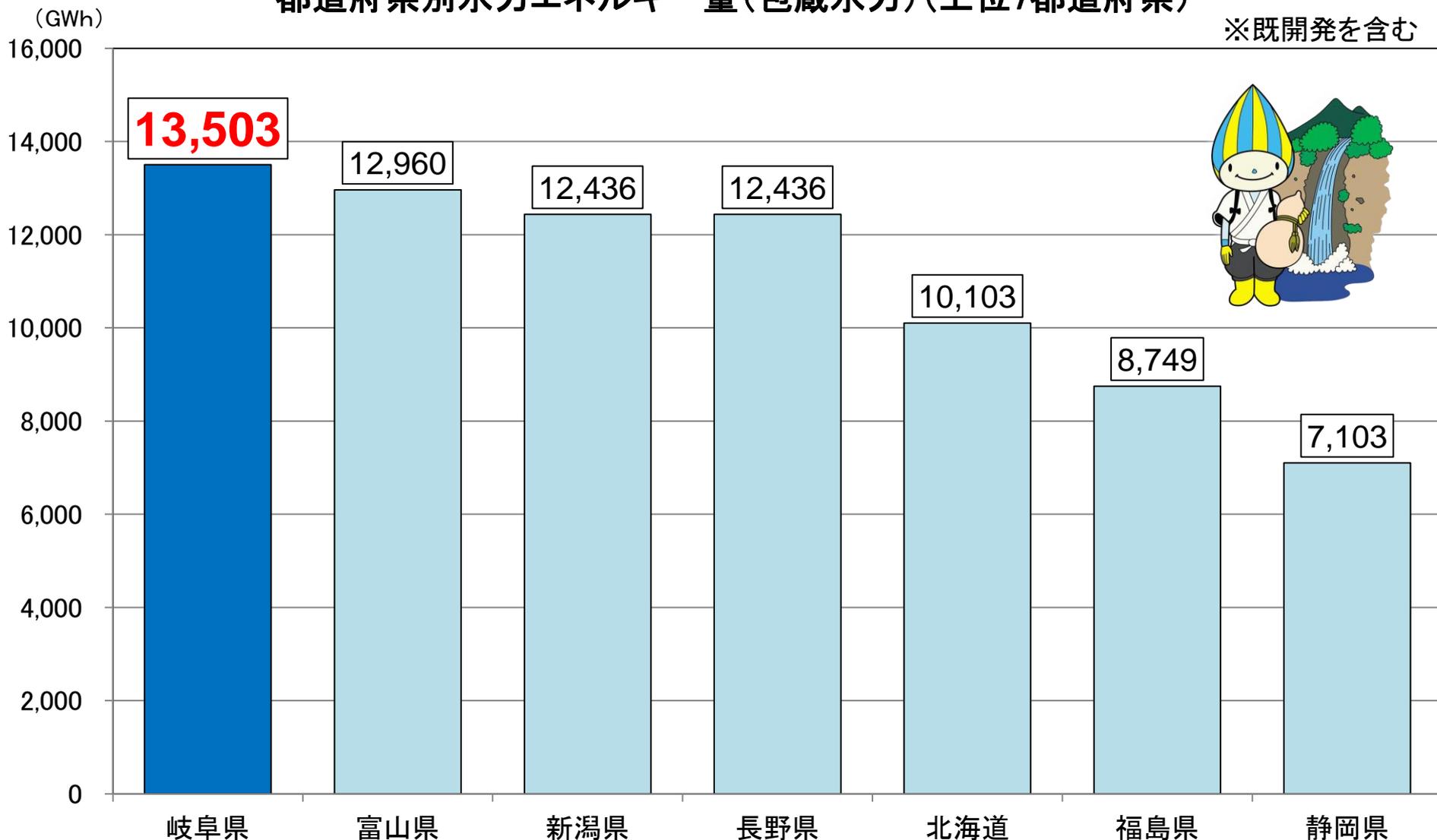
- 1位 高知県 83.6%
- 2位 岐阜県 81.1%
- 3位 長野県 78.7%
- 4位 島根県 78.2%
- 5位 山梨県 78.0%

出典：林野庁「都道府県別森林率・人工林率」(令和4年(2022年)3月31日現在)

# 豊かな水資源 岐阜県の水力エネルギー量は1位！

## 都道府県別水力エネルギー量(包蔵水力)(上位7都道府県)

※既開発を含む

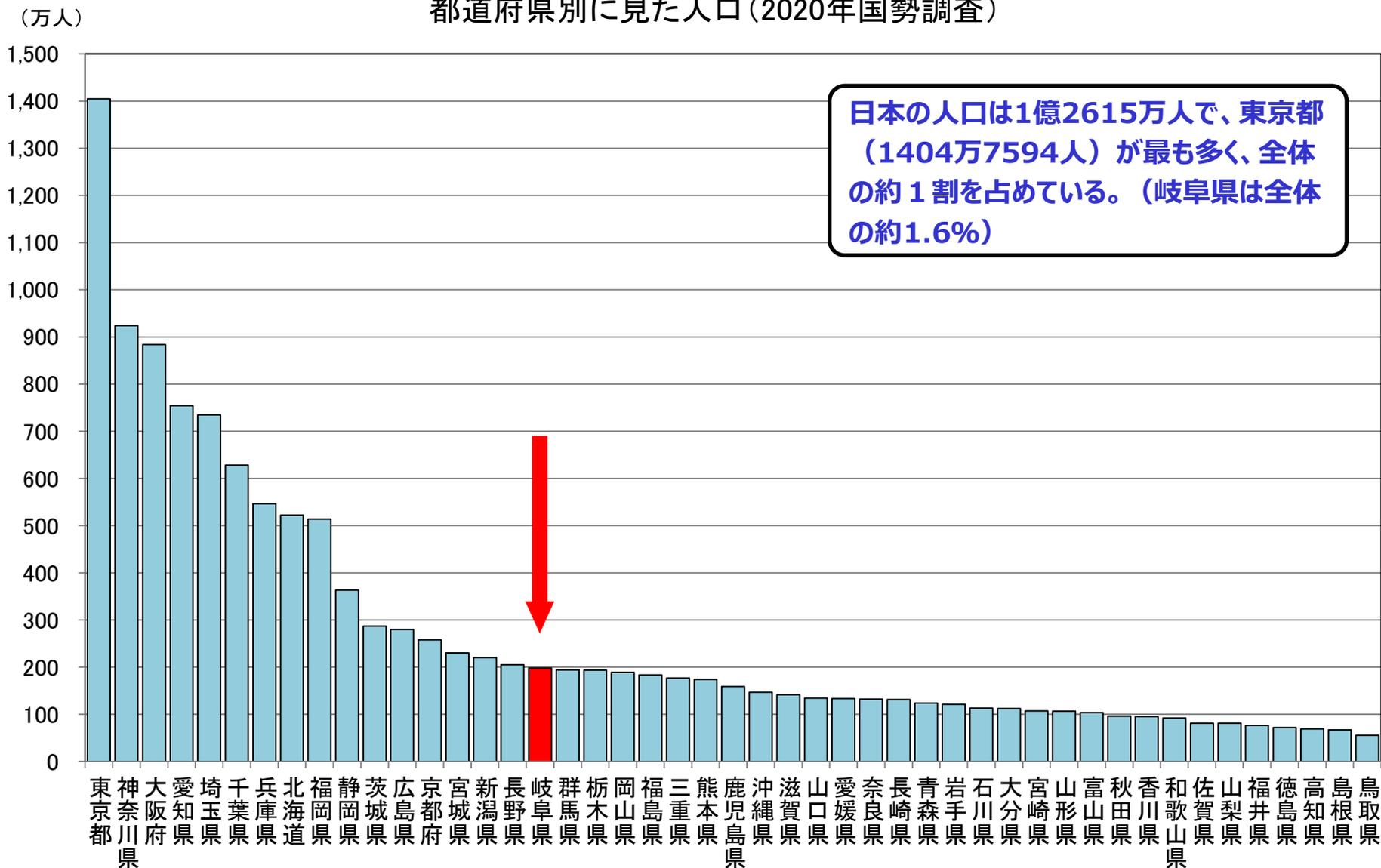


出典: 資源エネルギー庁HP「都道府県別包蔵水力」(2023年3月31日現在)

# 岐阜県の人口

# 岐阜県の人口は全国第17位と多い方

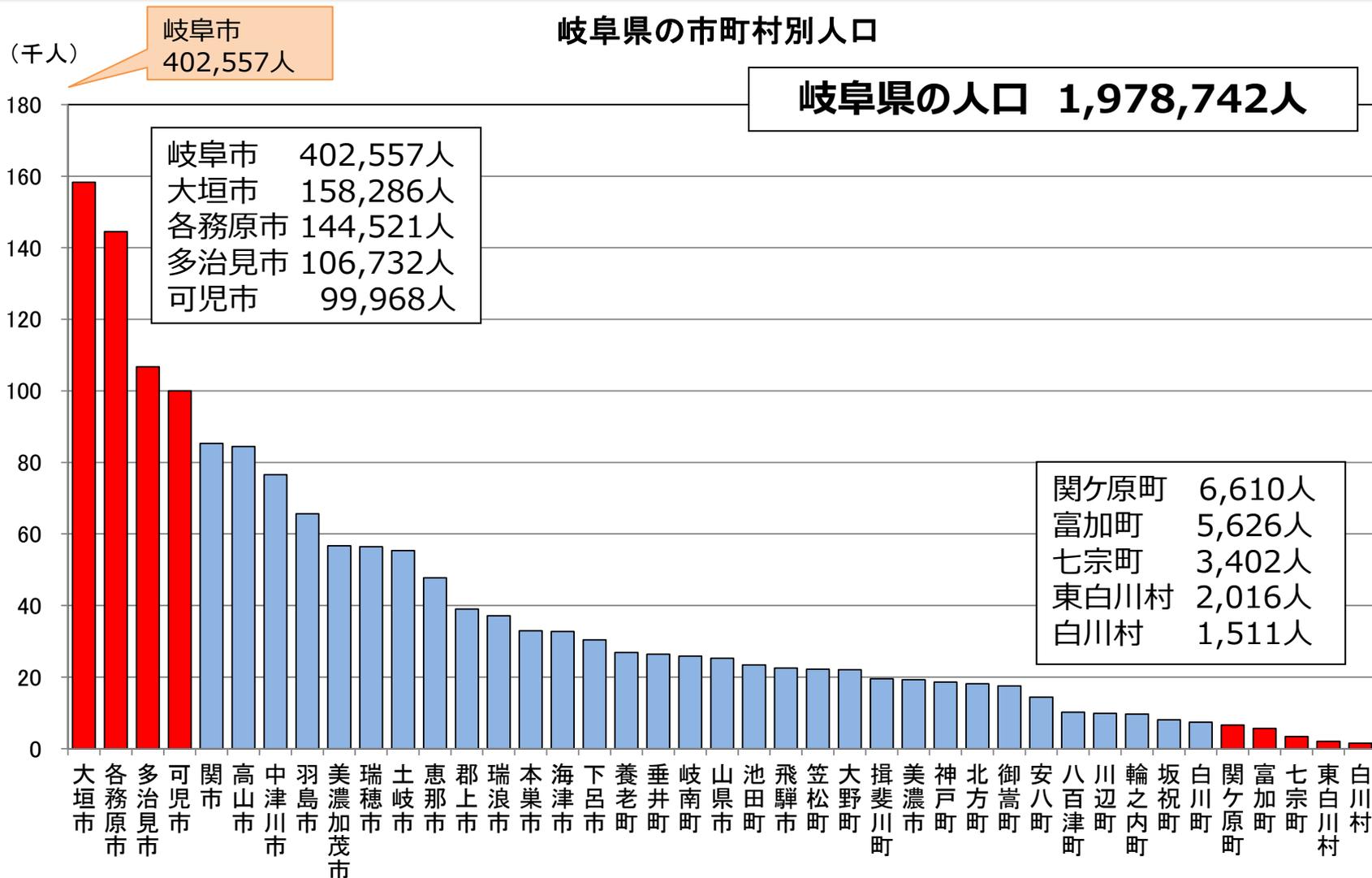
都道府県別に見た人口（2020年国勢調査）



出典：総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

# 人口が多い市町は南部に多い

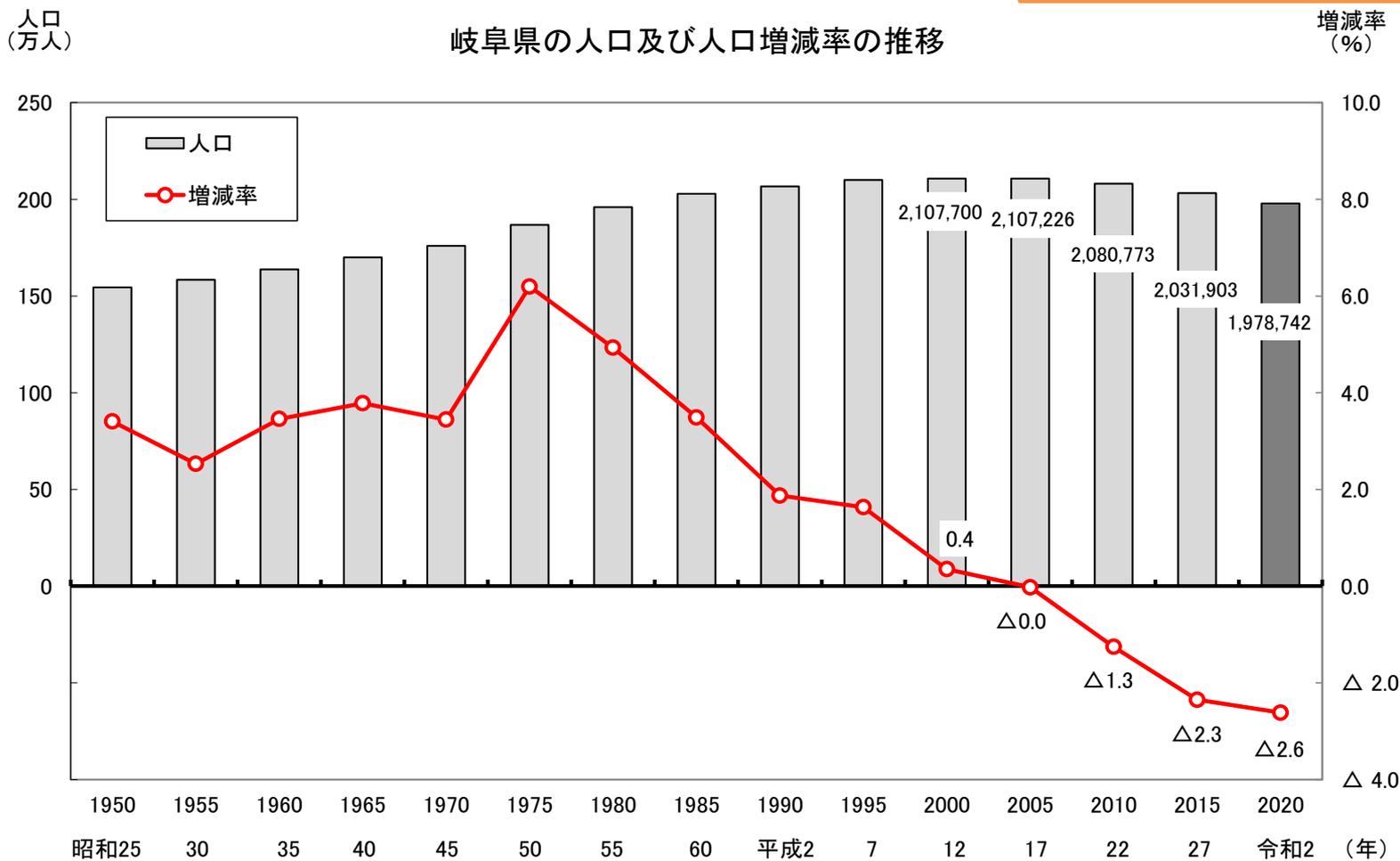
岐阜市、大垣市、各務原市、多治見市、可児市の人口を合計すると、  
県全体の人口の46%を占める



# 2020年国勢調査による県人口は、197万8742人（全国17位） 前回調査（2015年）以降の5年間で約5万3千人減少

県人口 2015年10月1日現在：2,031,903人  
 2020年10月1日現在：1,978,742人（△53,161人）

5年間の人口減少数は土岐市人口（55,348人）に匹敵



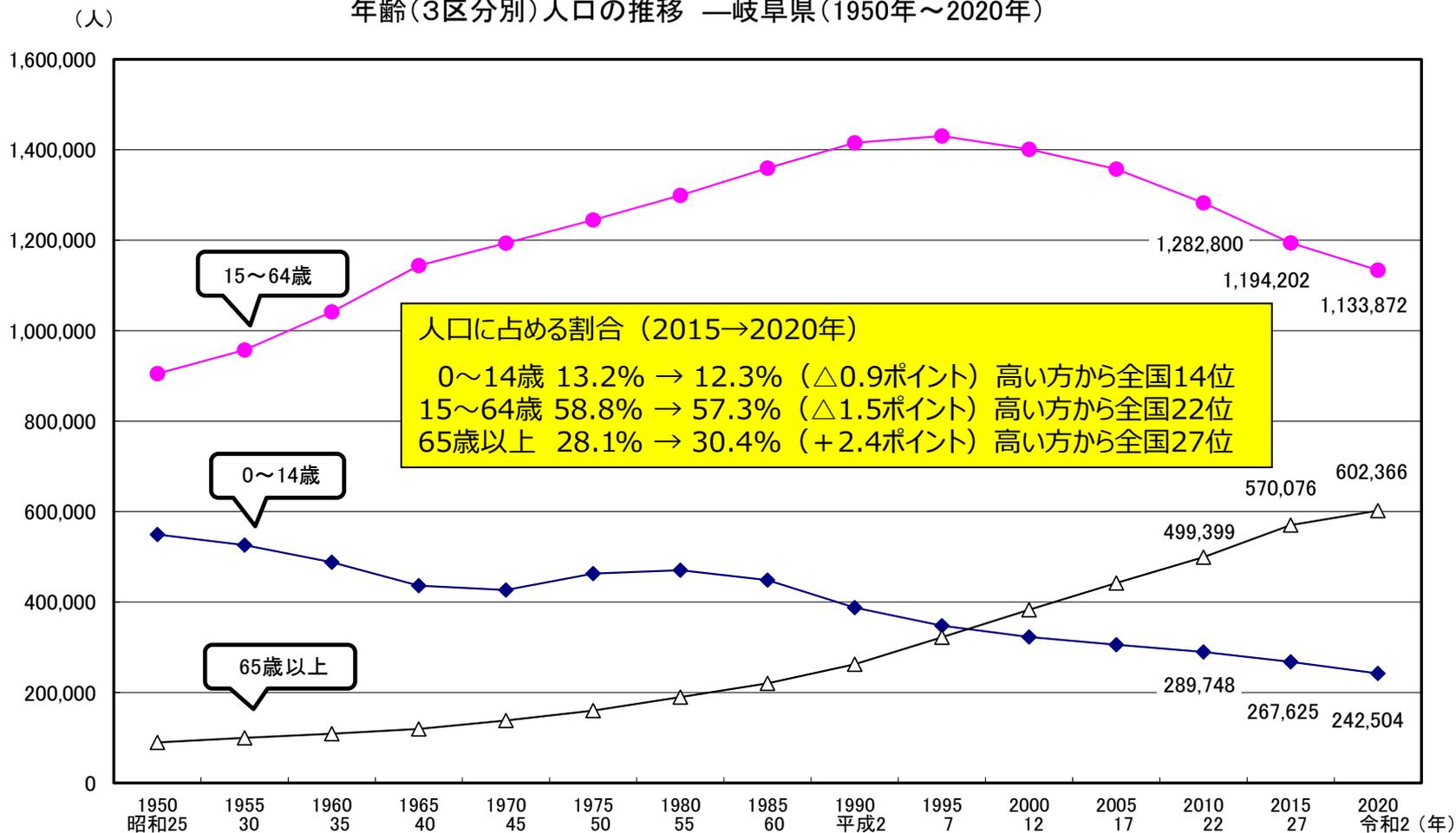
出典：総務省「国勢調査」

# 年齢別にみた人口

## 0～14歳の子どもが減り続ける一方で、65歳以上の高齢者は大幅に増加 社会を支える中心層である15～64歳の「現役世代」は約6万人の大幅減

0～14歳	2015年： 267,625人 → 2020年： 242,504人(△25,121人)	減少数は山口市(25,280人)に相当
15～64歳	2015年： 1,194,202人 → 2020年： 1,133,872人(△60,330人)	減少数は美濃加茂市(56,689人)に相当
65歳以上	2015年： 570,076人 → 2020年： 602,366人(+38,290人)	増加数は郡上市(38,997人)に相当

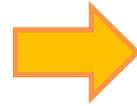
年齢(3区分別)人口の推移 岐阜県(1950年～2020年)



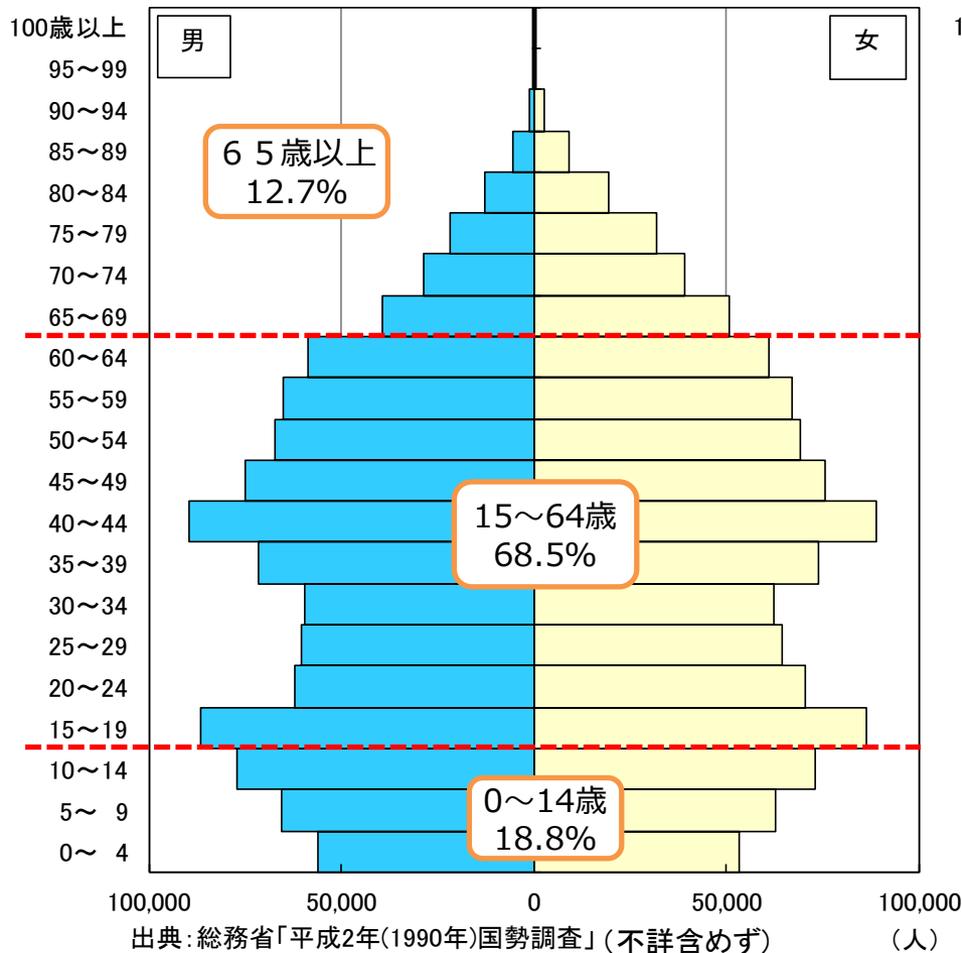
出典：総務省「国勢調査」

注：2010年(平成22年)までは年齢不詳を含まない。2015年(平成27年)以降は年齢不詳含む。

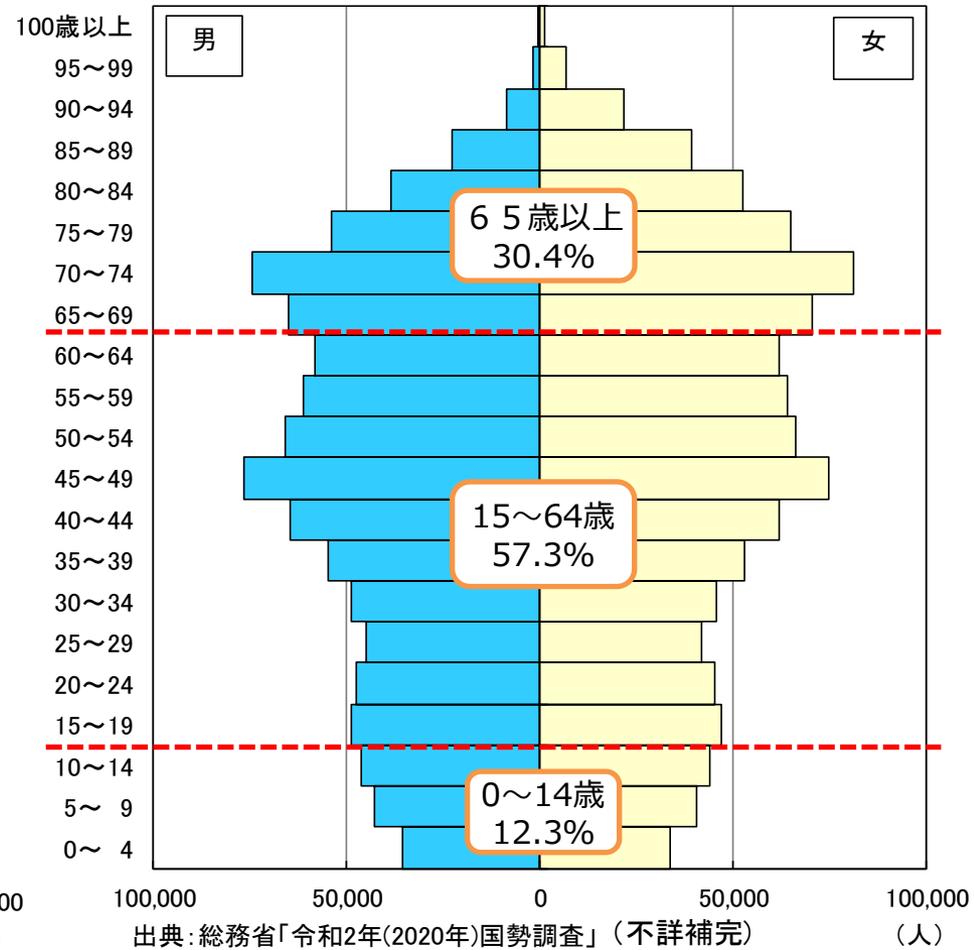
# 人口ピラミッドをみると、高齢層の厚みが増した「つぼ型」に変化 ～若い世代ほど少ない年齢構造に～



1990年人口ピラミッド(岐阜県)

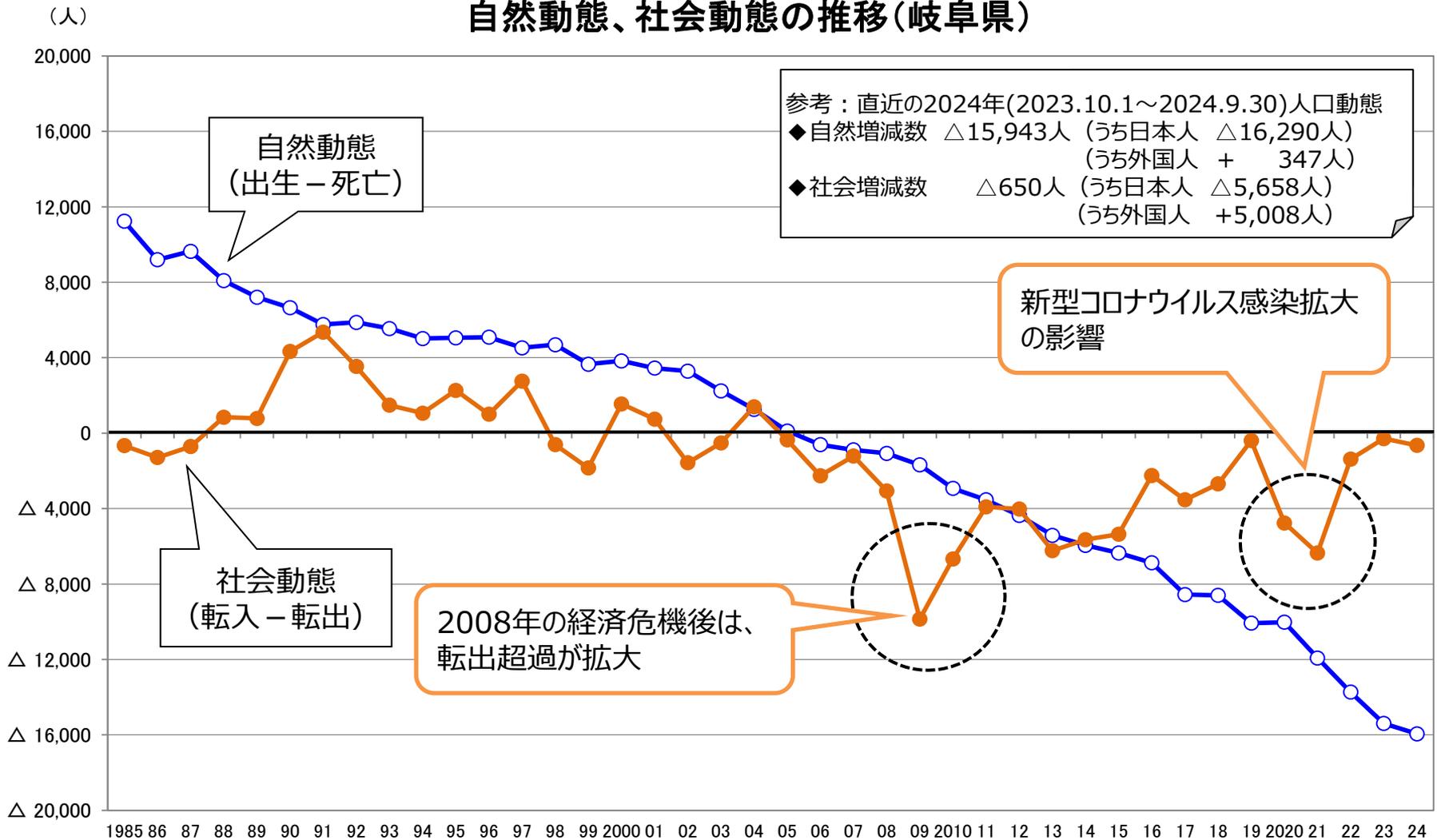


2020年人口ピラミッド(岐阜県)



# 死亡数が出生数を上回る自然減少が年々拡大していることに加え、転出者が転入者を上回る社会減少(転出超過)が続くことが原因

自然動態、社会動態の推移(岐阜県)

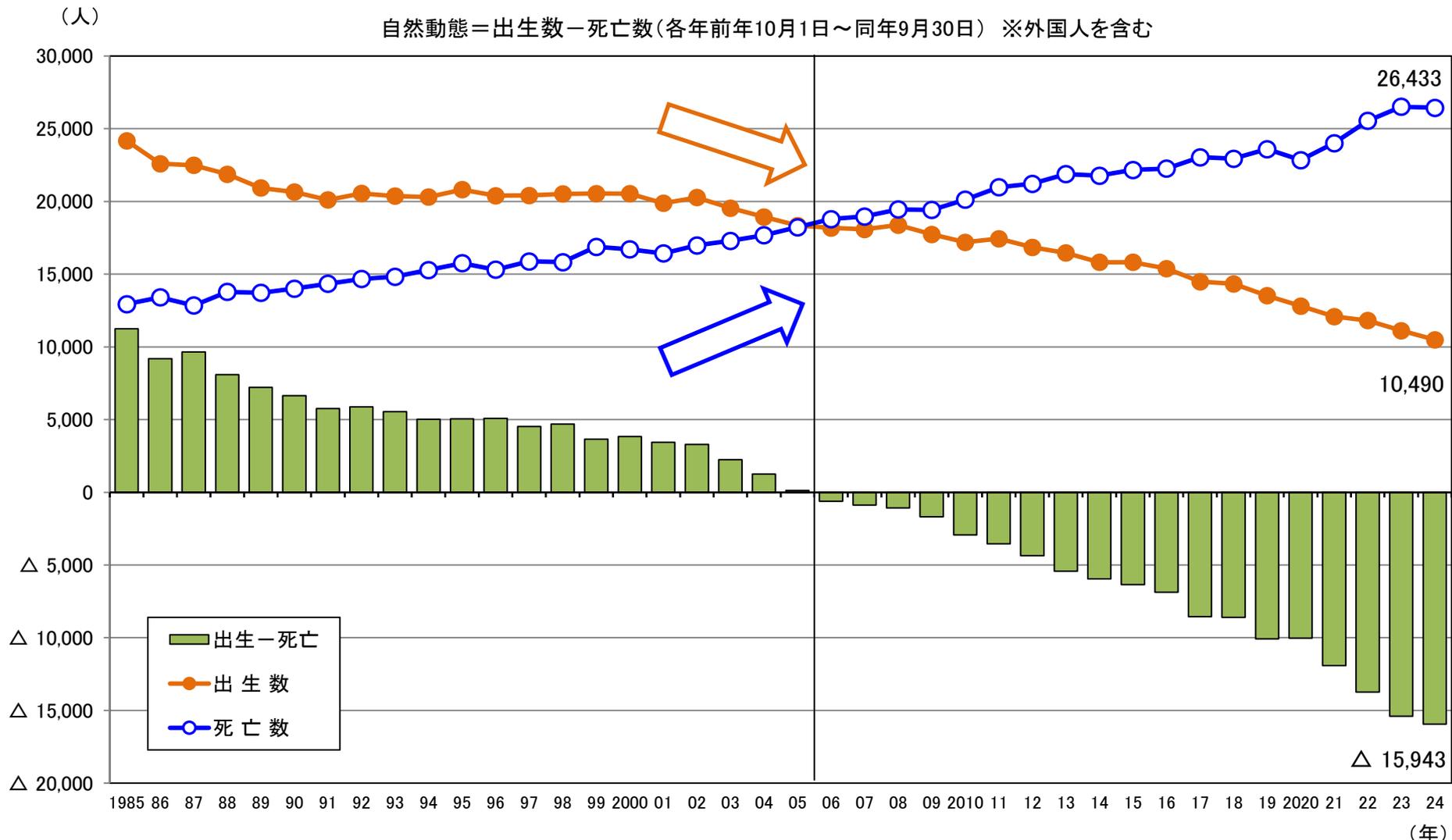


出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」(前年10月1日～当年9月30日)

# 自然減少が始まったのは2006年から その後、減少幅は拡大傾向

## 出生数、死亡数(自然動態)の推移

自然動態＝出生数－死亡数(各年前年10月1日～同年9月30日) ※外国人を含む

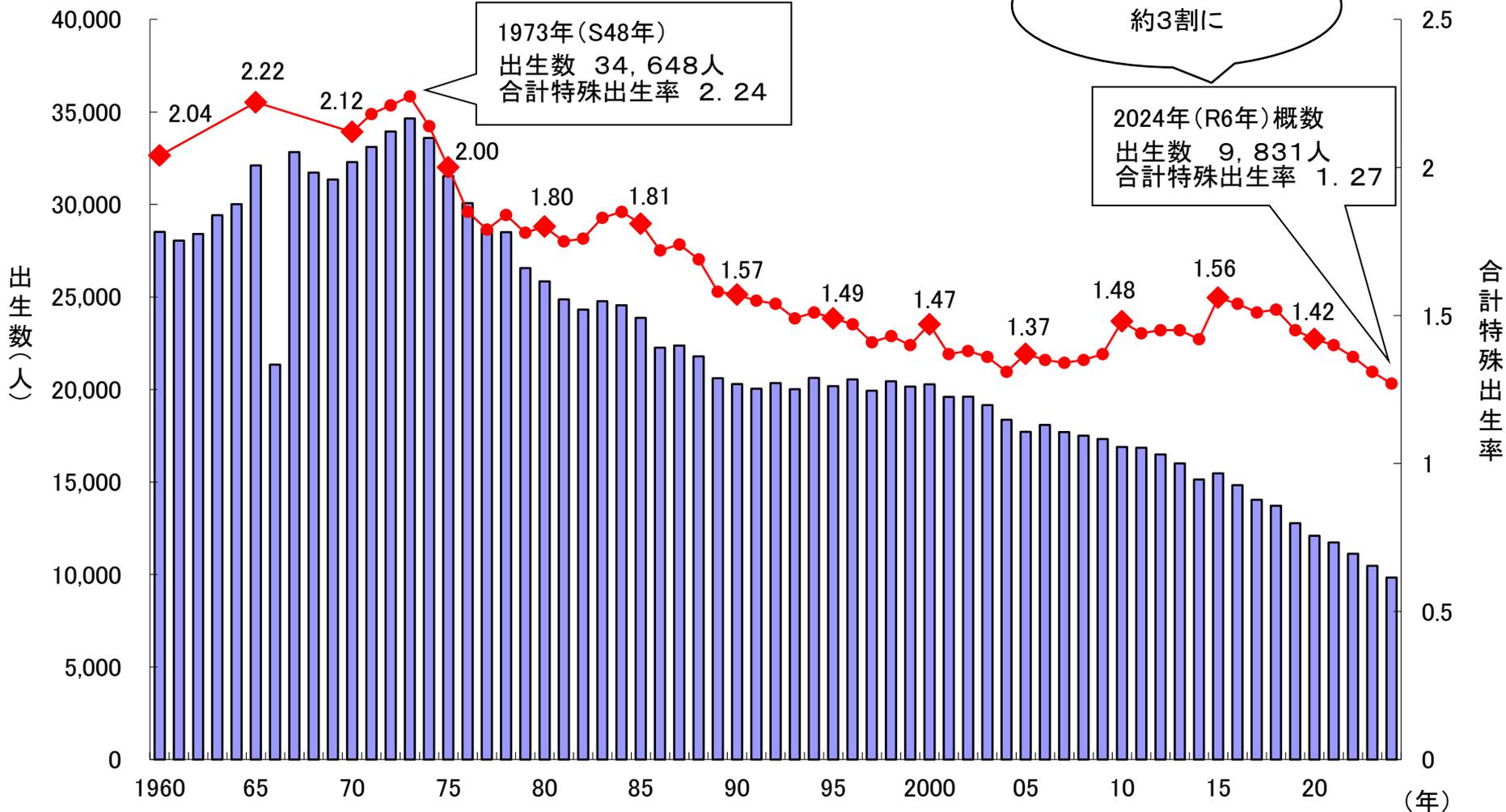


出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」

# 出生率は人口維持に必要な2.07を大きく下回る1.27に

出生数及び合計特殊出生率の推移

出生のピーク(1960年以降)

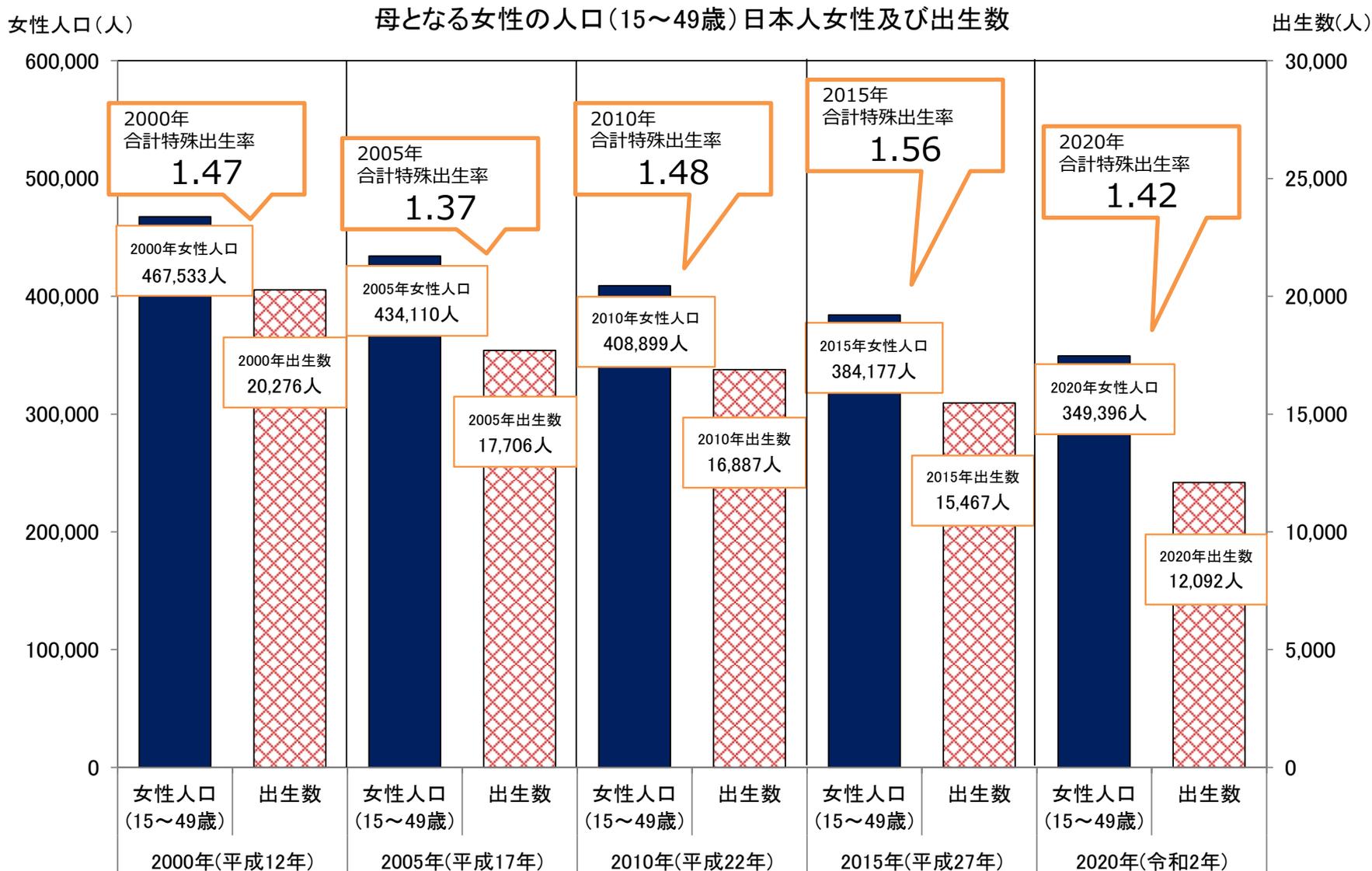


出典: 厚生労働省「人口動態統計」

※2010、2015、2020年などの国勢調査年及び2016年以降の出生率は、日本人女性人口を分母として算出されていることに注意。

人口置換水準2.07は、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」2025年版より引用。

女性人口が減少しているため、出生数は減少する。  
合計特殊出生率が上昇していた期間でも出生数は増加していない。

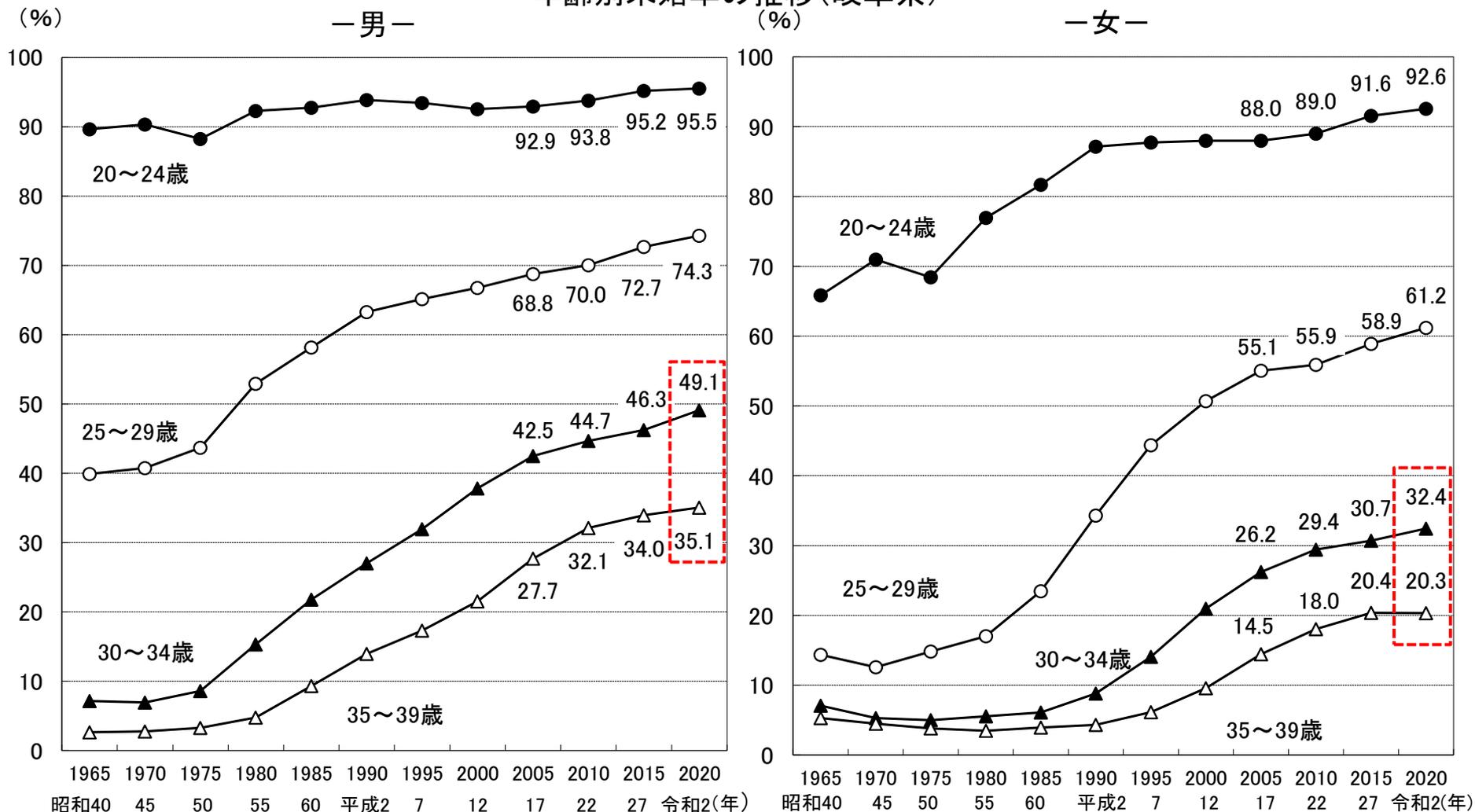


出典: 総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態統計」

※岐阜県政策研究会人口動向研究部会「岐阜県の将来人口推計」より引用。

# 若い世代の未婚率はさらに上昇 30代前半では男性の5割近く、女性の3割が未婚

年齢別未婚率の推移(岐阜県)

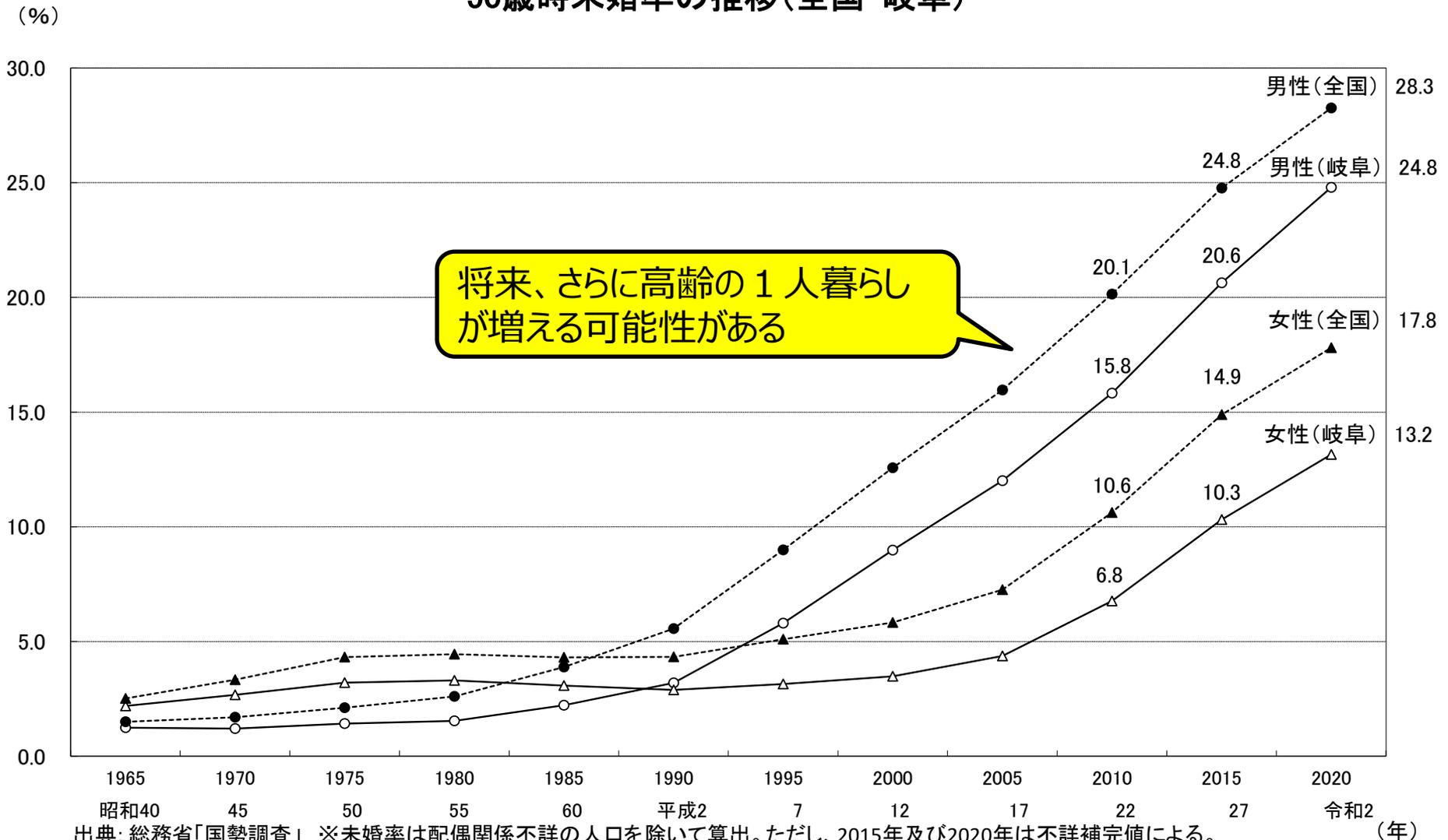


出典: 総務省「国勢調査」

注: 未婚率は配偶関係不詳の人口を除いて算出。ただし、2015年及び2020年は不詳補完値による。

# 50歳時点の未婚率も、 県は男性の24.8%、女性は13.2%とさらに上昇

## 50歳時未婚率の推移(全国・岐阜)



出典：総務省「国勢調査」 ※未婚率は配偶関係不詳の人口を除いて算出。ただし、2015年及び2020年は不詳補完値による。

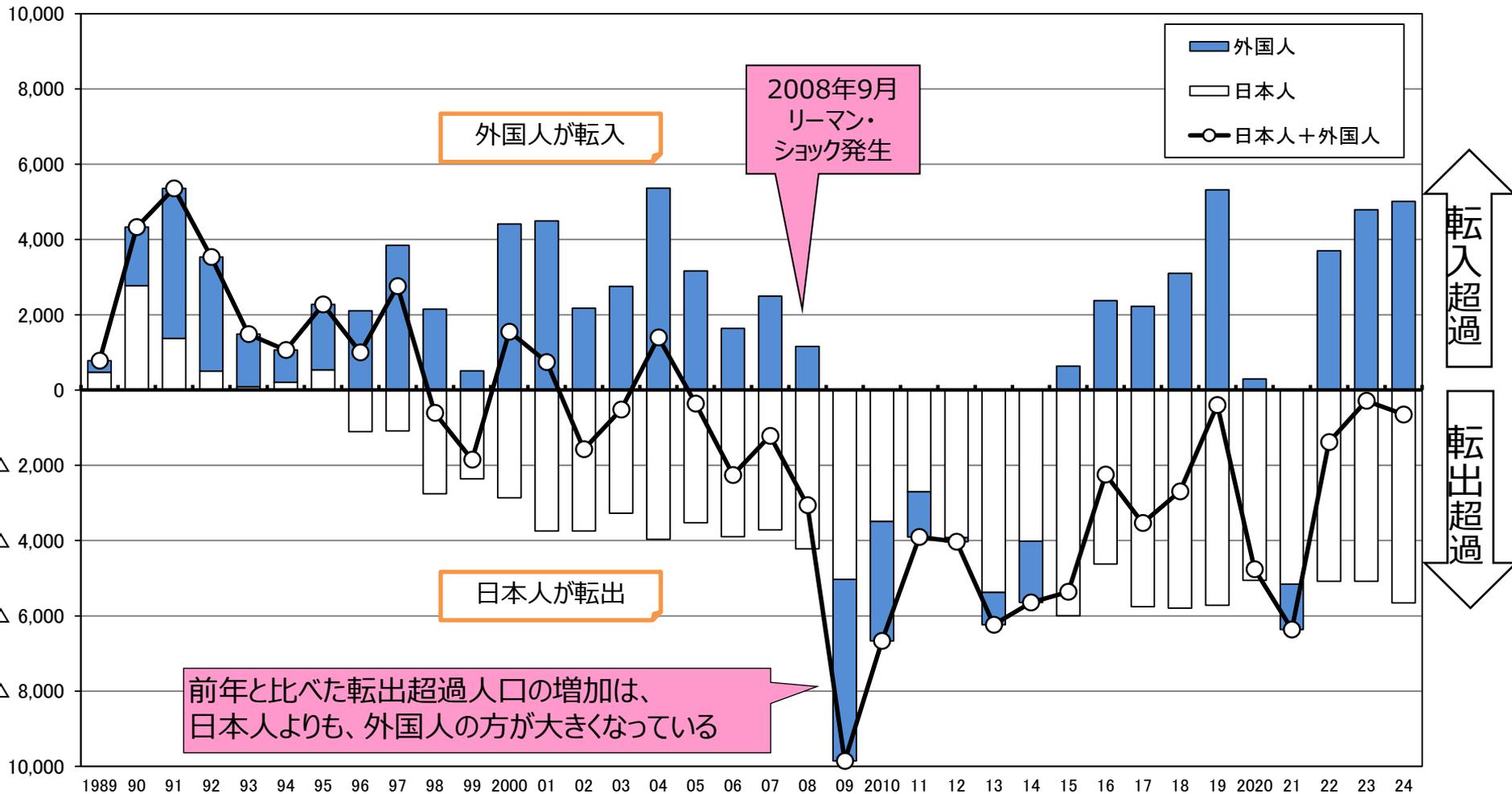
備考：50歳時未婚率とは、45～49歳と50～54歳未婚率の平均値。

# 外国人は2015年以降転入超過傾向

## 日本人・外国人別の社会動態の推移(岐阜県)

社会動態=転入者数-転出者数 (各年前年10月1日~同年9月30日)

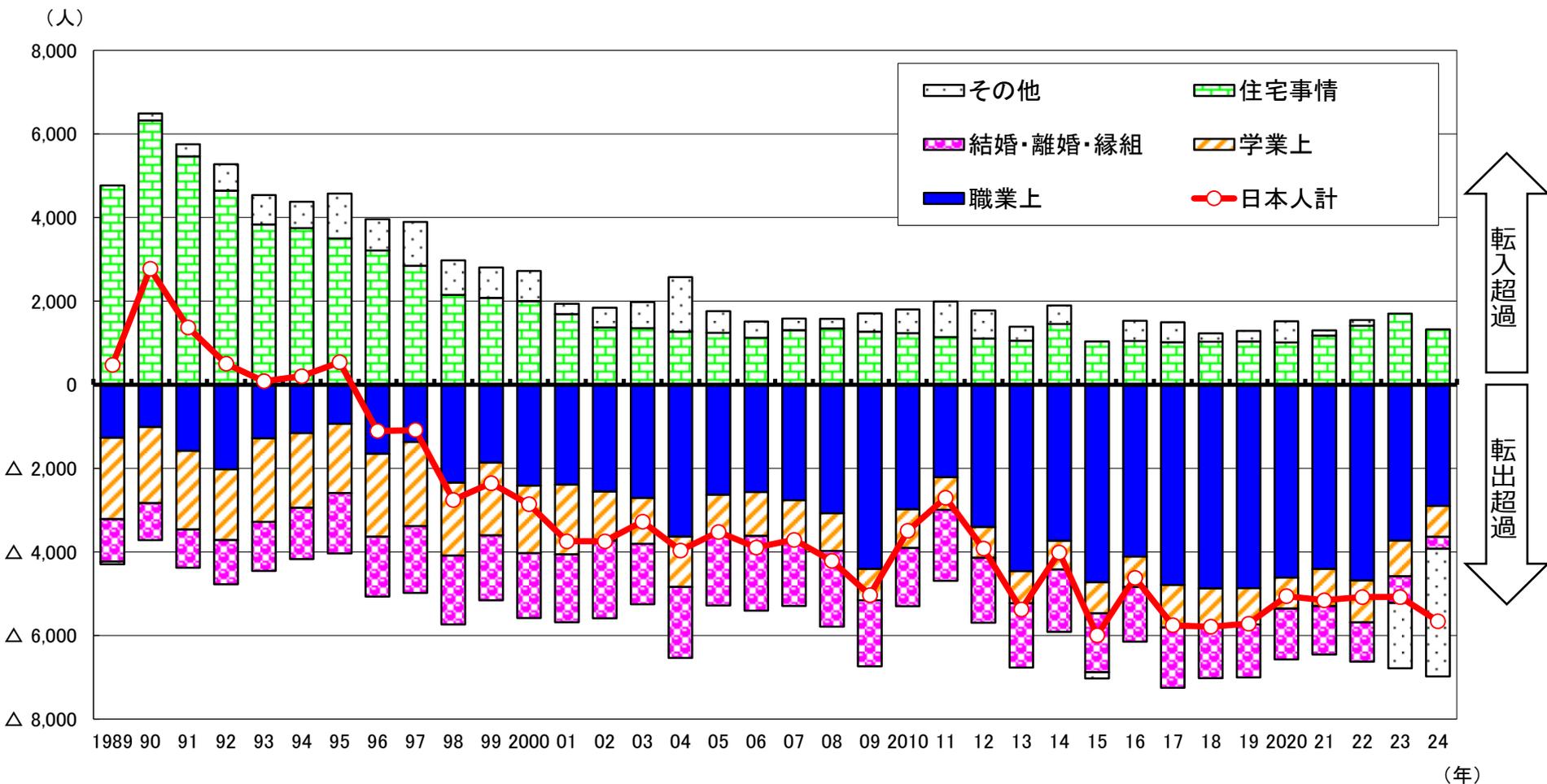
(人)



出典:岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」

# 住宅事情による転入が減り、1996年以降職業上、結婚等、 学業上による転出超過が続く構造に変化はない。

## 日本人の移動理由別社会動態(岐阜県)



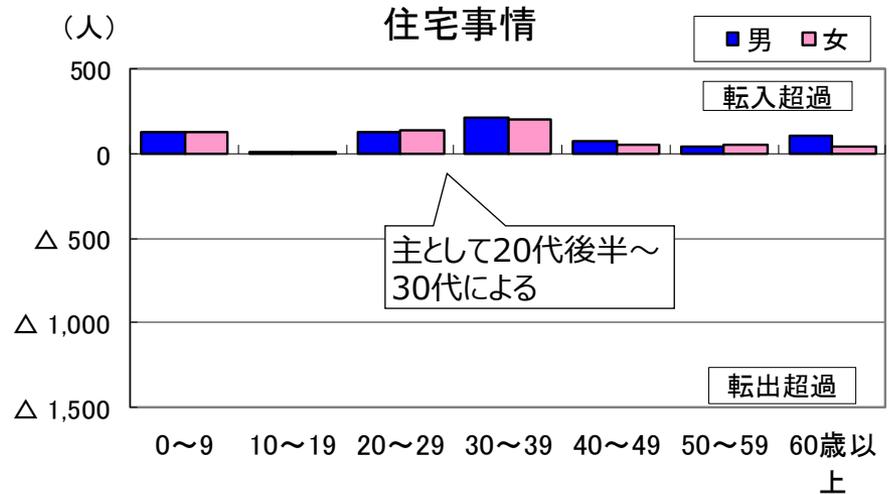
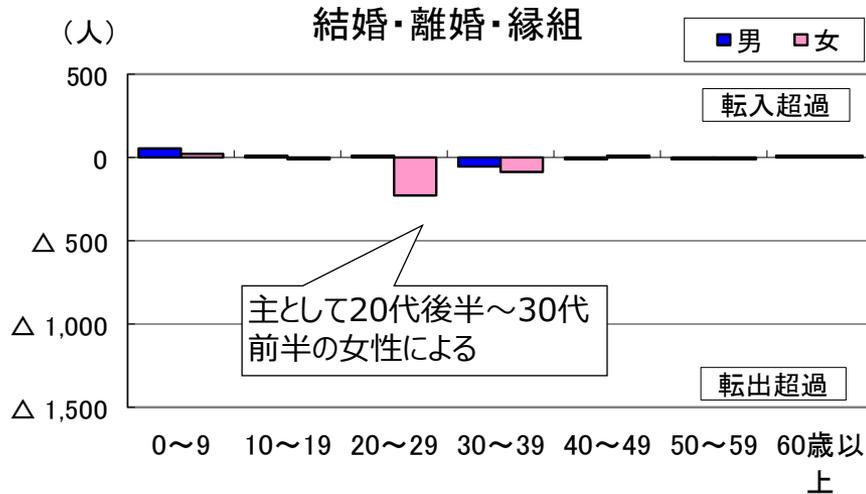
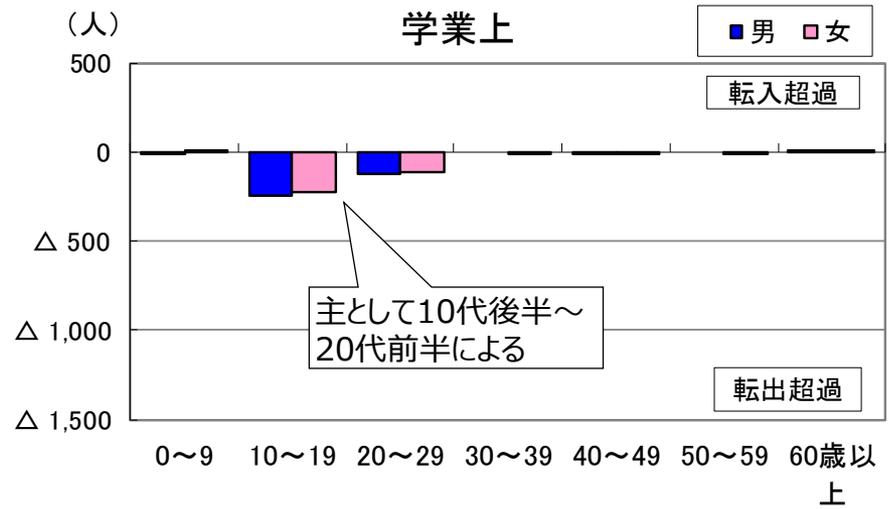
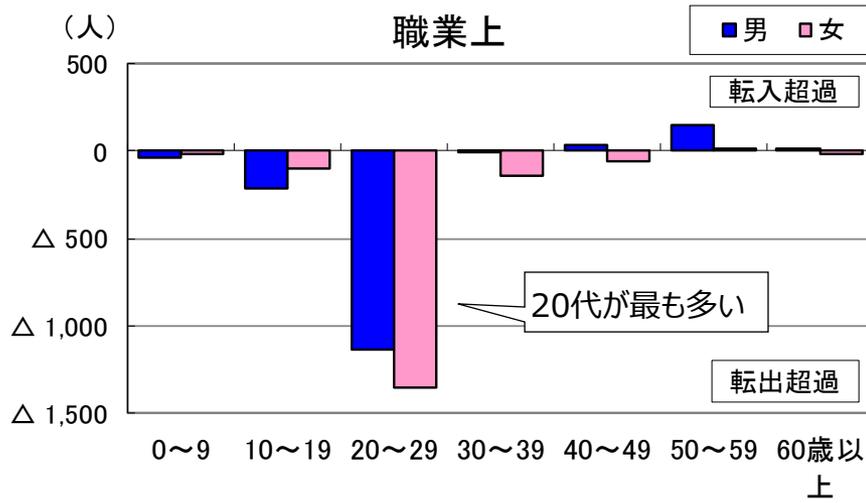
出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」

※社会動態=転入者数-転出者数

(年)

# 転出超過の中心は20代の若い世代 職を求めて県外へ出ていくとみられる

主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(岐阜県 2024年)



出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」 令和6年(2024年) ※社会動態=転入者数-転出者数

# 高等学校卒業者は平成4年をピークに大きく減少 大学等進学率は上昇を続ける一方、就職率は低下

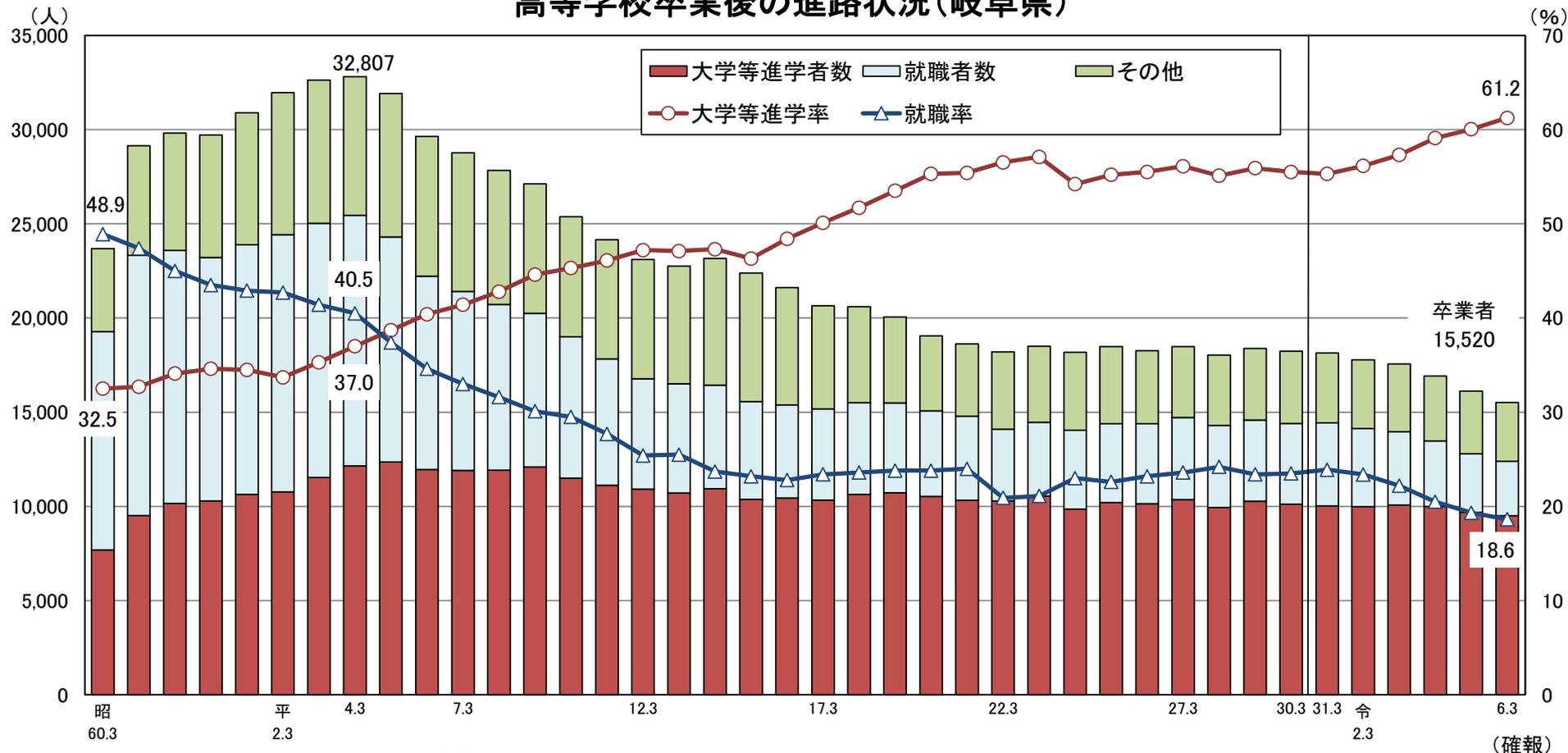
令和6年3月 大学等進学率61.2%

県外大学への進学率 (県外大学への入学者割合) 77.8%

令和6年3月 就職率18.6%

就職者のうち県外就職率25.5%

## 高等学校卒業後の進路状況(岐阜県)



出典: 文部科学省「学校基本調査」(各年3月卒業者)

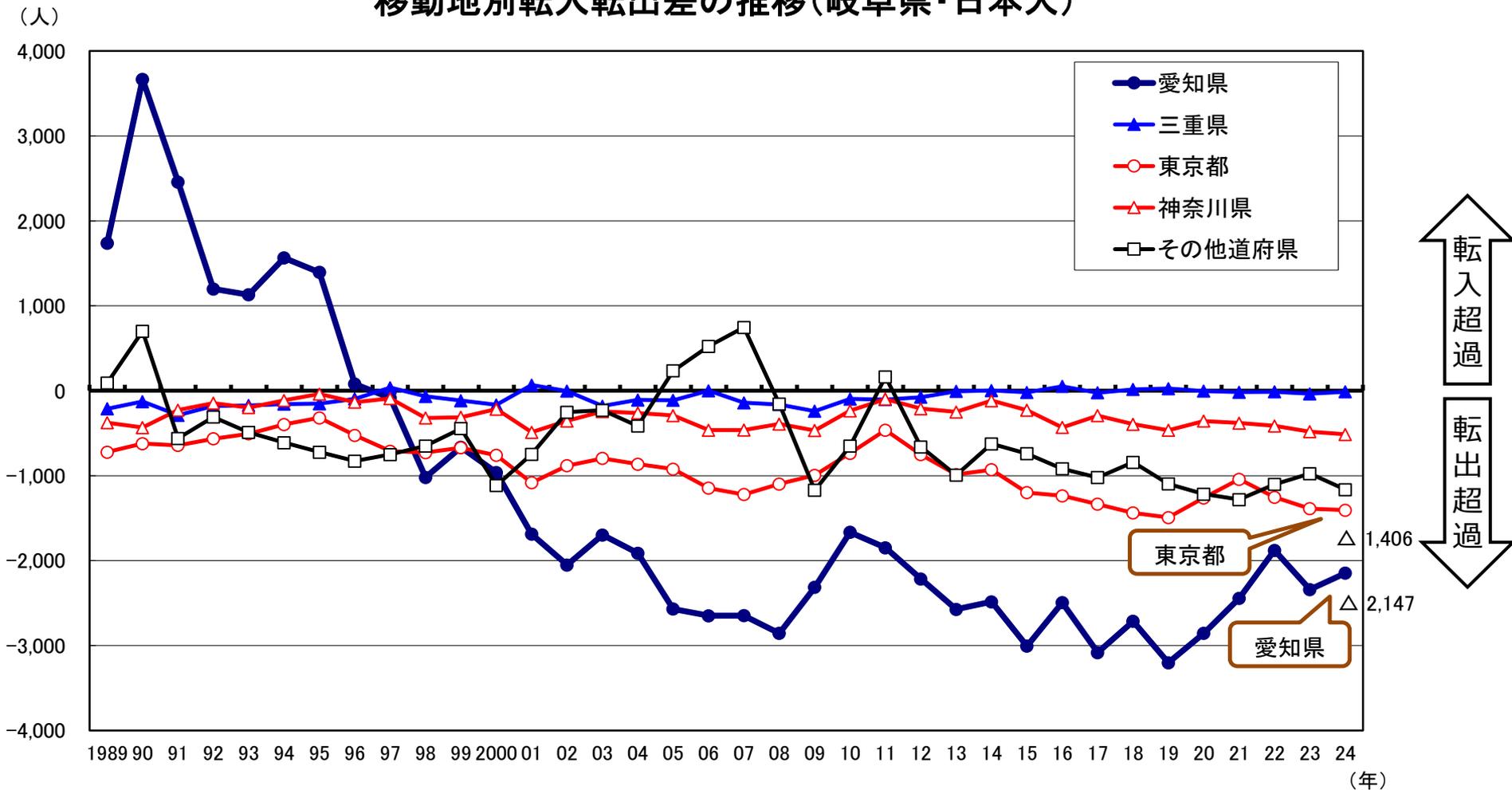
注: 就職者には、専修学校(専門課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者を含む。

その他は、専修学校進学者など。

注: 平成30年3月までの調査と平成31年3月以降の調査は接続しない。

# 愛知県への大幅な転出超過が続いている

## 移動地別転入転出差の推移(岐阜県・日本人)



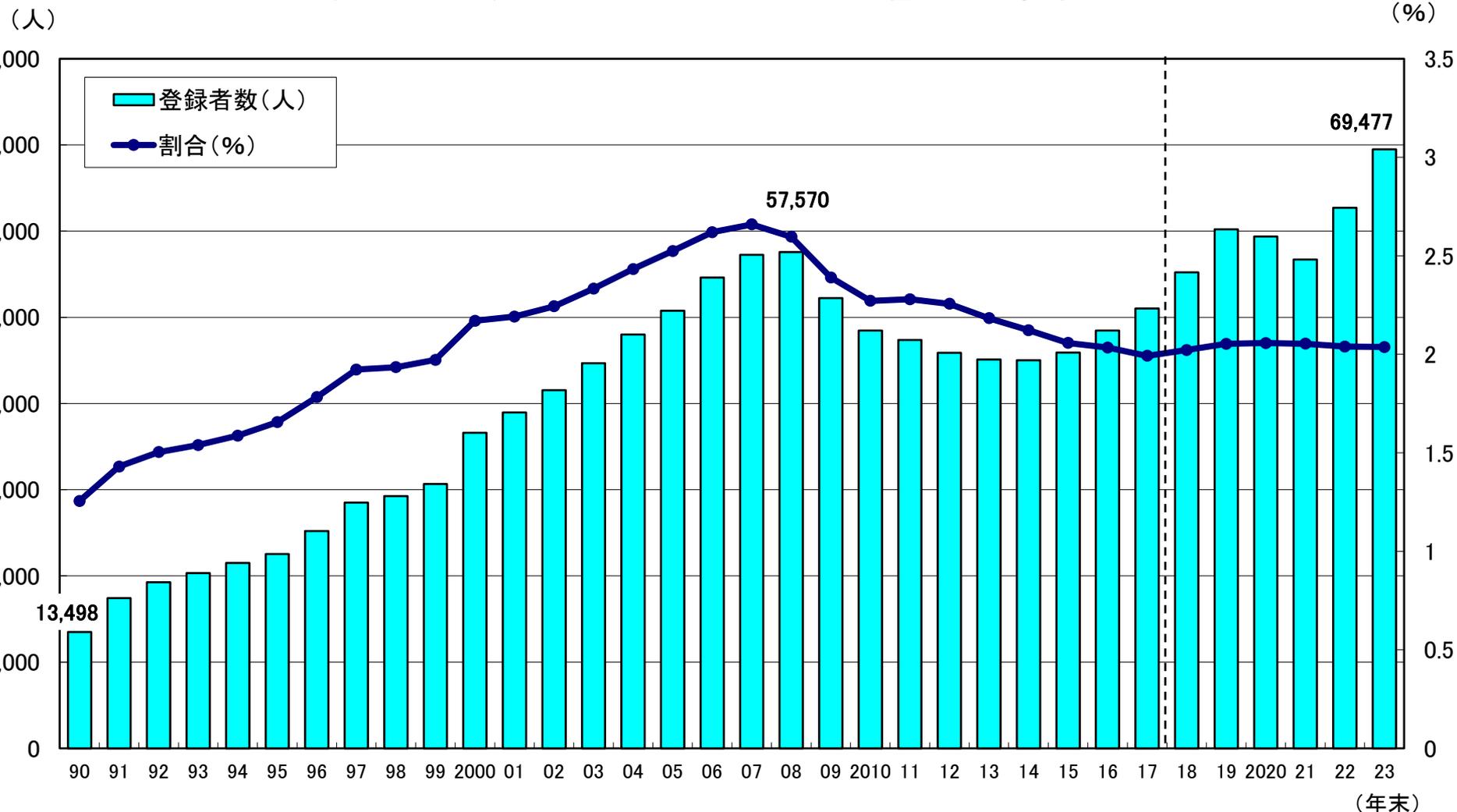
出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」(日本人)

# 外国人数はリーマンショック後、減少していたが近年は増加傾向

岐阜県内の在留外国人数：69,477人（2023年12月末）

全国の在留外国人数（3,410,992人）に占める割合は2.0%（全国13位）

在留外国人数と全国に占める割合の推移（岐阜県）



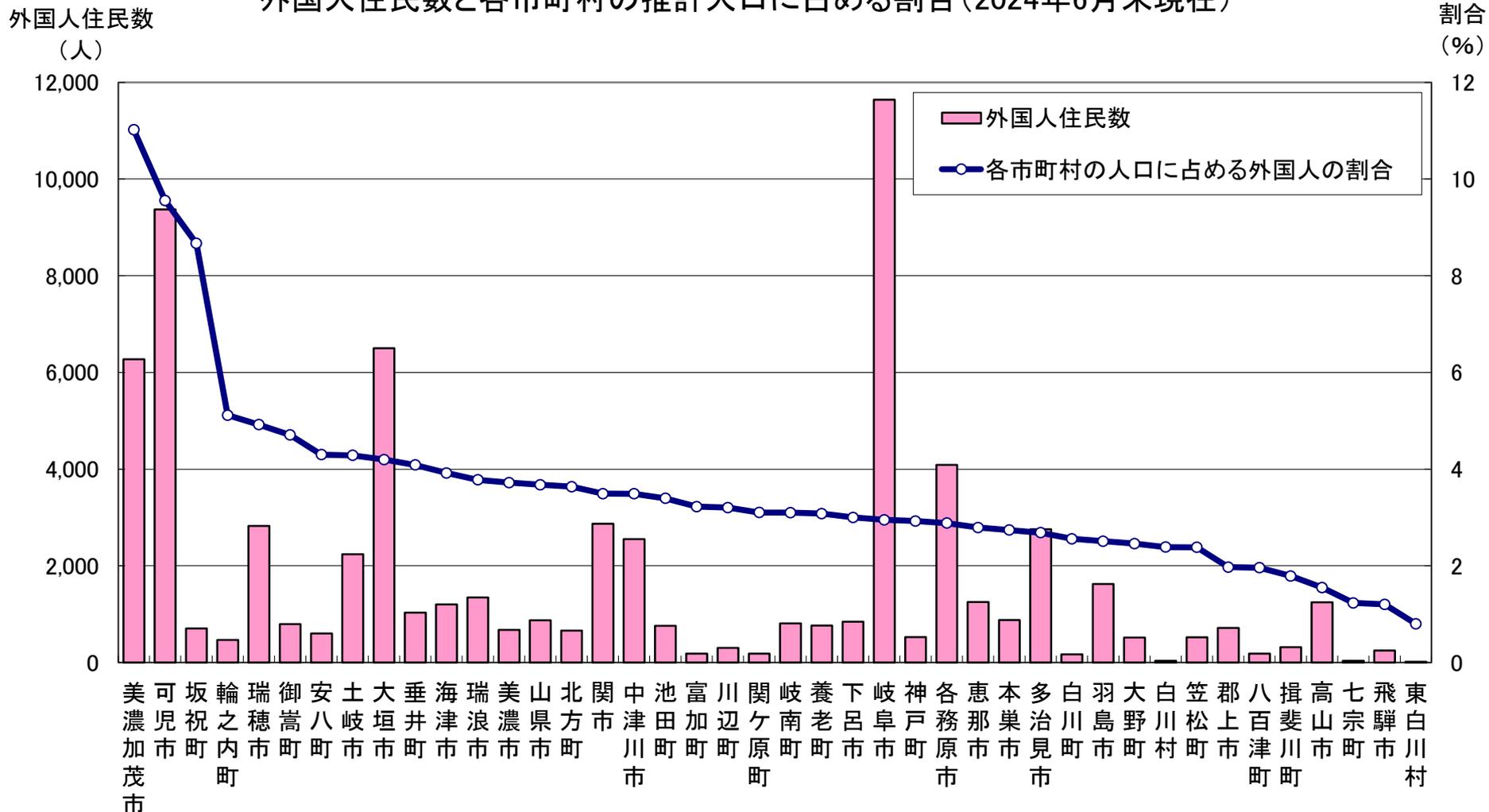
出典：法務省「外国人登録者統計」(~2011年)、「在留外国人統計」(2012年~)

# 人口に占める外国人の割合は3.7%

外国人住民数は71,617人（2024年6月末現在）

県の人口（1,916,092人:2024年7月1日現在）のうち、外国人が占める割合は3.7%

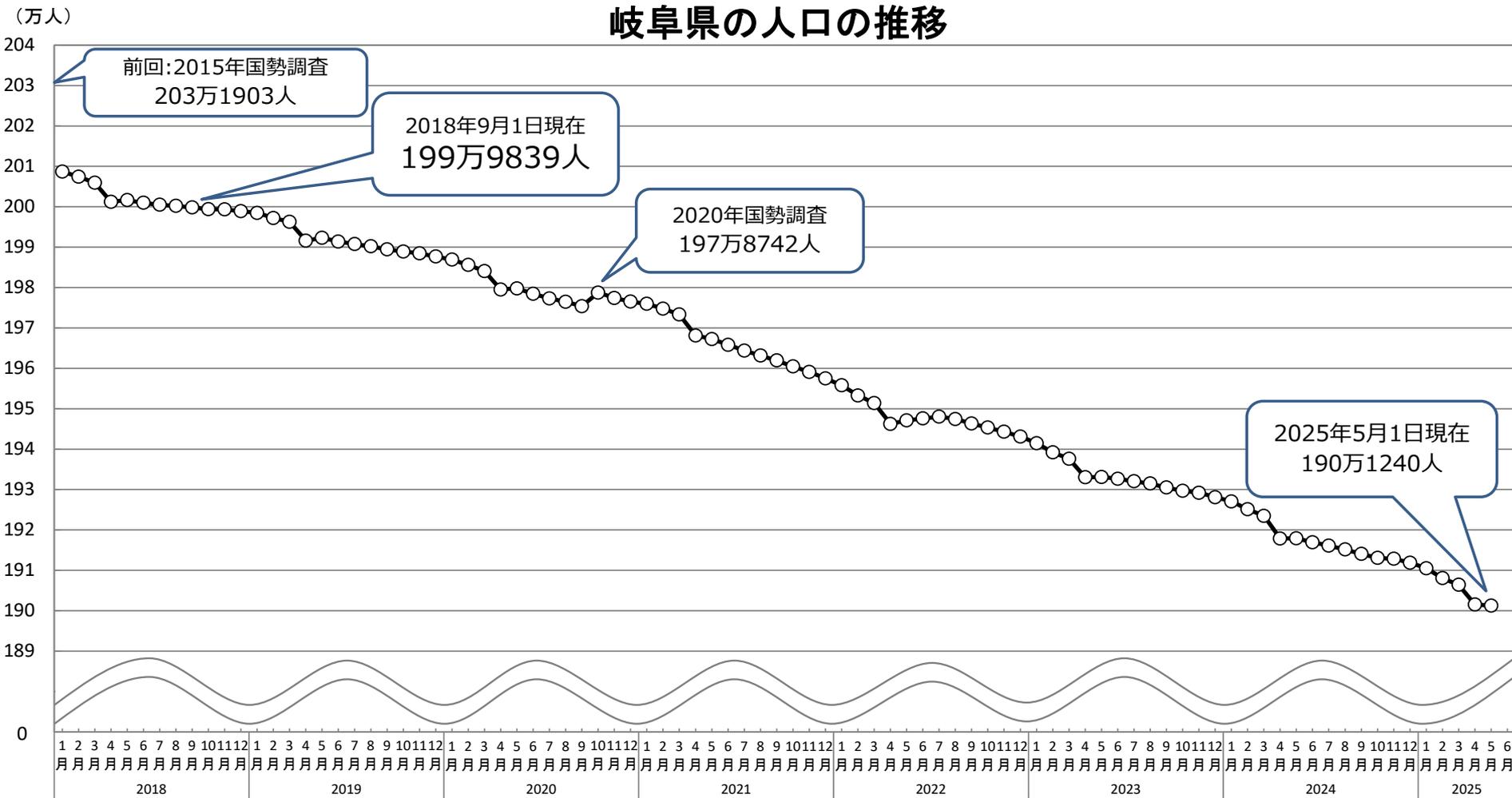
外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2024年6月末現在）



出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2024年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2024年7月1日現在）により算出。

# 県の人口は2025年5月1日現在で190万1240人

## 岐阜県の人口の推移

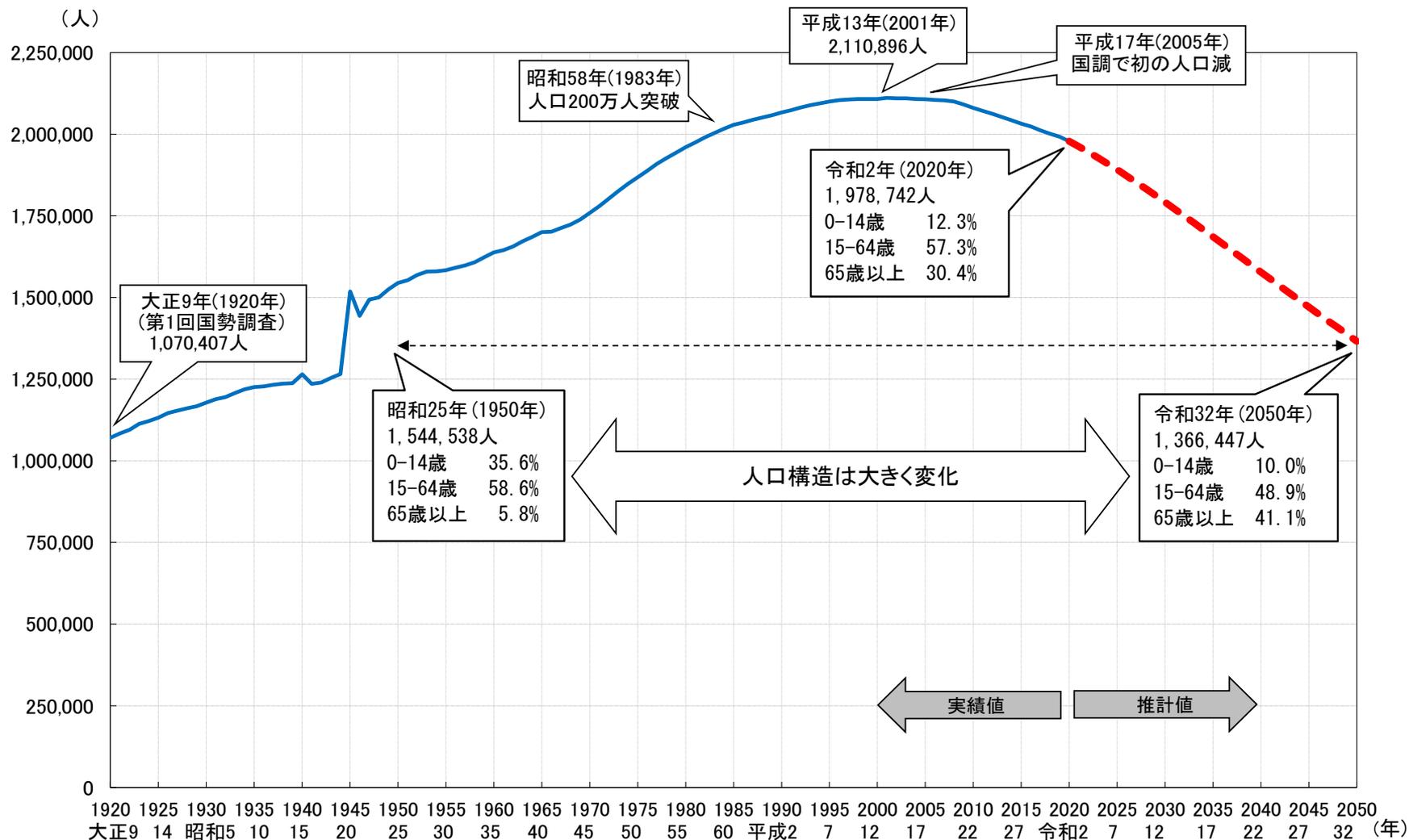


出典: 総務省「国勢調査」、岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」(各月1日現在)

(年)

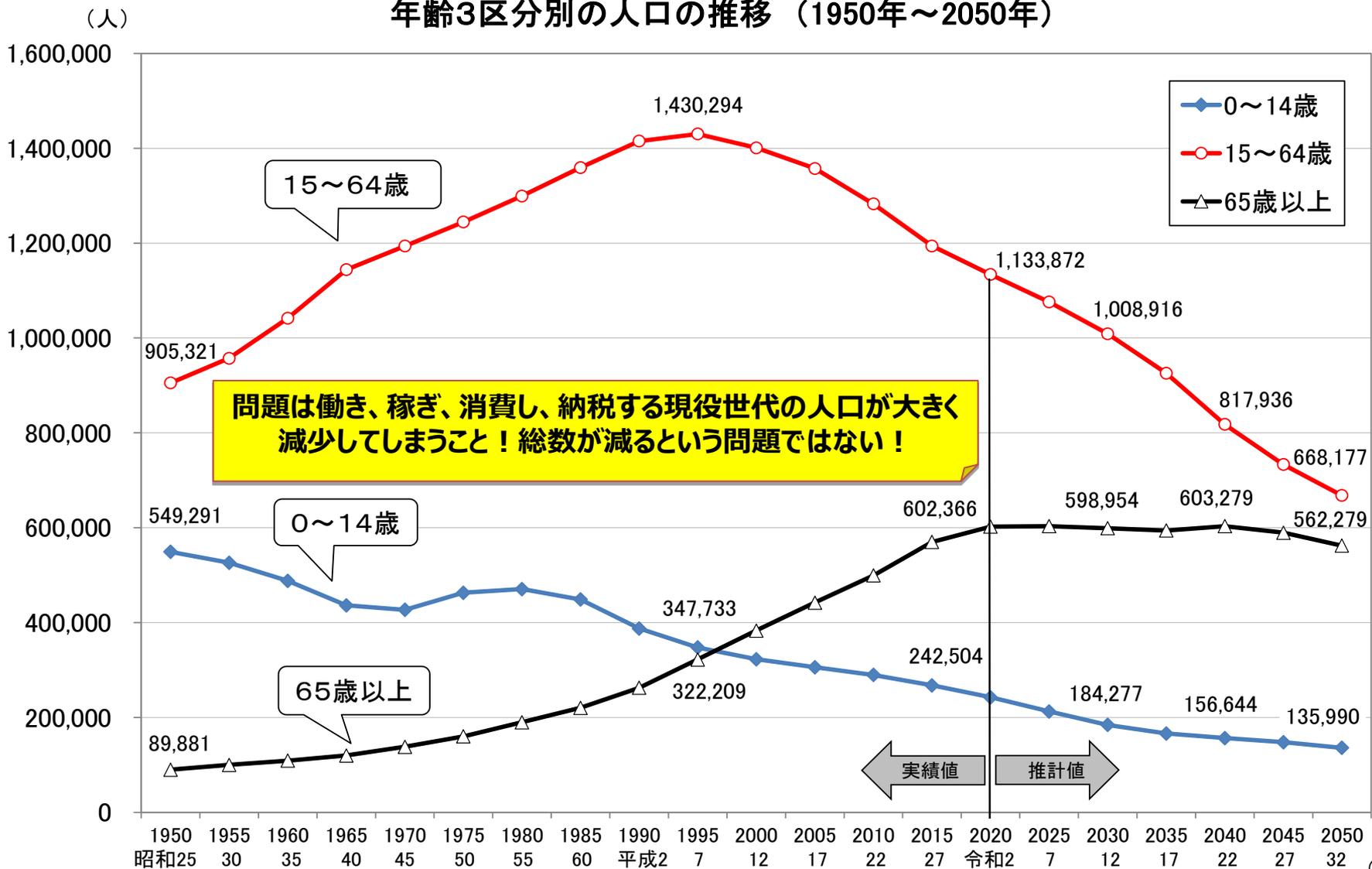
# 本県の人口は2005年頃から減少を続けている 30年後の2050年には137万人に(61万人の大幅減)

岐阜県の人口の推移と将来の見通し



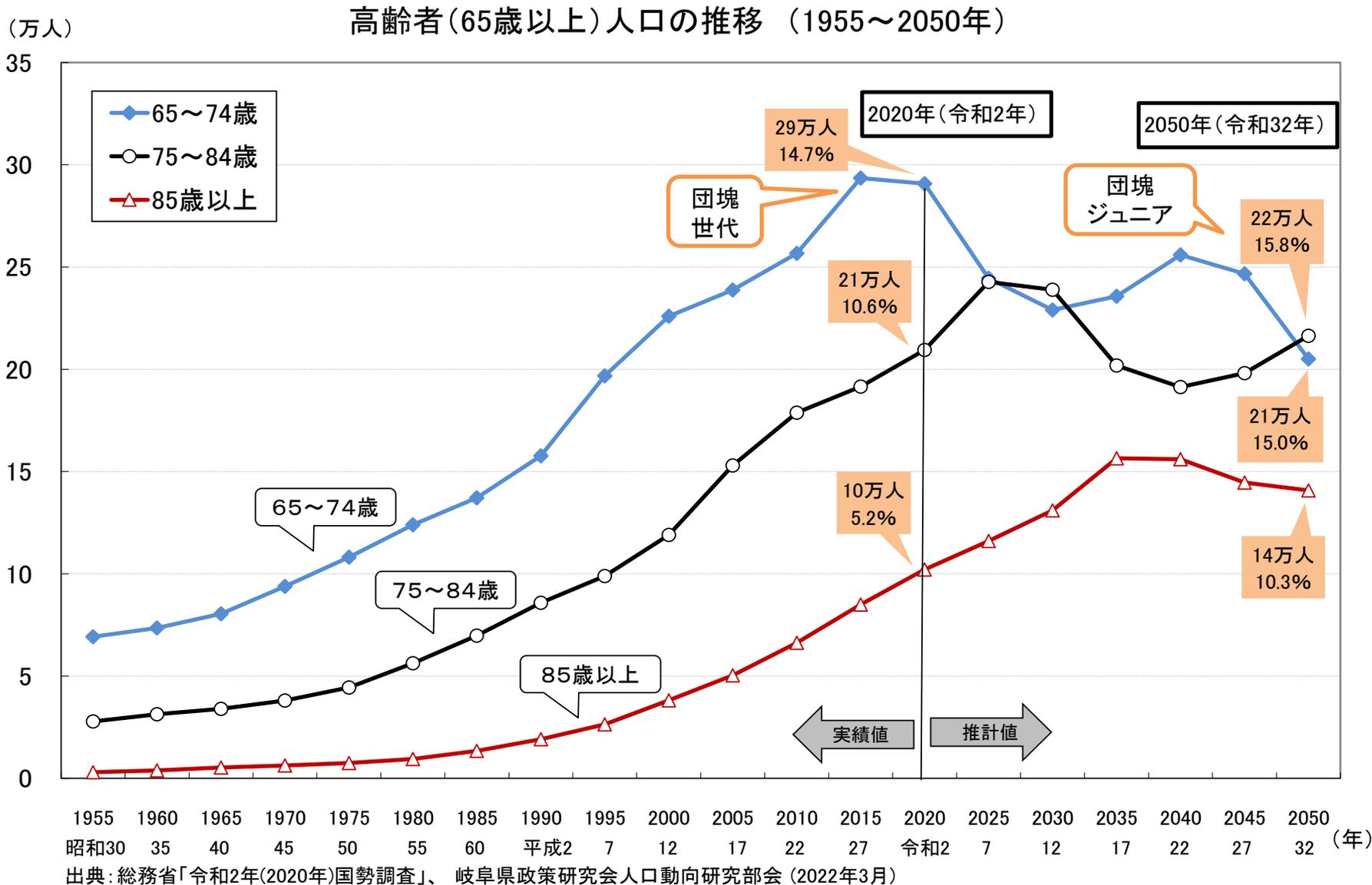
# 地域を支える現役世代(15～64歳)は47万人の減少。0～14歳の子どもは11万人減り、65歳以上の高齢者は4万人の減少

年齢3区分別の人口の推移 (1950年～2050年)

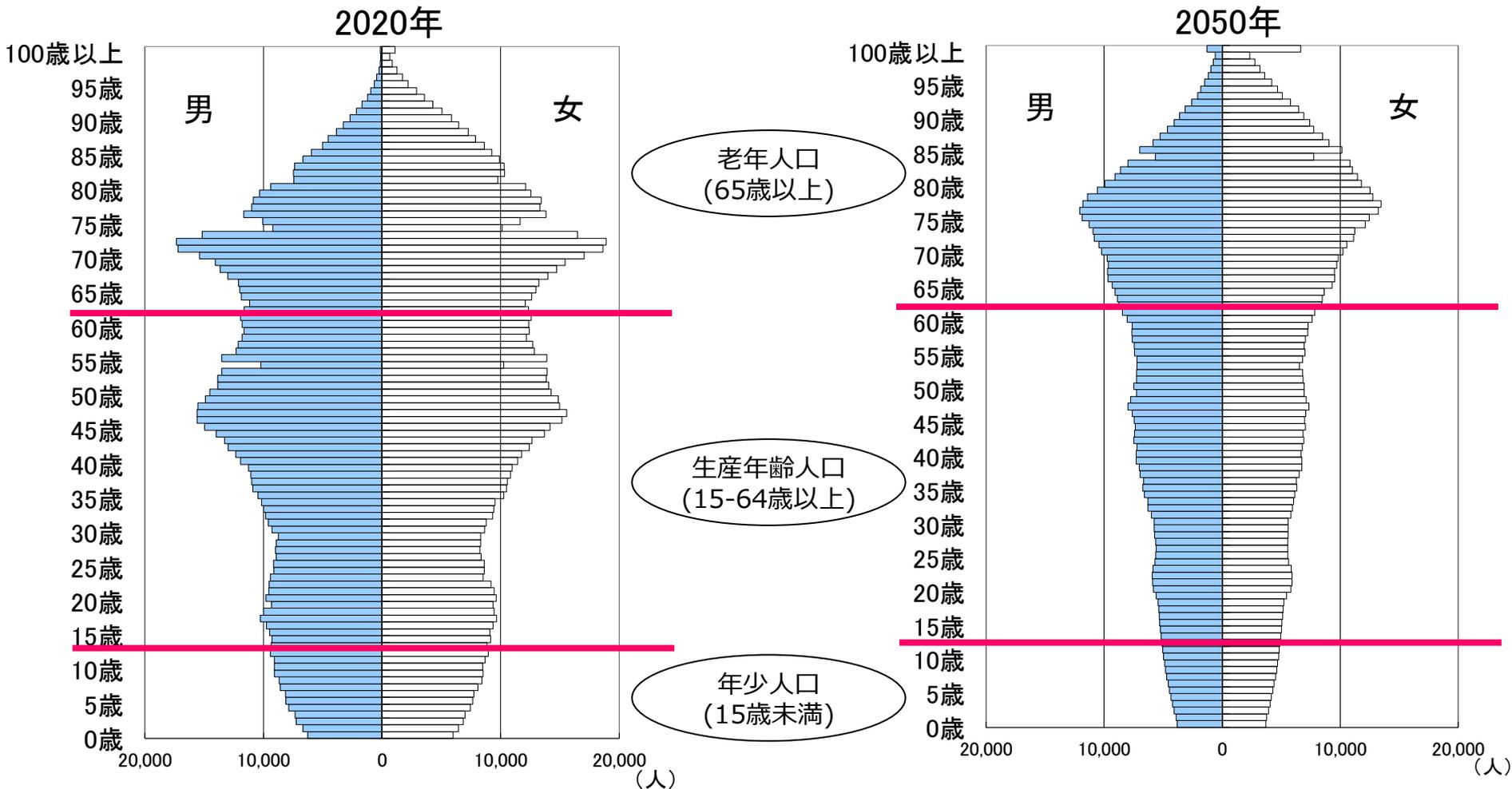


出典：国勢調査、岐阜県政策研究会人口動向研究部会（2022年3月） 注：2020年(令和2年)の年齢3区分人口は、年齢不詳をあん分した不詳補完値による。

# 75歳以上は2025年頃まで、85歳以上は2035年頃まで増加 2040年頃には、団塊ジュニアが65歳を超え、再び高齢者が増加



# 2050年の人口ピラミッドをみると、 65歳以上の人口に大きな厚みがある構造に変化

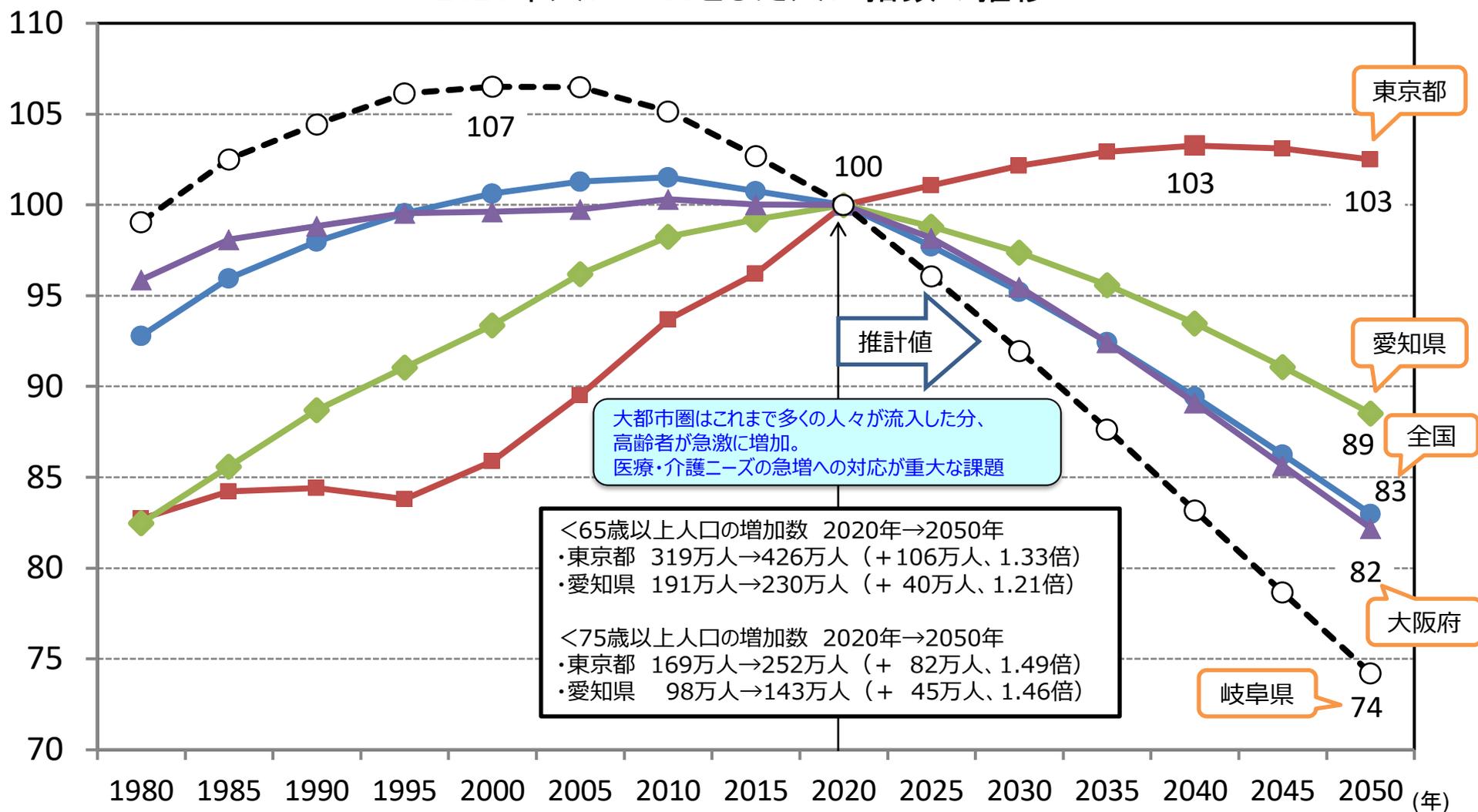


出典: 総務省「令和2年(2020年) 国勢調査」

出典: 岐阜県政策研究会人口動向研究部会(2022年3月)

# 時間差こそあれ、全国で人口は減少していく

2020年人口=100とした人口指数の推移



# 市町村別に見た人口動向

# 人口が減少する地域が多くを占める

～2015年以降の5年間では、人口が減少したのは37市町村と8割を超える～

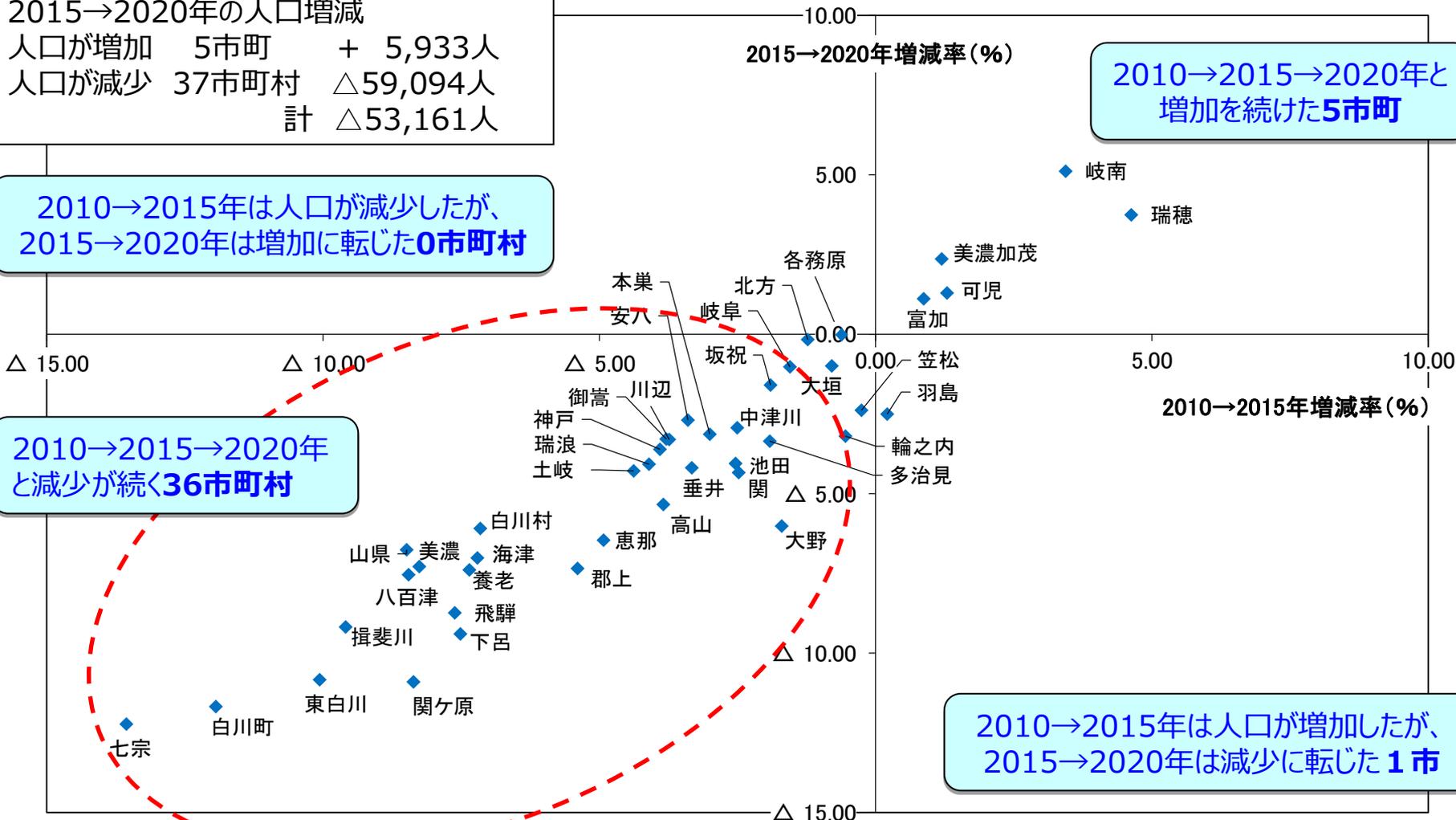
県内市町村別人口の増減率（2010→2015年、2015→2020年）

2015→2020年の人口増減  
 人口が増加 5市町 + 5,933人  
 人口が減少 37市町村 △59,094人  
 計 △53,161人

2010→2015年は人口が減少したが、  
 2015→2020年は増加に転じた0市町村

2010→2015→2020年  
 と減少が続く36市町村

2010→2015年は人口が増加したが、  
 2015→2020年は減少に転じた1市

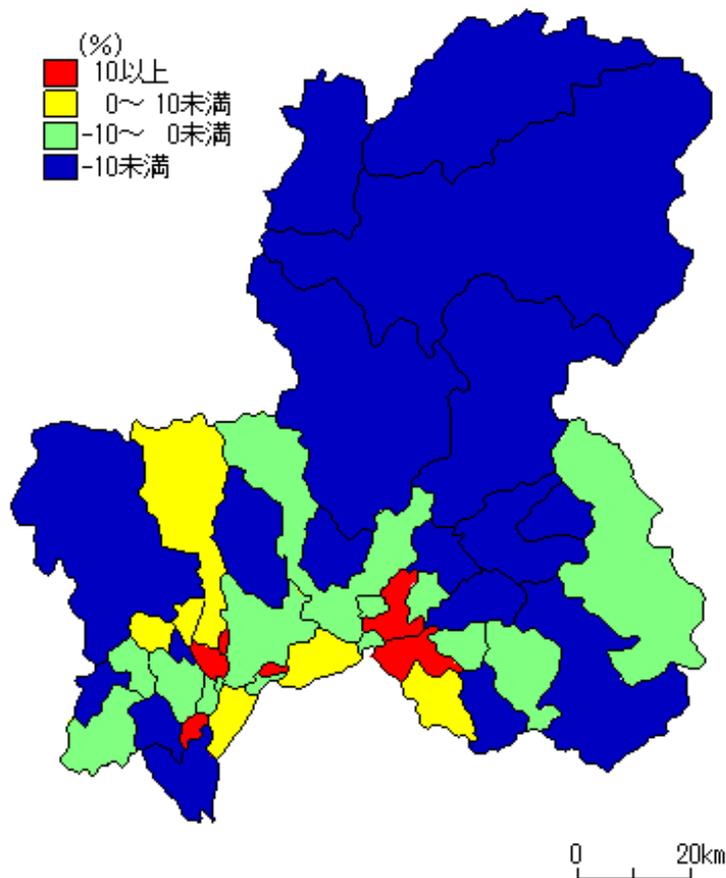


出典: 総務省「国勢調査」

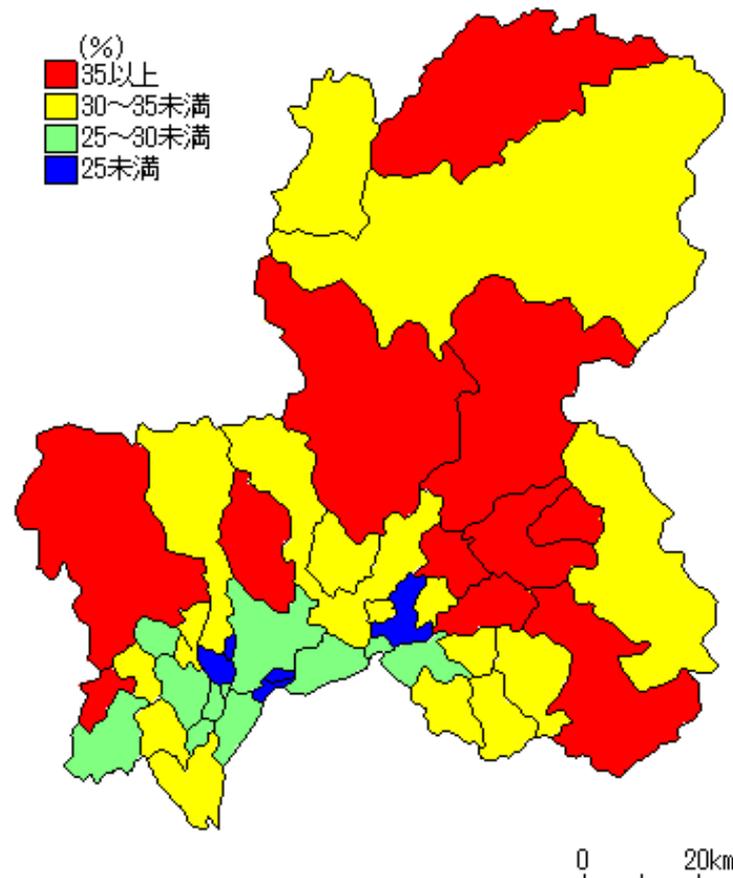
# 30年前と比較すると、人口が増加した地域は南部に集中 人口が減少した地域では、高齢化が顕著

2020年10月1日現在の市町村

1990年～2020年の人口増減率



2020年の高齢（65歳以上）人口割合



# 市町村別の将来推計人口 その1

	総人口 2020年 (人)	2020年国勢調査人口						総人口 2050年 (人)	指数 2050年 (2020年=100)	2050年将来推計人口					
		年齢3区分別人口 (人)			年齢3区分別人口割合 (%)					年齢3区分別人口 (人)			年齢3区分別人口割合 (%)		
		0-14歳	15-64歳	65歳以上	0-14歳	15-64歳	65歳以上			0-14歳	15-64歳	65歳以上	0-14歳	15-64歳	65歳以上
県計	1,978,742	242,504	1,133,872	602,366	12.3	57.3	30.4	1,468,392	74.2	143,426	728,848	596,118	9.8	49.6	40.6
岐阜圏域	793,551	98,952	468,048	226,551	12.5	59.0	28.5	644,853	81.3	66,244	334,295	244,314	10.3	51.8	37.9
岐阜市	402,557	47,134	236,235	119,188	11.7	58.7	29.6	325,128	80.8	31,636	166,852	126,640	9.7	51.3	39.0
羽島市	65,649	8,495	38,891	18,263	12.9	59.2	27.8	51,806	78.9	5,145	26,346	20,315	9.9	50.9	39.2
各務原市	144,521	18,863	84,369	41,289	13.1	58.4	28.6	119,096	82.4	12,905	62,388	43,803	10.8	52.4	36.8
山県市	25,280	2,616	13,547	9,117	10.3	53.6	36.1	13,877	54.9	1,045	5,918	6,914	7.5	42.6	49.8
瑞穂市※	56,388	8,628	35,782	11,978	15.3	63.5	21.2	53,347	94.6	6,611	29,947	16,789	12.4	56.1	31.5
本巣市	32,928	4,192	18,656	10,080	12.7	56.7	30.6	24,186	73.5	2,367	11,768	10,051	9.8	48.7	41.6
岐南町※	25,881	3,776	16,207	5,898	14.6	62.6	22.8	24,133	93.2	3,003	13,569	7,561	12.4	56.2	31.3
笠松町	22,208	2,743	13,205	6,260	12.4	59.5	28.2	18,063	81.3	1,899	9,606	6,558	10.5	53.2	36.3
北方町	18,139	2,505	11,156	4,478	13.8	61.5	24.7	15,217	83.9	1,633	7,901	5,683	10.7	51.9	37.3
西濃圏域	358,439	43,505	206,014	108,920	12.1	57.5	30.4	252,390	70.4	23,050	123,673	105,667	9.1	49.0	41.9
大垣市	158,286	20,388	94,160	43,738	12.9	59.5	27.6	130,141	82.2	13,655	68,522	47,964	10.5	52.7	36.9
海津市	32,735	3,272	18,201	11,262	10.0	55.6	34.4	17,756	54.2	1,023	7,420	9,313	5.8	41.8	52.4
養老町	26,882	2,849	14,853	9,180	10.6	55.3	34.1	14,417	53.6	846	6,005	7,566	5.9	41.7	52.5
垂井町	26,402	3,277	14,841	8,284	12.4	56.2	31.4	18,195	68.9	1,677	8,803	7,715	9.2	48.4	42.4
関ヶ原町	6,610	590	3,368	2,652	8.9	51.0	40.1	3,105	47.0	172	1,222	1,711	5.5	39.4	55.1
神戸町	18,585	2,184	10,368	6,033	11.8	55.8	32.5	11,943	64.3	990	5,692	5,261	8.3	47.7	44.1
輪之内町	9,654	1,302	5,781	2,571	13.5	59.9	26.6	7,289	75.5	643	3,747	2,899	8.8	51.4	39.8
安八町	14,355	1,879	8,362	4,114	13.1	58.3	28.7	10,182	70.9	940	4,912	4,330	9.2	48.2	42.5
揖斐川町	19,529	1,993	10,009	7,527	10.2	51.3	38.5	9,033	46.3	649	3,407	4,977	7.2	37.7	55.1
大野町	22,041	2,795	12,617	6,629	12.7	57.2	30.1	14,650	66.5	1,293	6,613	6,744	8.8	45.1	46.0
池田町	23,360	2,976	13,454	6,930	12.7	57.6	29.7	15,679	67.1	1,162	7,330	7,187	7.4	46.8	45.8

※岐南町は2025年頃、瑞穂市は2030年頃にピークを迎え、その後人口減少が続く。

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年(2023年)推計）」

注1：2020年の年齢3区分別人口は、年齢不詳を按分した不詳補完値による。

注2：県計（岐阜県）の将来推計人口は、県が独自に推計した結果とは異なる。

# 市町村別の将来推計人口 その2

	2020年国勢調査人口							2050年将来推計人口							
	総人口 2020年 (人)	年齢3区分別人口 (人)			年齢3区分別人口割合 (%)			総人口 2050年 (人)	指数 2050年 (2020年=100)	年齢3区分別人口 (人)			年齢3区分別人口割合 (%)		
		0-14歳	15-64歳	65歳以上	0-14歳	15-64歳	65歳以上			0-14歳	15-64歳	65歳以上	0-14歳	15-64歳	65歳以上
中濃圏域	364,282	45,975	206,407	111,900	12.6	56.7	30.7	271,770	74.6	27,844	133,266	110,660	10.2	49.0	40.7
関市	85,283	10,503	48,691	26,089	12.3	57.1	30.6	59,419	69.7	5,255	28,266	25,898	8.8	47.6	43.6
美濃市	19,247	2,112	10,149	6,986	11.0	52.7	36.3	11,343	58.9	1,054	5,093	5,196	9.3	44.9	45.8
美濃加茂市※	56,689	8,590	34,811	13,288	15.2	61.4	23.4	53,983	95.2	7,040	29,104	17,839	13.0	53.9	33.0
可児市	99,968	12,971	58,949	28,048	13.0	59.0	28.1	83,832	83.9	8,587	43,136	32,109	10.2	51.5	38.3
郡上市	38,997	4,575	19,801	14,621	11.7	50.8	37.5	21,763	55.8	1,840	8,678	11,245	8.5	39.9	51.7
坂祝町	8,071	1,048	4,756	2,267	13.0	58.9	28.1	6,378	79.0	777	3,195	2,406	12.2	50.1	37.7
富加町	5,626	792	3,017	1,817	14.1	53.6	32.3	4,422	78.6	553	2,133	1,736	12.5	48.2	39.3
川辺町	9,860	1,239	5,462	3,159	12.6	55.4	32.0	7,100	72.0	718	3,468	2,914	10.1	48.8	41.0
七宗町	3,402	283	1,551	1,568	8.3	45.6	46.1	1,429	42.0	89	505	835	6.2	35.3	58.4
八百津町	10,195	999	5,095	4,101	9.8	50.0	40.2	5,514	54.1	435	2,222	2,857	7.9	40.3	51.8
白川町	7,412	586	3,355	3,471	7.9	45.3	46.8	3,098	41.8	149	985	1,964	4.8	31.8	63.4
東白川村	2,016	185	921	910	9.2	45.7	45.1	911	45.2	63	319	529	6.9	35.0	58.1
御嵩町	17,516	2,092	9,849	5,575	11.9	56.2	31.8	12,578	71.8	1,284	6,162	5,132	10.2	49.0	40.8
東濃圏域	323,574	37,660	181,038	104,876	11.6	55.9	32.4	218,234	67.4	19,034	102,898	96,302	8.7	47.2	44.1
多治見市	106,732	12,280	60,983	33,469	11.5	57.1	31.4	72,336	67.8	6,281	33,489	32,566	8.7	46.3	45.0
中津川市	76,570	9,117	42,365	25,088	11.9	55.3	32.8	55,136	72.0	4,887	26,993	23,256	8.9	49.0	42.2
瑞浪市	37,150	4,187	21,302	11,661	11.3	57.3	31.4	25,047	67.4	2,044	12,046	10,957	8.2	48.1	43.7
恵那市	47,774	5,503	25,347	16,924	11.5	53.1	35.4	28,611	59.9	2,354	12,613	13,644	8.2	44.1	47.7
土岐市	55,348	6,573	31,041	17,734	11.9	56.1	32.0	37,104	67.0	3,468	17,757	15,879	9.3	47.9	42.8
飛騨圏域	138,896	16,412	72,365	50,119	11.8	52.1	36.1	81,145	58.4	7,254	34,716	39,175	8.9	42.8	48.3
高山市	84,419	10,554	45,703	28,162	12.5	54.1	33.4	53,862	63.8	5,119	24,076	24,667	9.5	44.7	45.8
飛騨市	22,538	2,393	11,041	9,104	10.6	49.0	40.4	11,268	50.0	843	4,429	5,996	7.5	39.3	53.2
下呂市	30,428	3,264	14,811	12,353	10.7	48.7	40.6	15,154	49.8	1,160	5,781	8,213	7.7	38.1	54.2
白川村	1,511	201	810	500	13.3	53.6	33.1	861	57.0	132	430	299	15.3	49.9	34.7

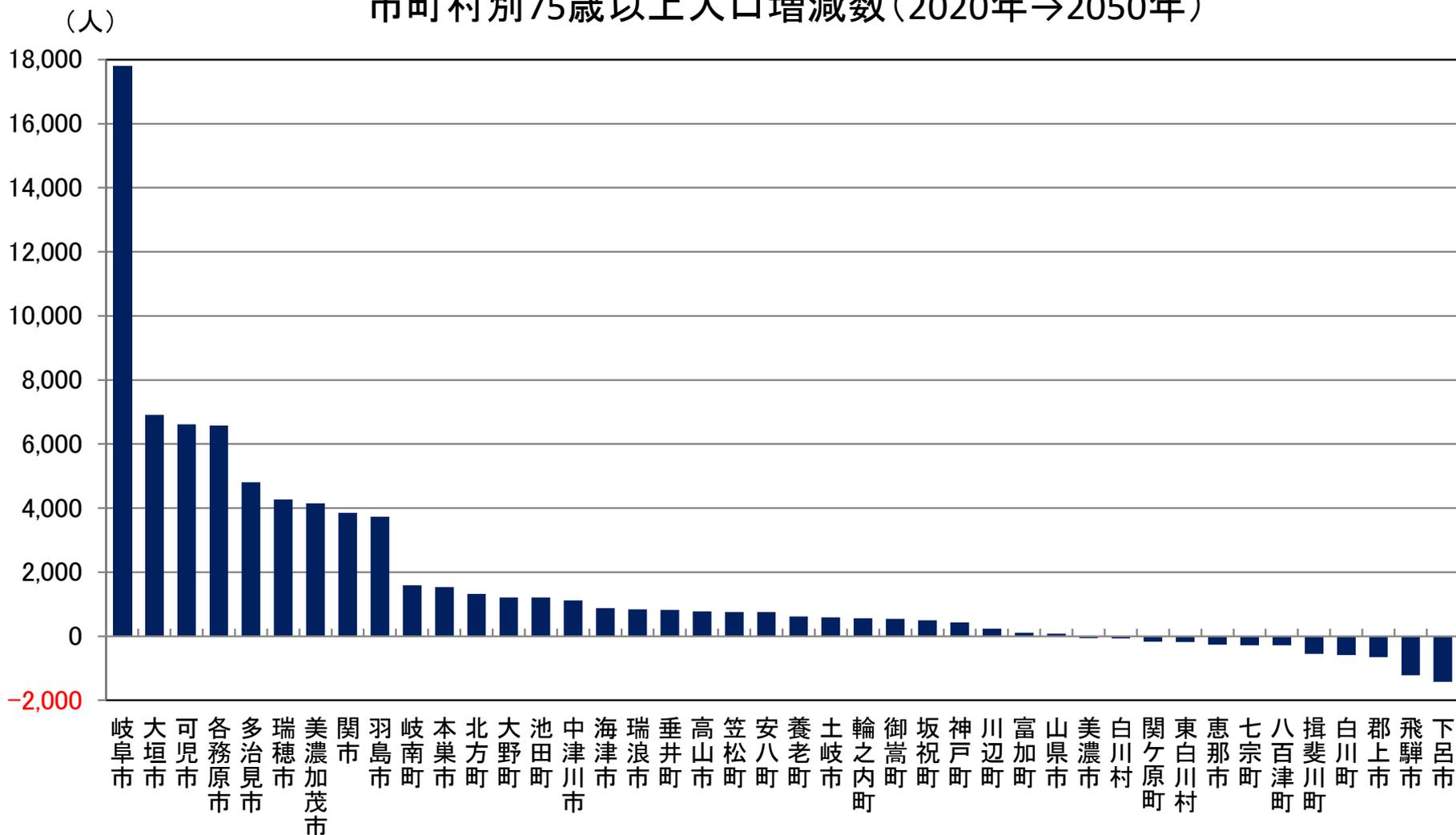
※美濃加茂市は2030年頃ピークを迎え、その後人口減少が続く。

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年(2023年)推計）」

注：2020年の年齢3区分別人口は、年齢不詳を按分した不詳補完値による。

# 将来、高齢者の人口増加が大きいのは都市部

市町村別75歳以上人口増減数(2020年→2050年)

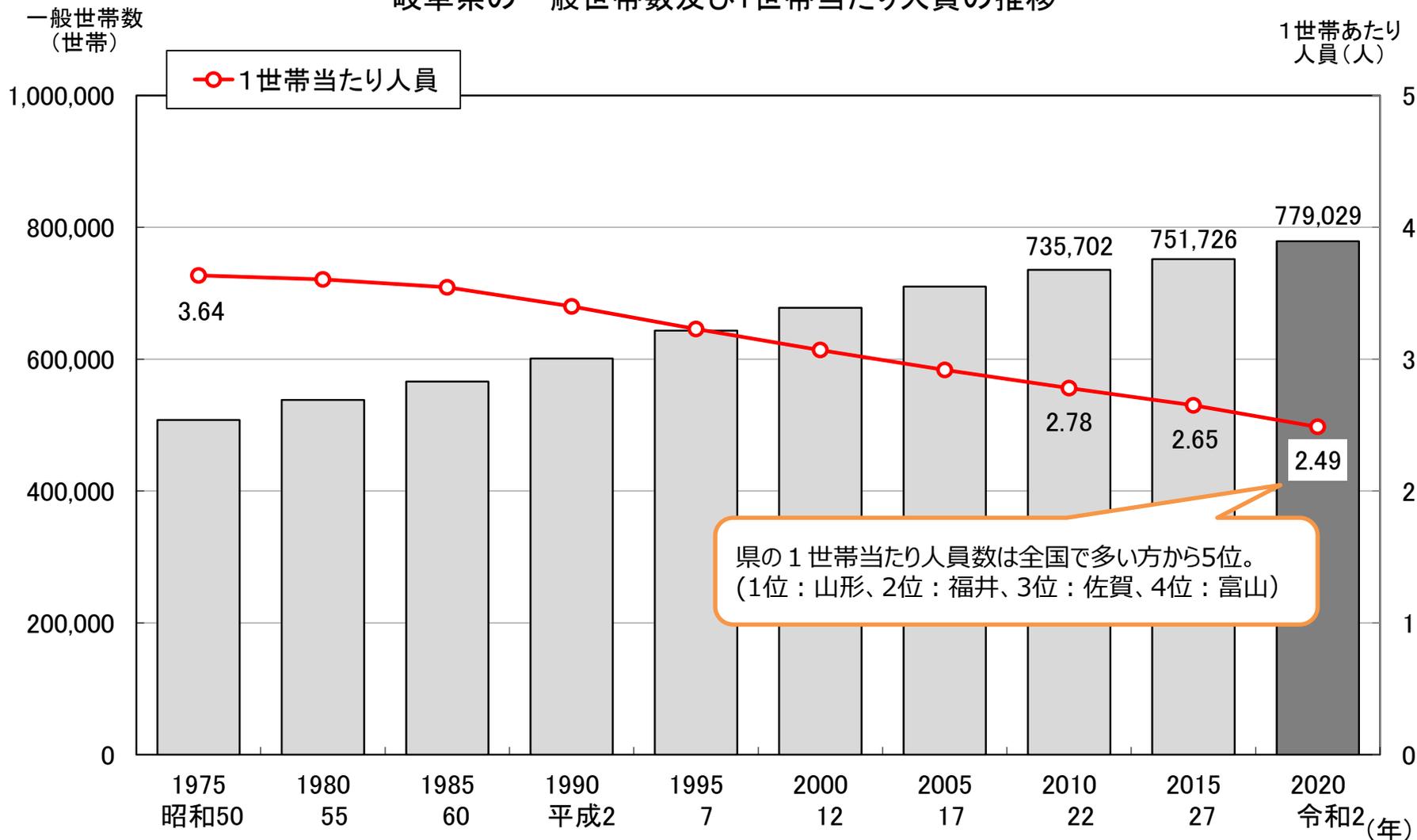


出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計)」

# 岐阜県の世帯

# 人口が減る一方、一般世帯は一貫して増加、約78万世帯となった ～ 1世帯あたり人員は2.49人と過去最低 小家族化が進む～

岐阜県の一般世帯数及び1世帯あたり人員の推移



県の1世帯あたり人員数は全国で多い方から5位。  
(1位：山形、2位：福井、3位：佐賀、4位：富山)

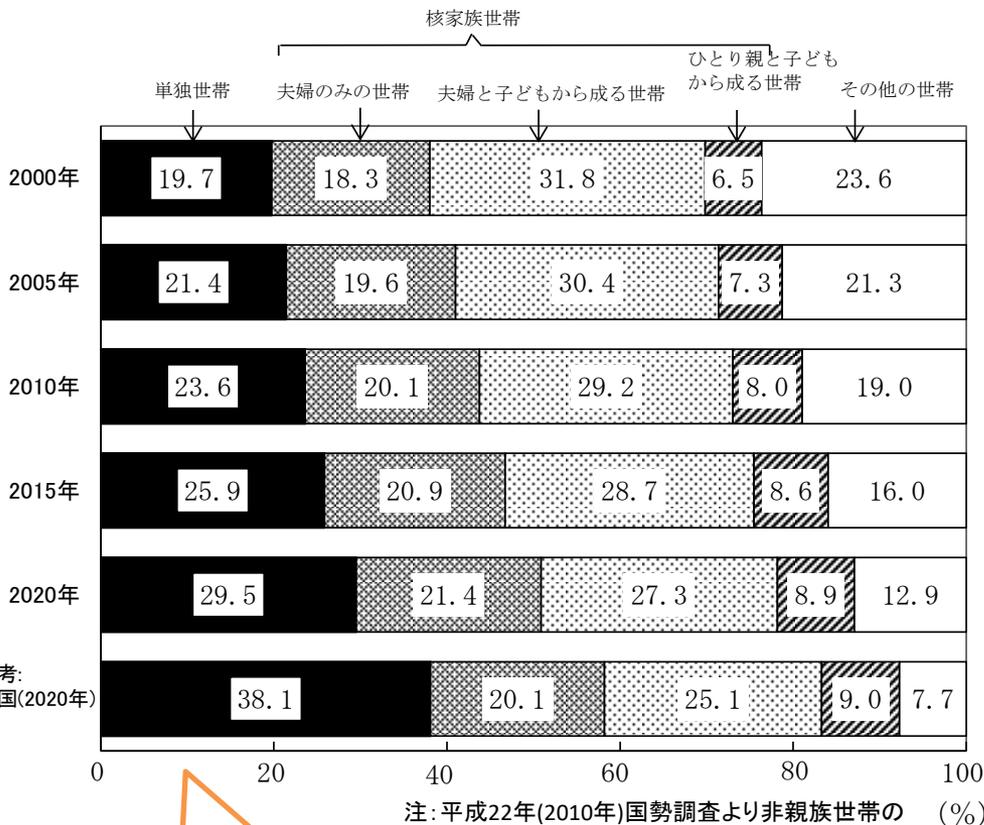
出典：総務省「国勢調査」

※一般世帯は、病院、社会福祉施設などにいる世帯を除いたもの。

どんな家族が増えたのか

# 単独世帯（1人暮らし）が大きく増加 子どもがいる世帯は減少傾向、3世代世帯が大きく減少 全国では単独世帯が1/3を超え、最も多くを占める世帯に

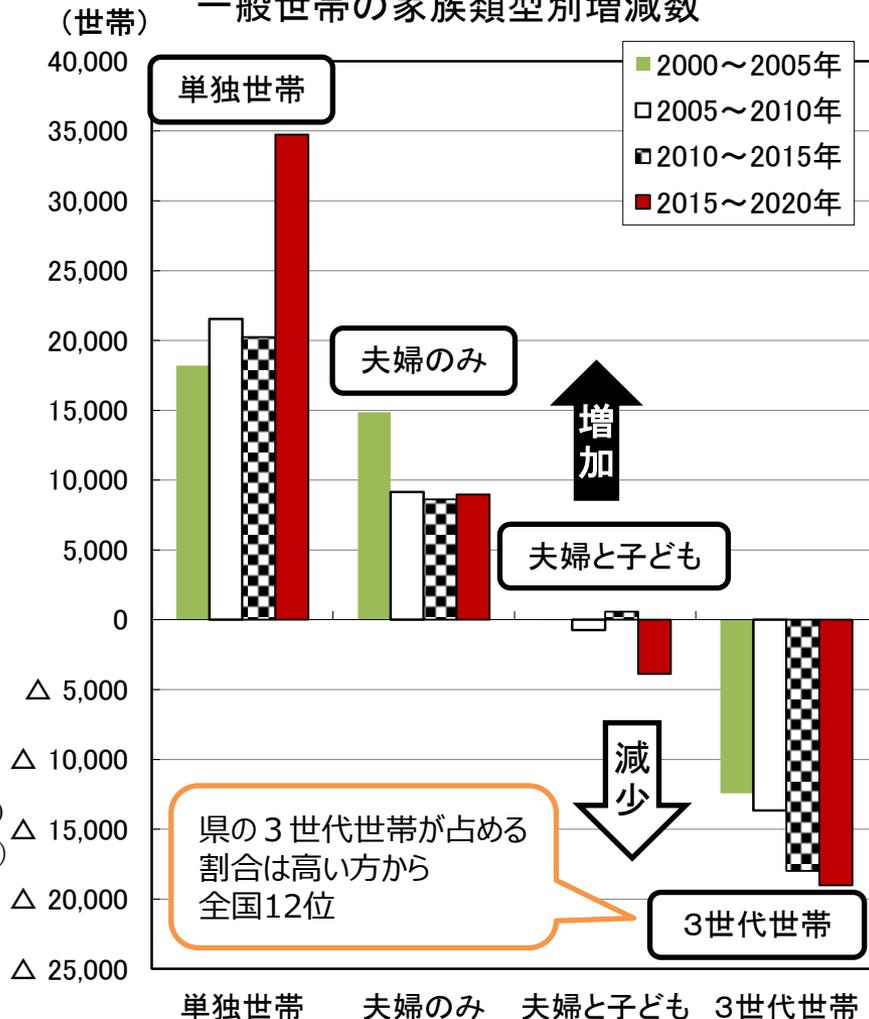
一般世帯の家族類型別割合の推移—岐阜(2000~2020年)



注：平成22年(2010年)国勢調査より非親族世帯の集計方法が変更され、統計局が平成7年(1995年)まで遡及して集計した結果を使用。

県の単独世帯が占める割合は低い方から全国3位（1位は山形、2位は奈良）

一般世帯の家族類型別増減数



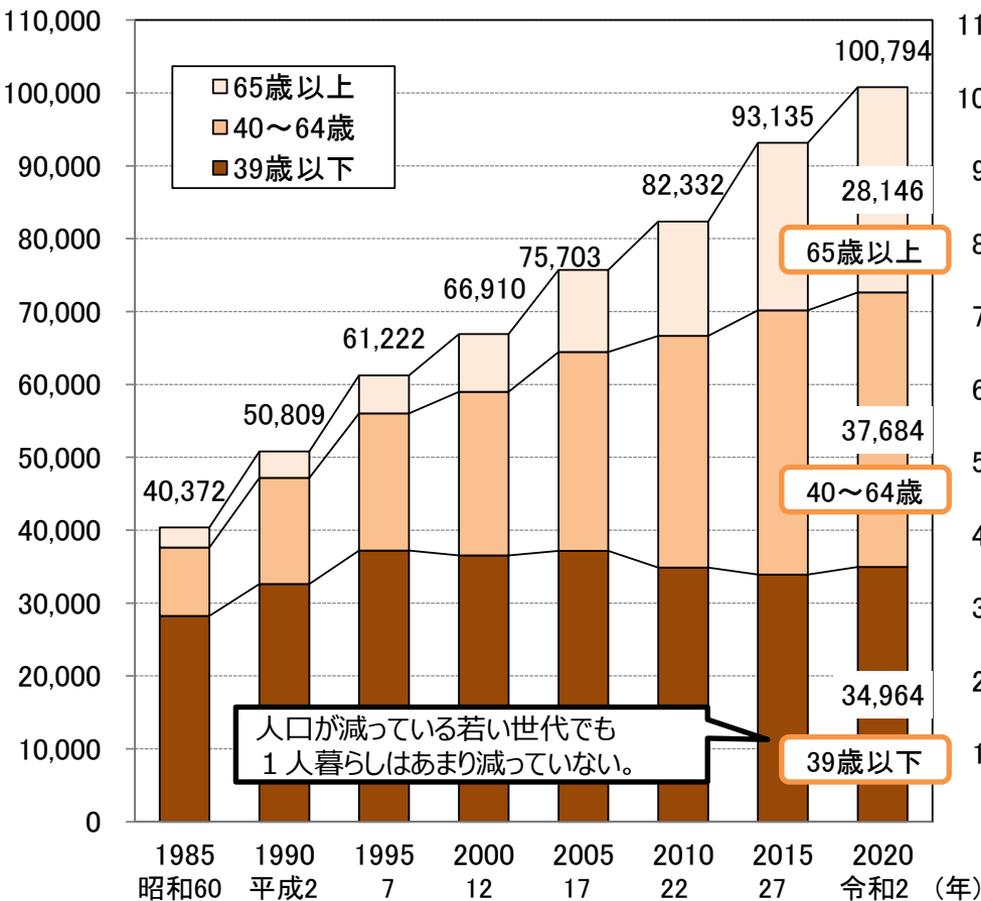
県の3世代世帯が占める割合は高い方から全国12位

どんな単独世帯（1人暮らし）が増えているのか

男性では40代以上の中高年層で1人暮らしが増加  
 女性は65歳以上の高齢層で1人暮らしが大きく増加

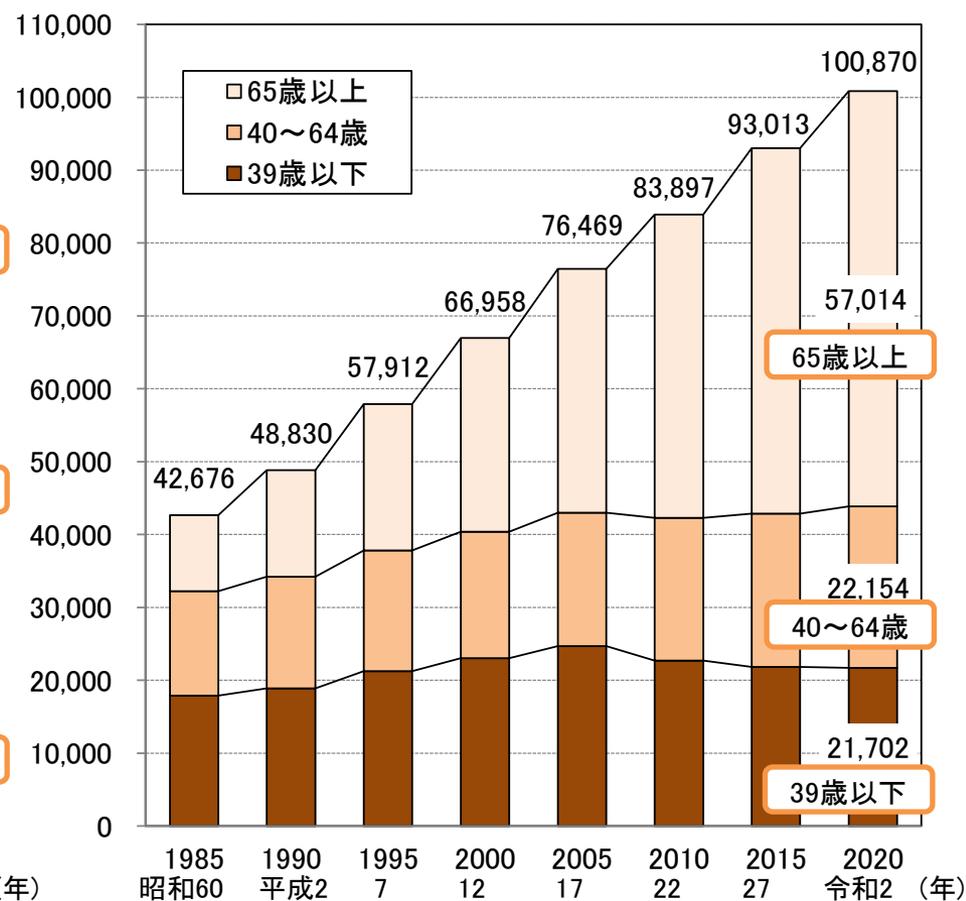
(世帯数)

男性の単独世帯の推移



(世帯数)

女性の単独世帯の推移



出典：総務省「国勢調査」 注：年齢不詳を除く。ただし、1985年、1990年は年齢不詳含む。

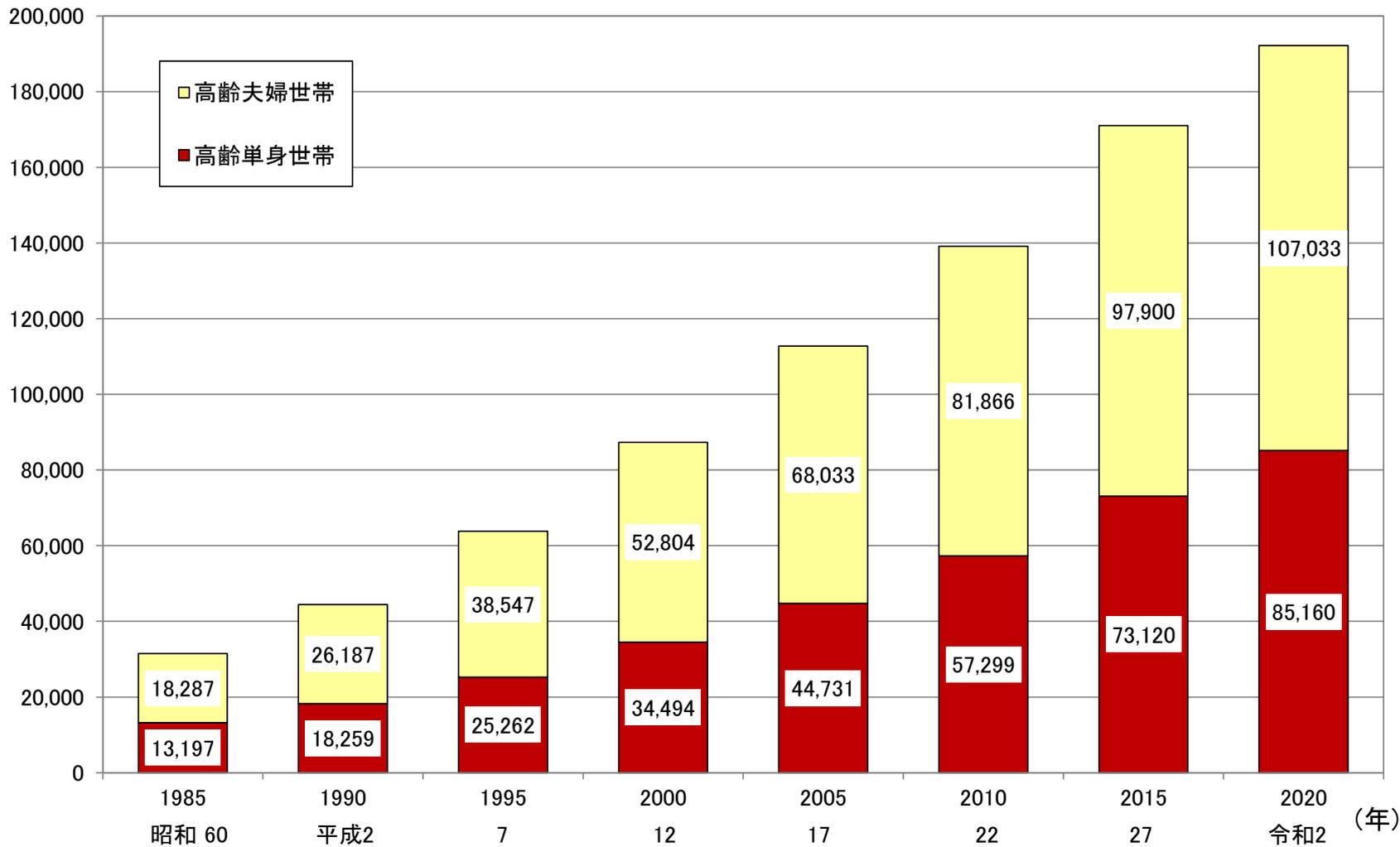
# 高齢の夫婦世帯や高齢の1人暮らし世帯が大きく増加

高齢夫婦世帯 + 高齢単身世帯：171,020世帯（2015年）⇒ 192,193世帯（2020年）

一般世帯に占める割合：22.8%（2015年）⇒ 24.8%（2020年）

（世帯）

高齢夫婦世帯・高齢単身世帯の推移(岐阜県)



出典：総務省「国勢調査」  
注：旧長野県山口村を含む

注：「高齢夫婦世帯」は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの一般世帯  
「高齢単身世帯」は65歳以上の一人のみの一般世帯

# 市町村別に見た世帯数の傾向（2010→2015年、2015→2020年）

人口が減る一方、県と同じく世帯が増加する地域が多い  
人口減少が進んでいる地域では世帯数も減少に転じている

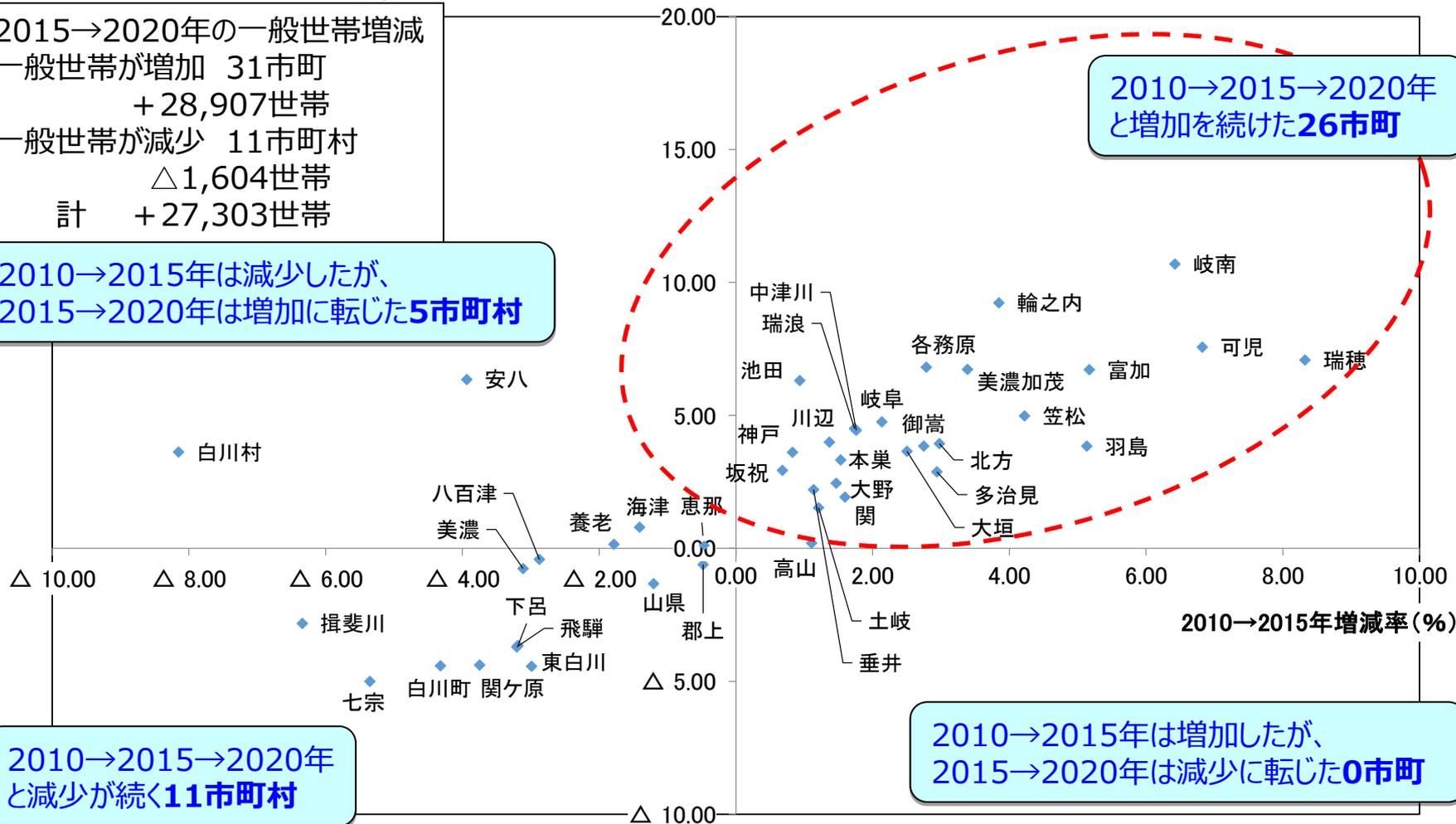
## 県内市町村別総世帯数の増減率（2010→2015年、2015→2020年）

2015→2020年増減率(%)

2015→2020年の一般世帯増減  
一般世帯が増加 31市町  
+28,907世帯  
一般世帯が減少 11市町村  
△1,604世帯  
計 +27,303世帯

2010→2015年は減少したが、  
2015→2020年は増加に転じた5市町村

2010→2015→2020年  
と増加を続けた26市町



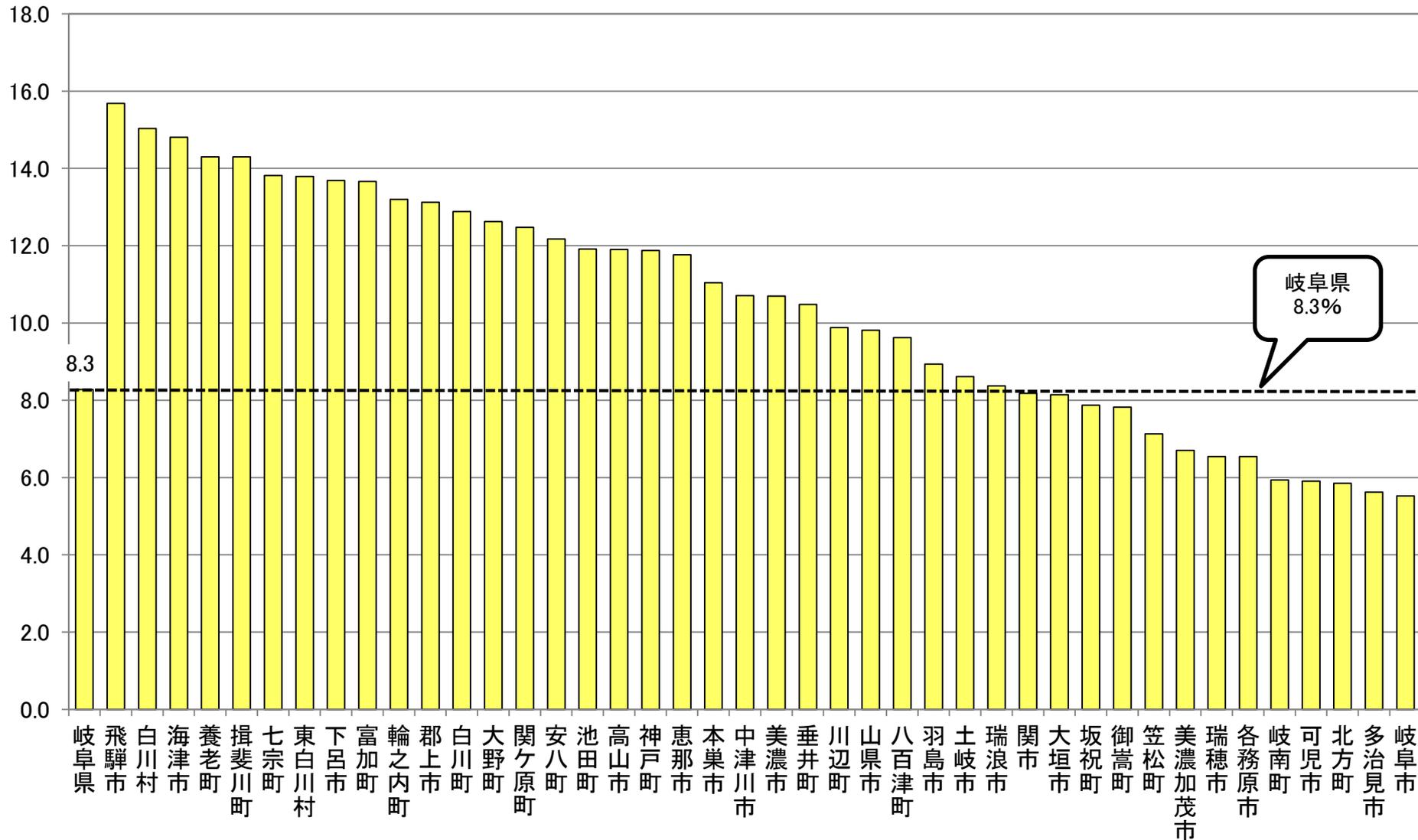
2010→2015→2020年  
と減少が続く11市町村

2010→2015年は増加したが、  
2015→2020年は減少に転じた0市町

# 3世代世帯は岐阜・大垣等南部で少ない傾向

(%)

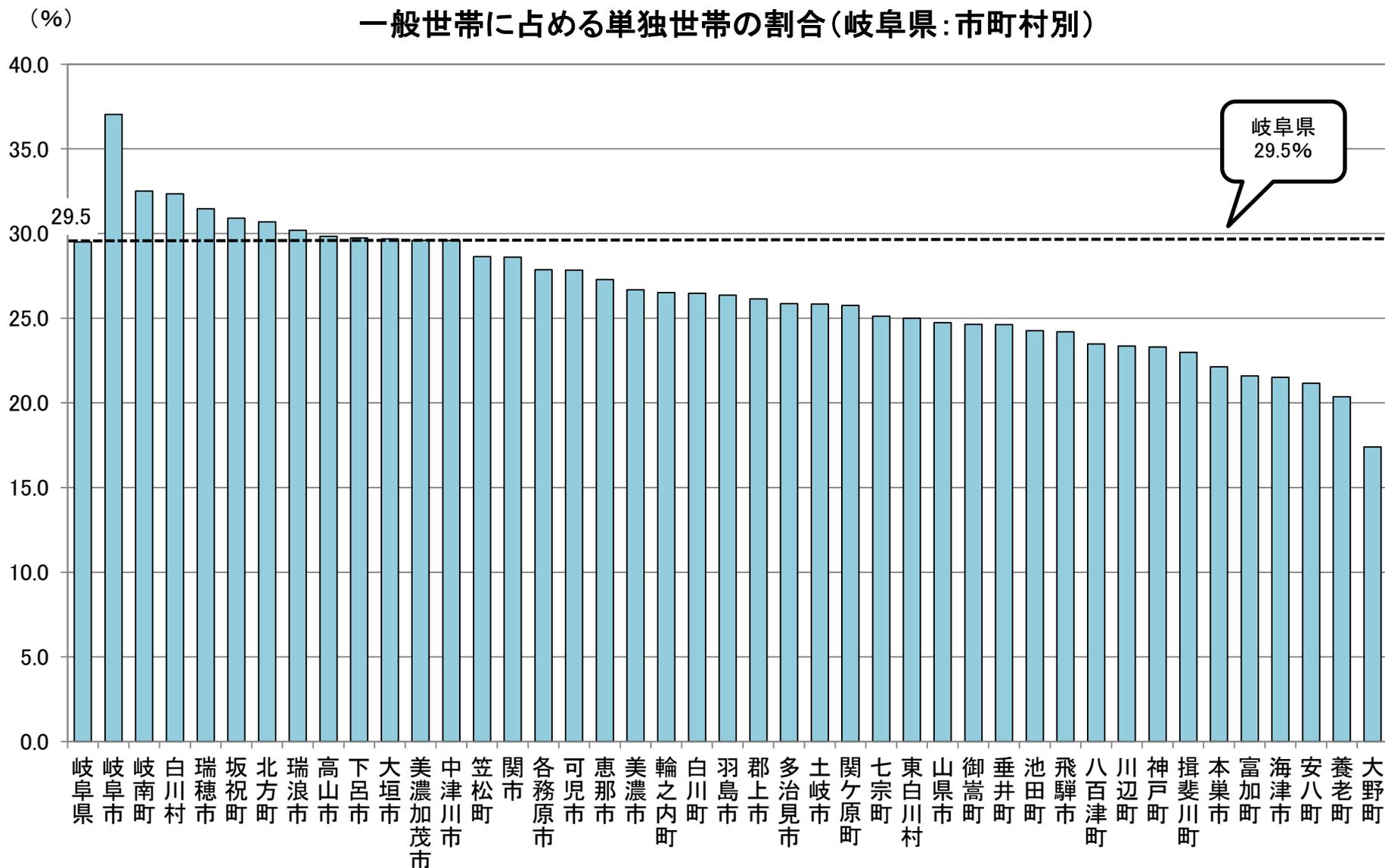
一般世帯に占める3世代世帯の割合(岐阜県:市町村別)



出典:総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

# 単独世帯は岐阜・大垣等の南部で多い傾向

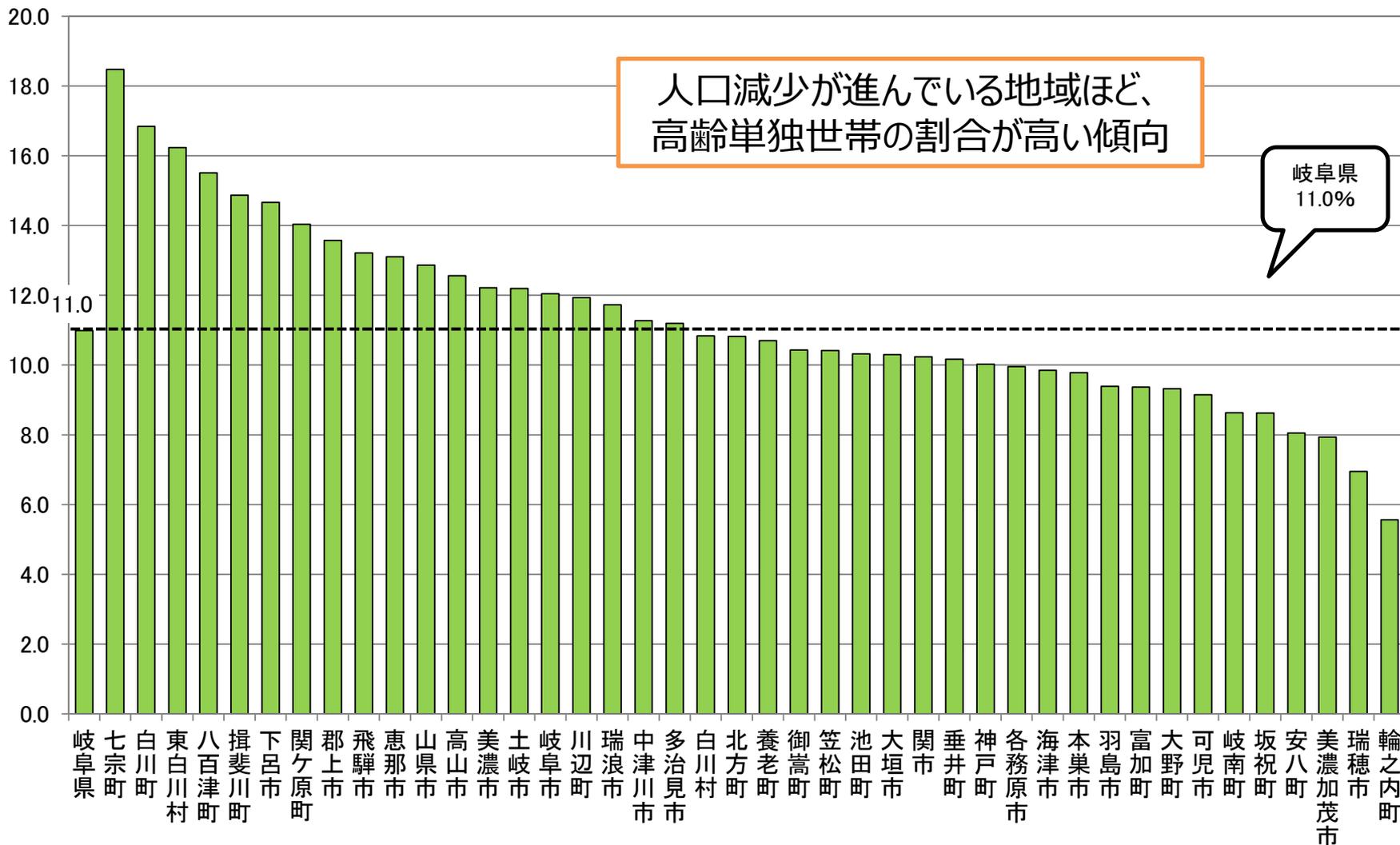
一般世帯に占める単独世帯の割合(岐阜県:市町村別)



出典:総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

# 高齢単身世帯の割合が1割を超える市町村が3分の2 (10軒のうち1軒は高齢の1人暮らし)

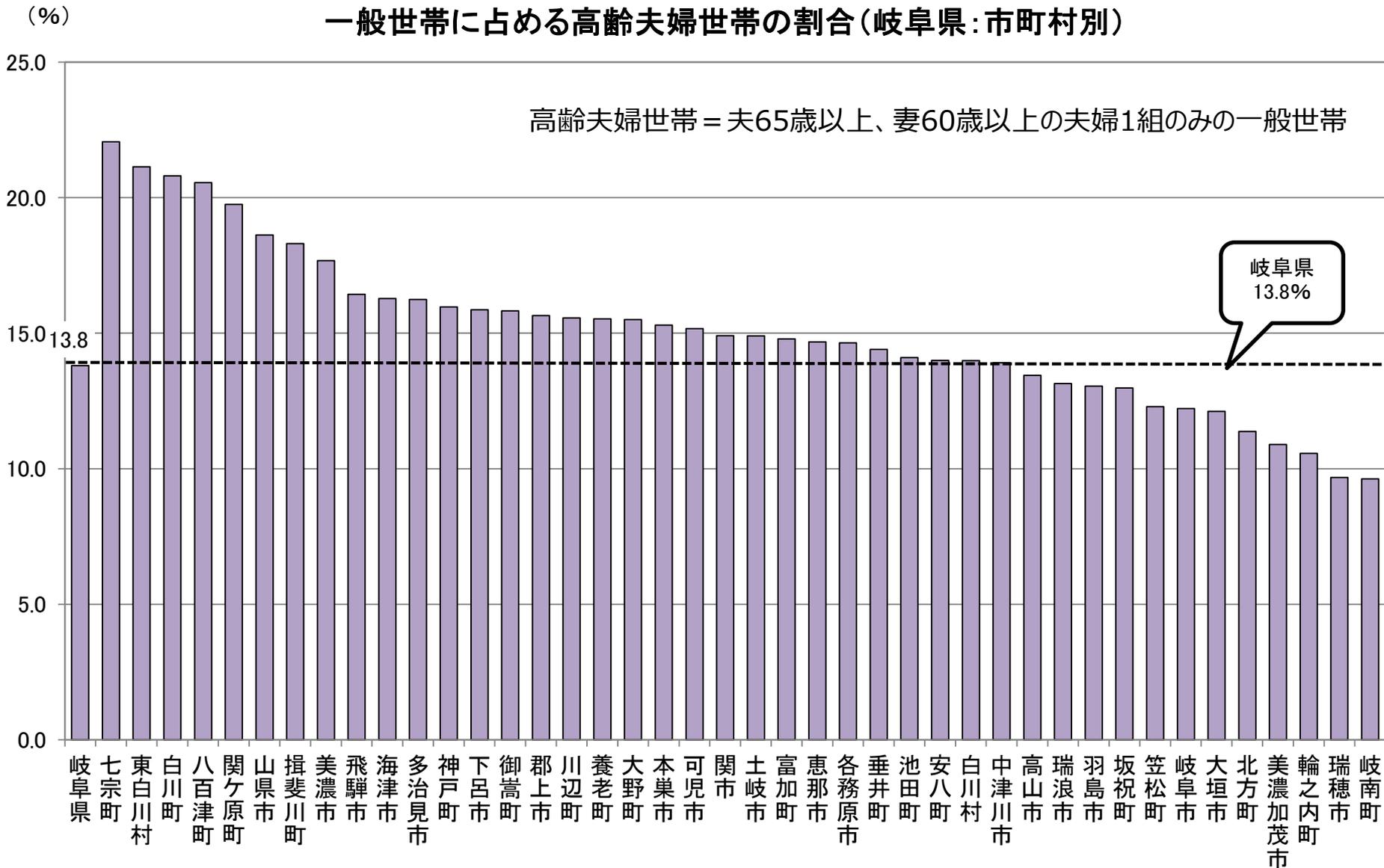
(%) 一般世帯に占める65歳以上単独世帯の割合(岐阜県:市町村別)



出典:総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

# 高齢単身世帯が多いところでは高齢夫婦世帯も多い傾向

一般世帯に占める高齢夫婦世帯の割合(岐阜県:市町村別)

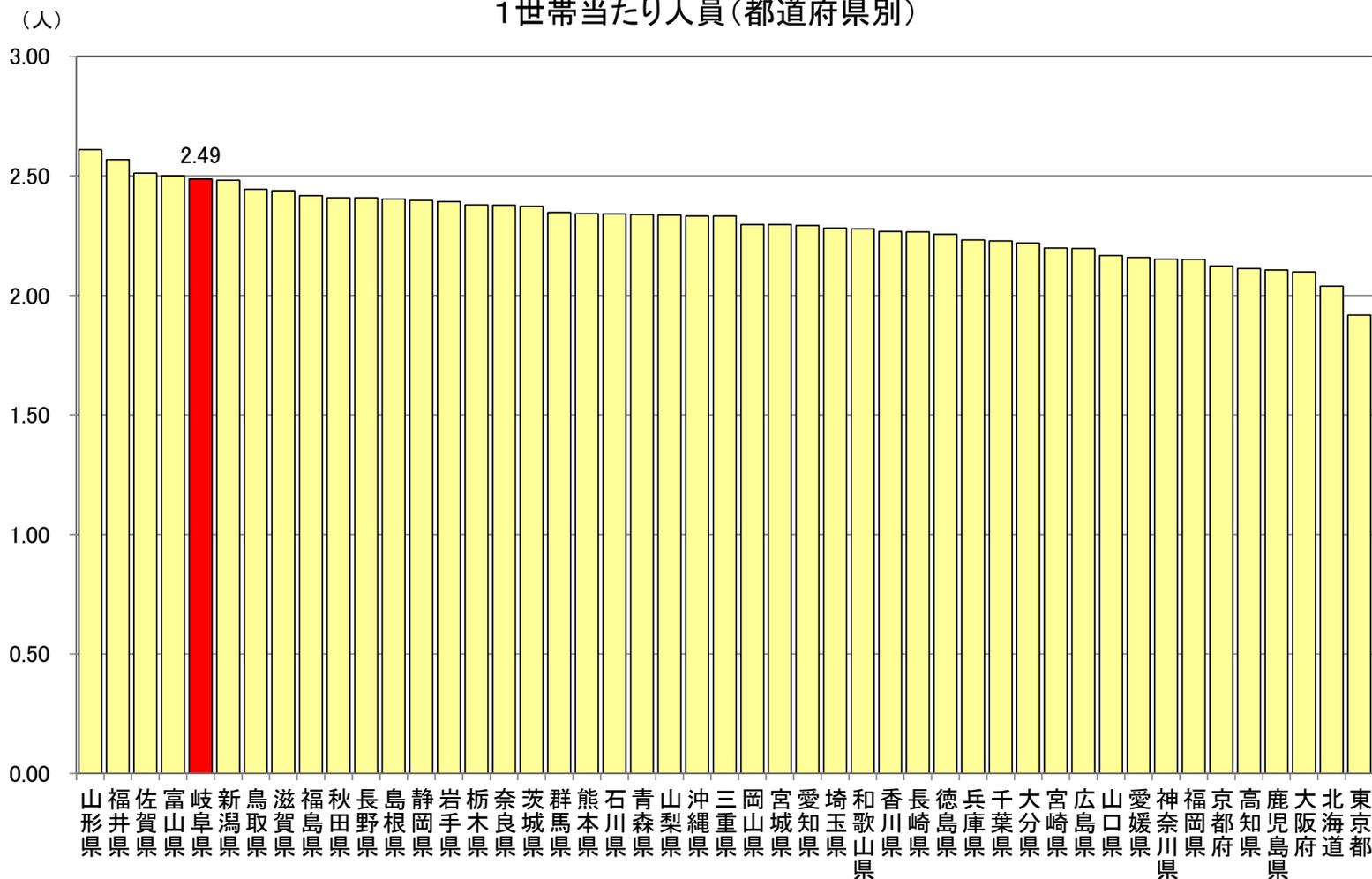


出典:総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

# 一般世帯の1世帯当たり人員は2.49人。全国5位と家族が多い県

- 岐阜県の2020年の1世帯当たりの人員数は2.49人で、全国5位と多い。(全国2.21人)
- しかし、1世帯当たり人員は減少し続けており、30年前(1990年 3.40人)と比べると、△0.9人と大きく減少している(単身世帯の増加、3世代世帯や子どもの減少などによる)

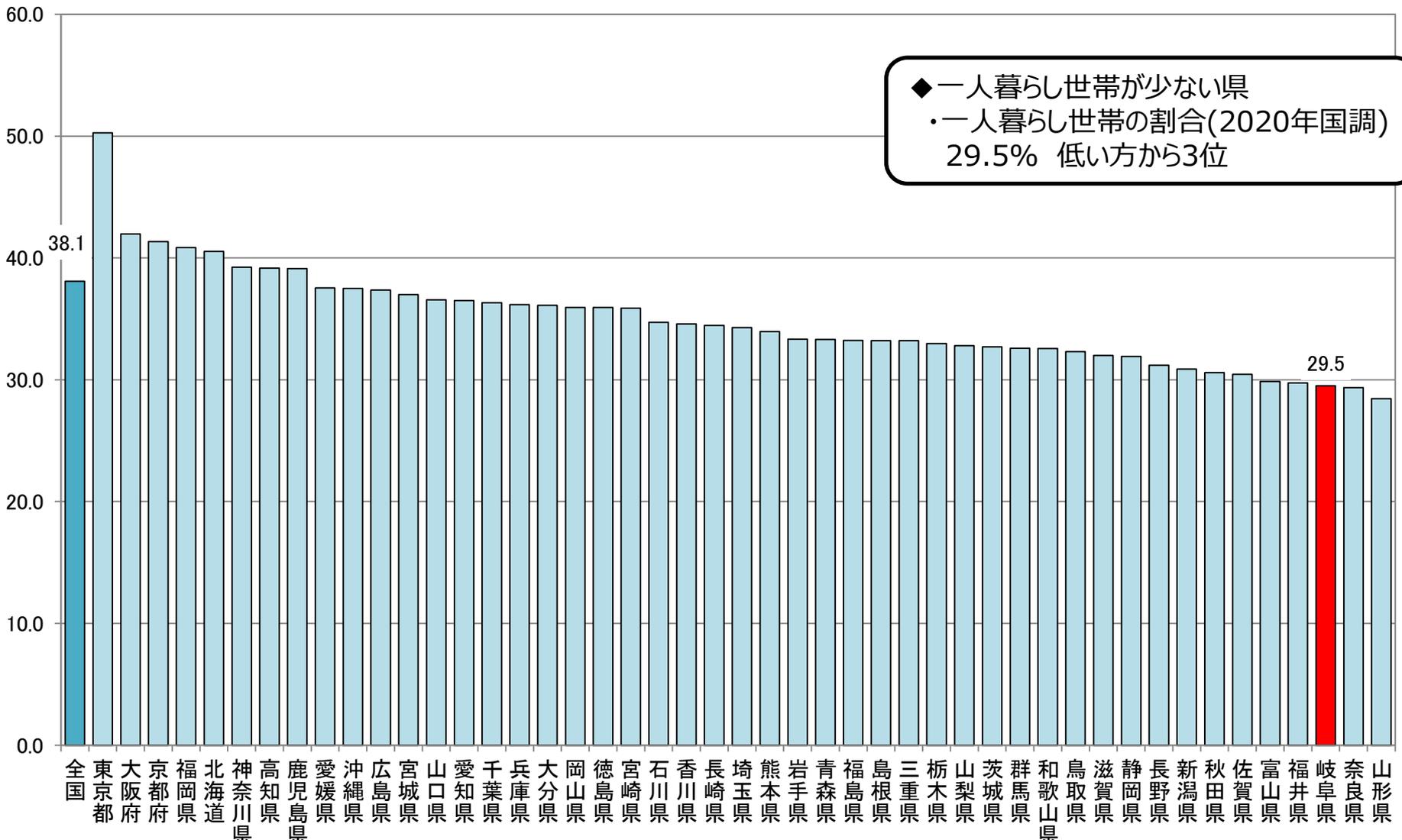
1世帯当たり人員(都道府県別)



出典:総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

# 岐阜県は一人暮らしが少ない方（低い方から全国3位）

一般世帯総数に占める単独世帯の割合（2020年）—都道府県別—



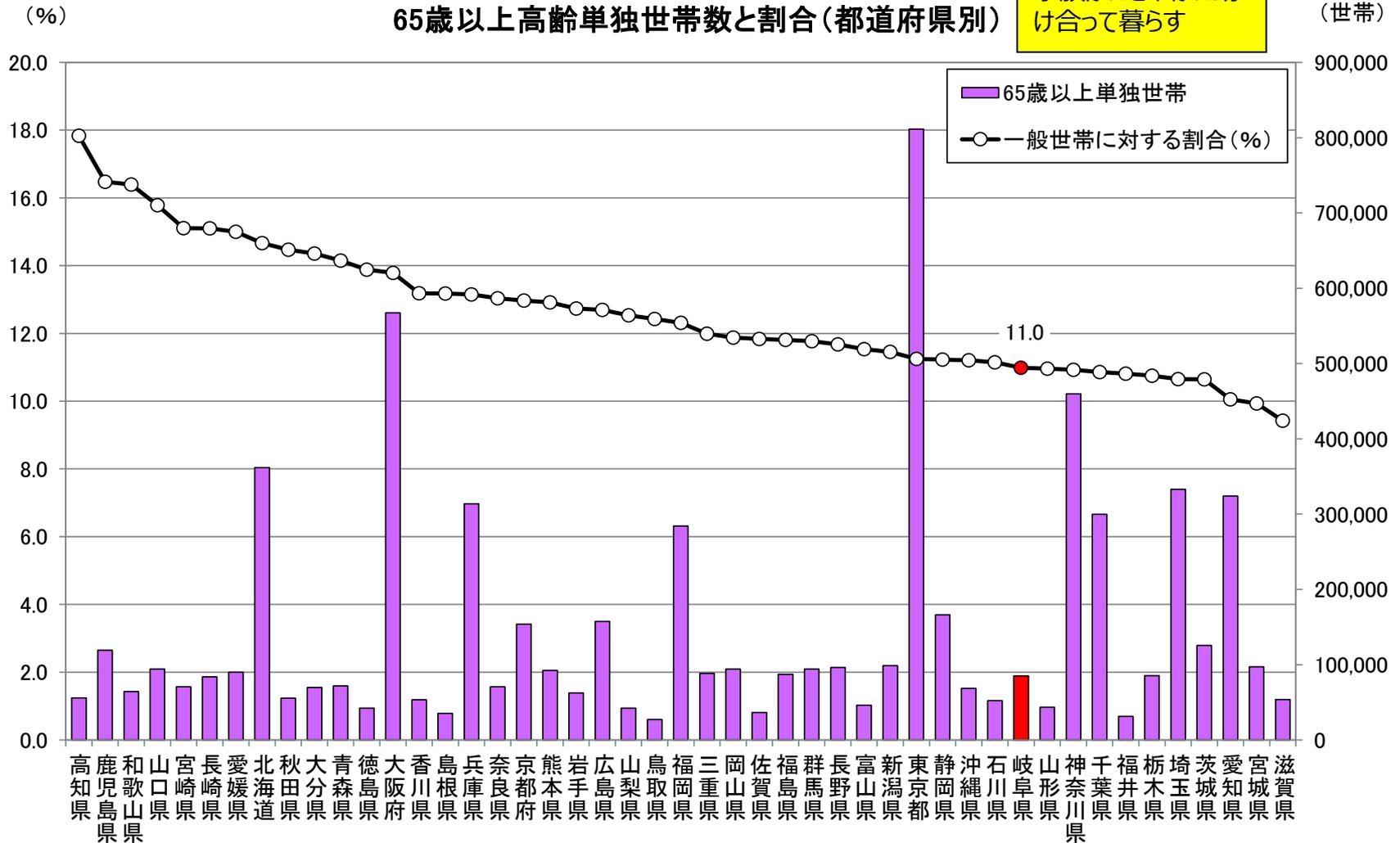
出典：総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

注：世帯の家族類型「不詳」を除いて算出。

# 高齢の一人暮らしが少ない

- 岐阜県の2020年の高齢単身（65歳以上のひとり暮らし）世帯は、8万5160世帯で、一般世帯総数（施設等世帯を除く）に対する割合11.0%、全国37位と低い。（全国12.1%）
- しかし、1990年の1万8259世帯に比べると、4.7倍に増加している。

家族がにぎやかに助け合って暮らす

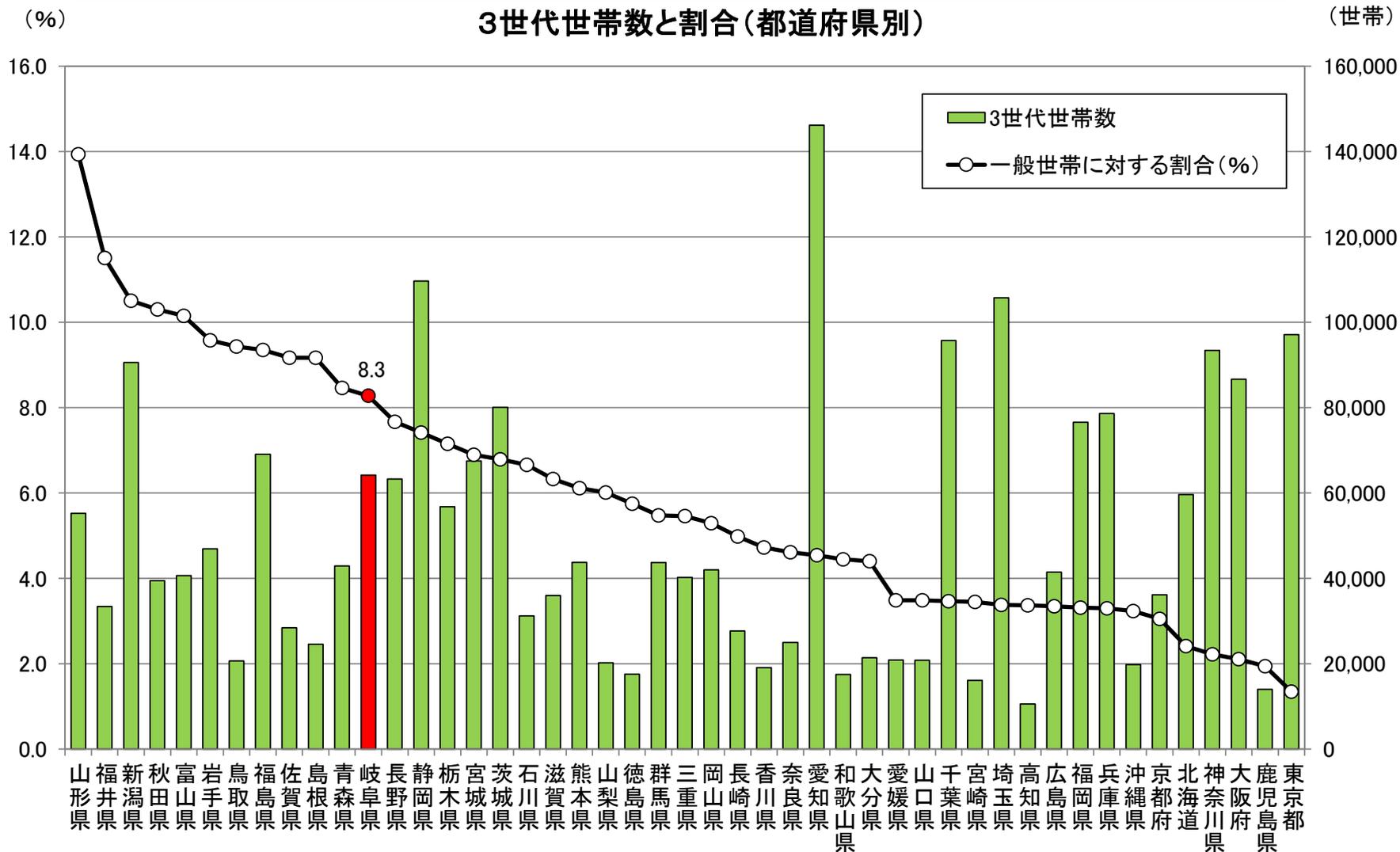


出典：総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

# 祖父母と暮らす3世代世帯が多い

○岐阜県の3世代世帯は6万4159世帯で、一般世帯総数に対する割合は8.3%、全国12位と高い。(全国4.2%)

## 3世代世帯数と割合(都道府県別)

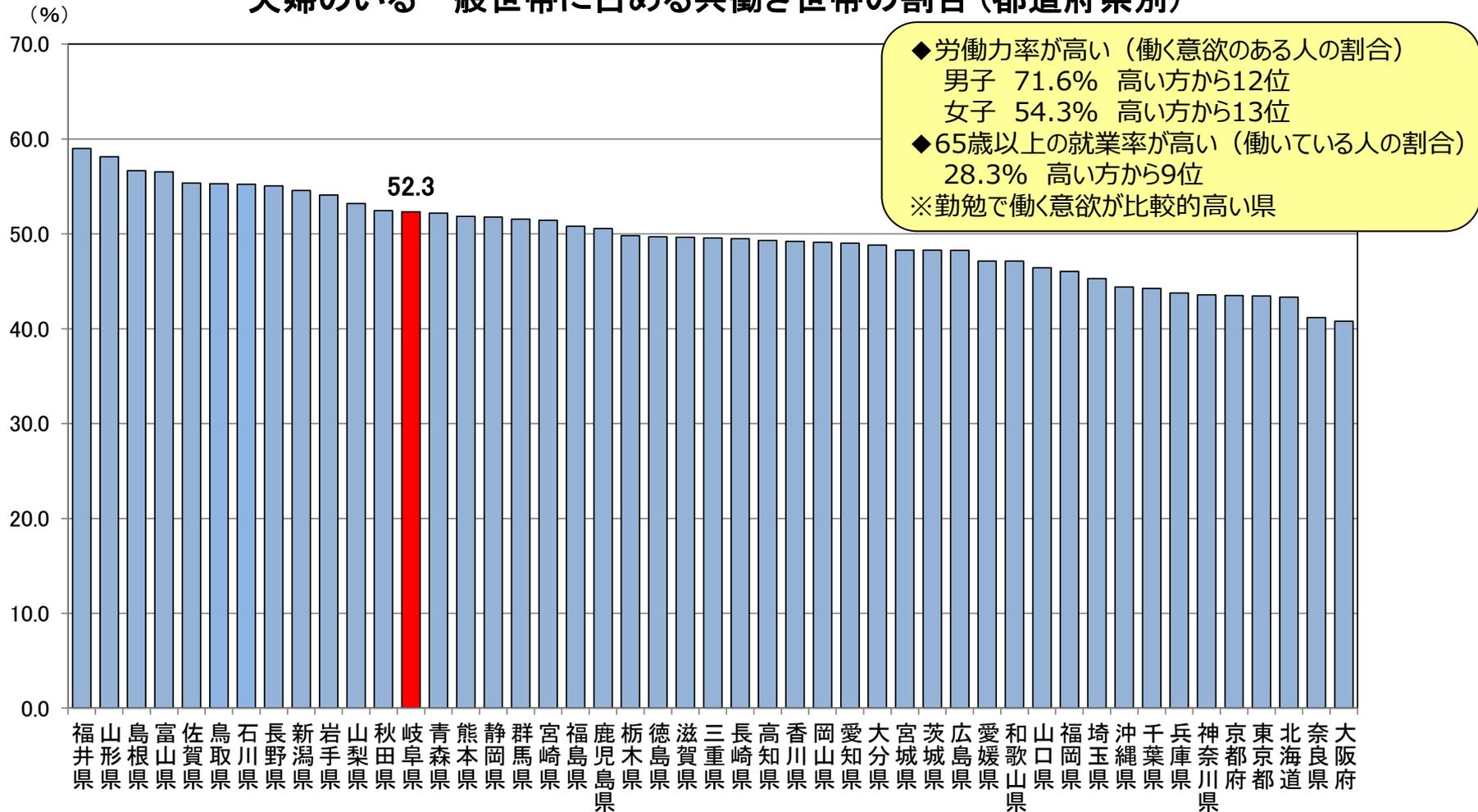


出典:総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

# 夫婦の共働きが多い方

岐阜県の2020年の夫婦共働き世帯は24万0496世帯で、夫婦のいる一般世帯総数（45万9634世帯）に対する割合は52.3%、全国13位と高い。（全国47.1%）

## 夫婦のいる一般世帯に占める共働き世帯の割合（都道府県別）



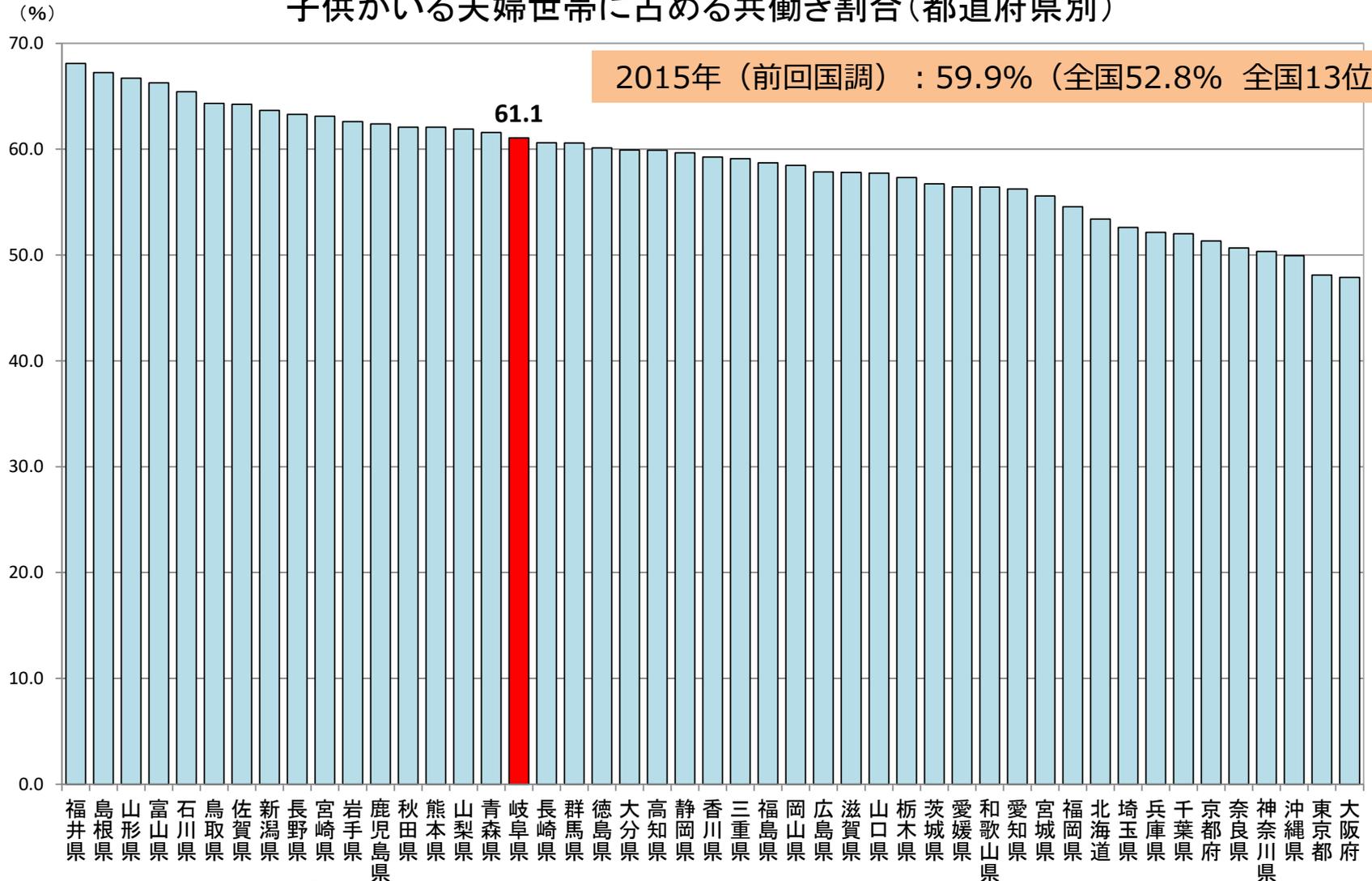
出典：総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

注：共働き世帯(夫婦とも就業者の世帯)／夫婦のいる一般世帯総数(夫婦のいる世帯のうち施設等の世帯を除く世帯数)

# 子どもがいる夫婦世帯に限って、共働きの割合をみても、 岐阜県は61.1%（全国55.0%、全国17位）と、共働きの多い方

子供がいる夫婦世帯に占める共働き割合（都道府県別）

2015年（前回国調）：59.9%（全国52.8% 全国13位）



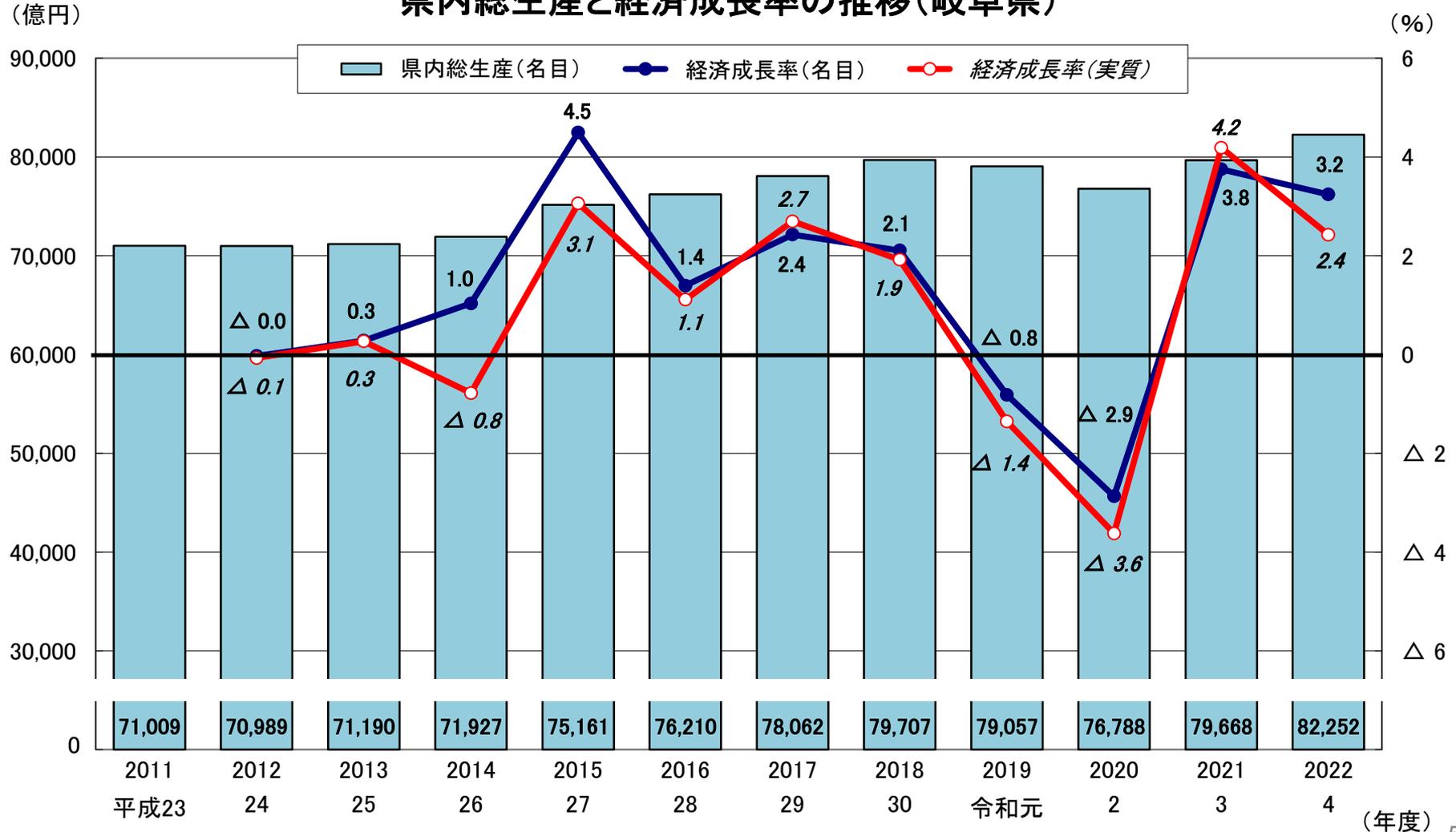
出典：総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

注：共働き世帯(夫婦とも就業者の世帯)／一般世帯総数(核家族世帯、単独世帯、3世代世帯などを含む、施設等の世帯を除いた一般世帯の合計)

# 岐阜県の経済

**県内総生産は約8兆円（2022年度・名目）**  
**国内総生産（GDP・約566兆円）の約1.5%に相当**  
**2022年度は卸売・小売業、運輸・郵便業などが増加したため、プラス成長**

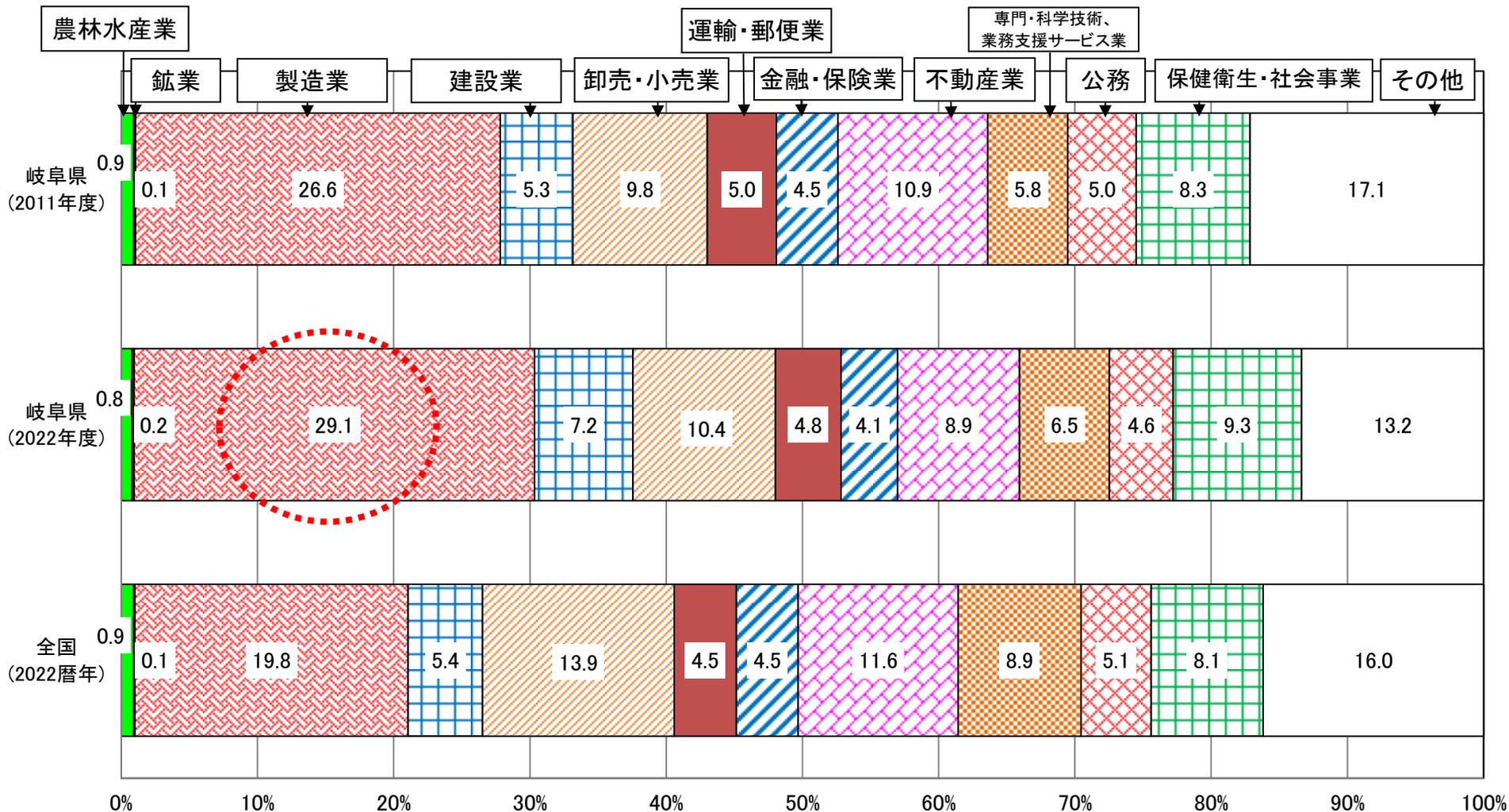
県内総生産と経済成長率の推移（岐阜県）



出典：岐阜県「令和4年度(2022年度)県民経済計算結果」

# 県内総生産のうち最も割合が高いのは製造業（約3割、約2兆円）

## 県内総生産の経済活動別構成比

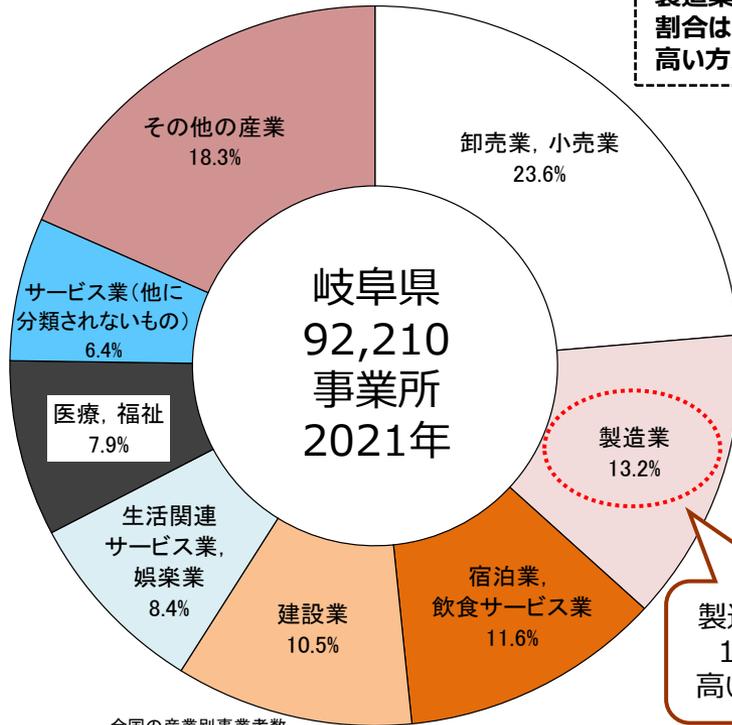


出典：岐阜県「令和4年度(2022年度)県民経済計算結果」、内閣府「令和5年度(2023年度)国民経済計算年次推計」

注：その他＝電気・ガス・水道・廃棄物処理業＋宿泊・飲食サービス業＋情報通信業＋教育＋その他のサービス  
輸入税加算、消費税控除前のため合計は100%とならない。

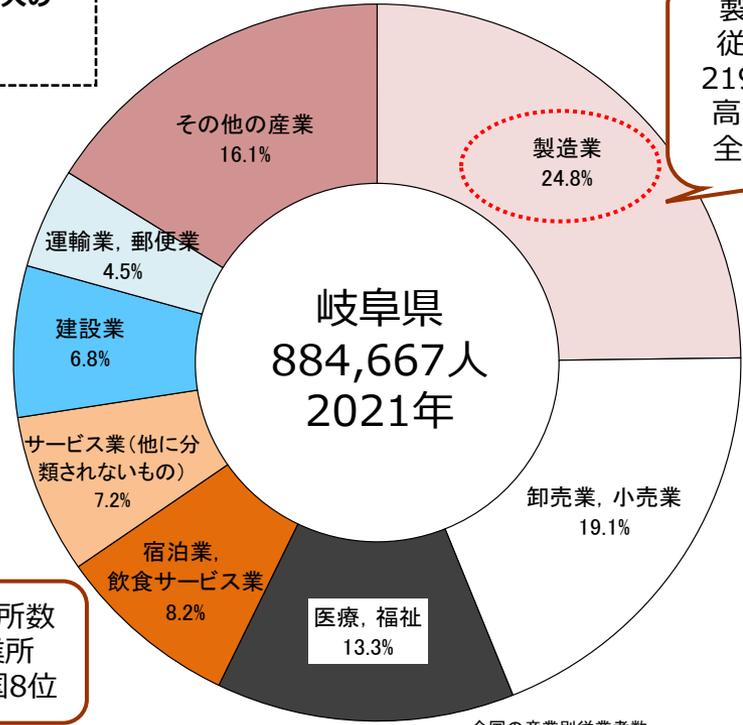
# 産業別の事業所数、従業者数でも、製造業の割合が高い

岐阜県の産業別事業所数



製造業で働いている人の割合は24.8%  
高い方から全国6位

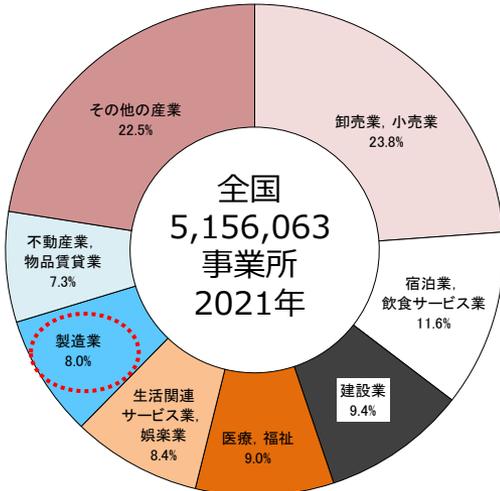
岐阜県の産業別従業者数



製造業の従業者数  
219,331人  
高い方から  
全国13位

製造業の事業所数  
12,132事業所  
高い方から全国8位

全国の産業別事業者数

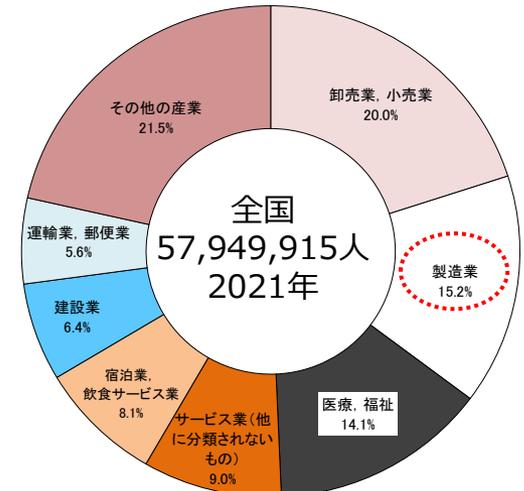


事業所数に占める製造業事業所の割合は13.2%  
高い方から全国1位

「その他の産業」

- = 農林漁業 + 鉱業
- + 電気・ガス・熱供給・水道業
- + 情報通信業 + 運輸業、郵便業
- + 金融・保険業 + 不動産業、物品賃貸業
- + 学術研究、専門・技術サービス業
- + 教育、学習支援業 + 複合サービス業

全国の産業別従業者数

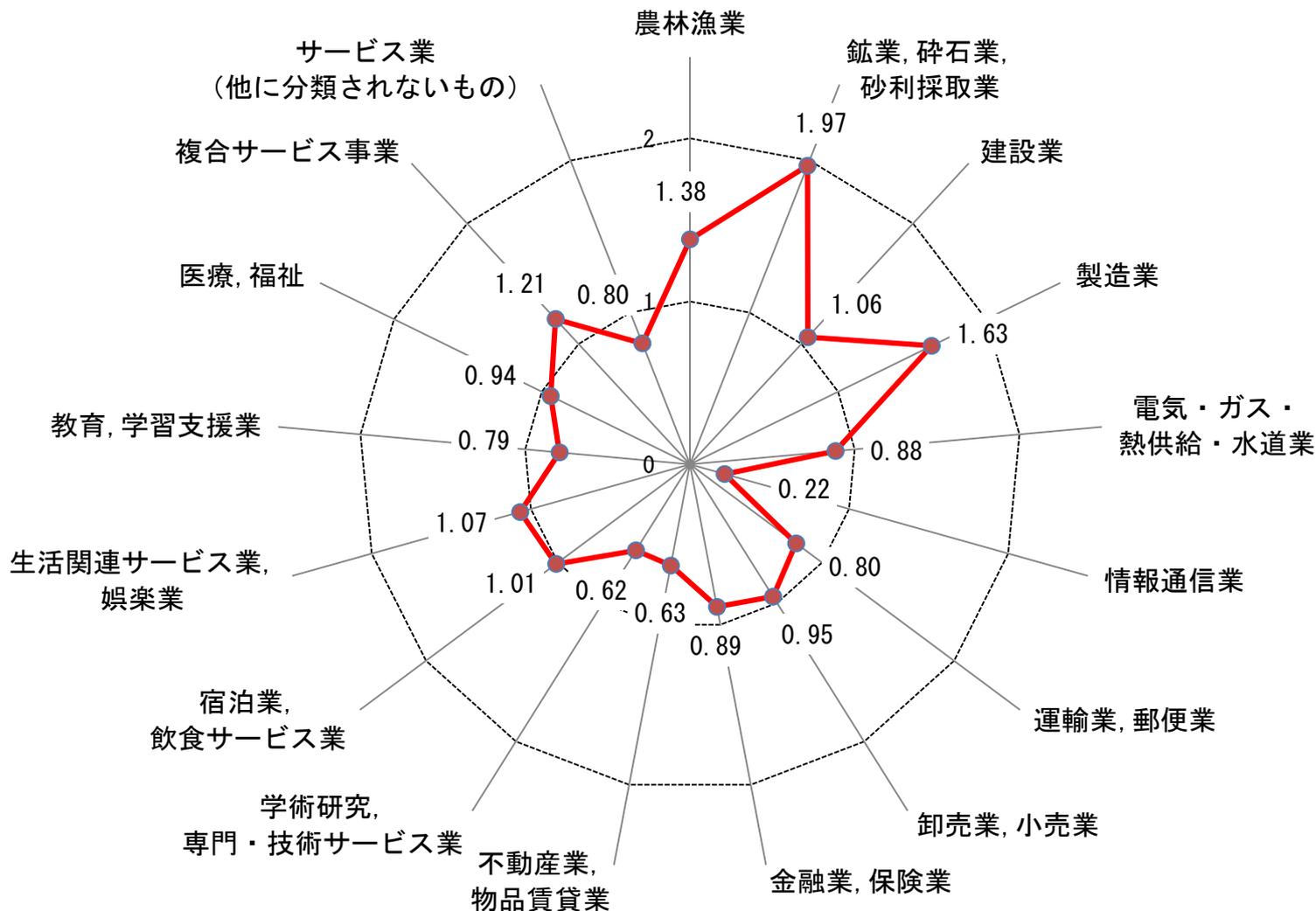


出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」

注：事業内容等が不詳の事業所を除く。

# 従業者の特化係数をみると全国と比べて製造業の特化係数が高い

産業別従業者数の構成比による特化係数（岐阜県 ※全国＝1.00）2021年

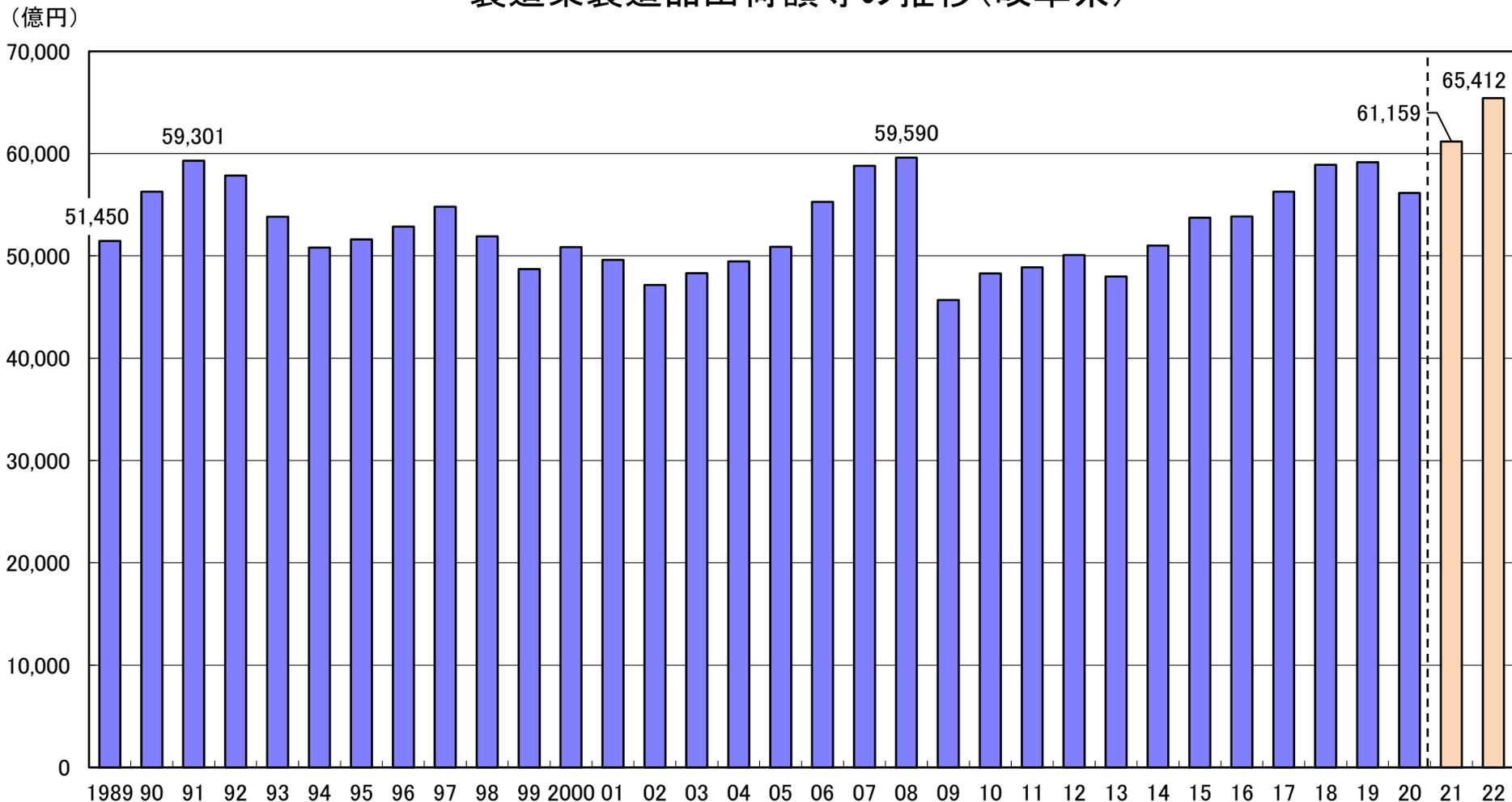


出典: 総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」

注: 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

# 製造品出荷額は約6兆5千億円、2010年以降は増加傾向

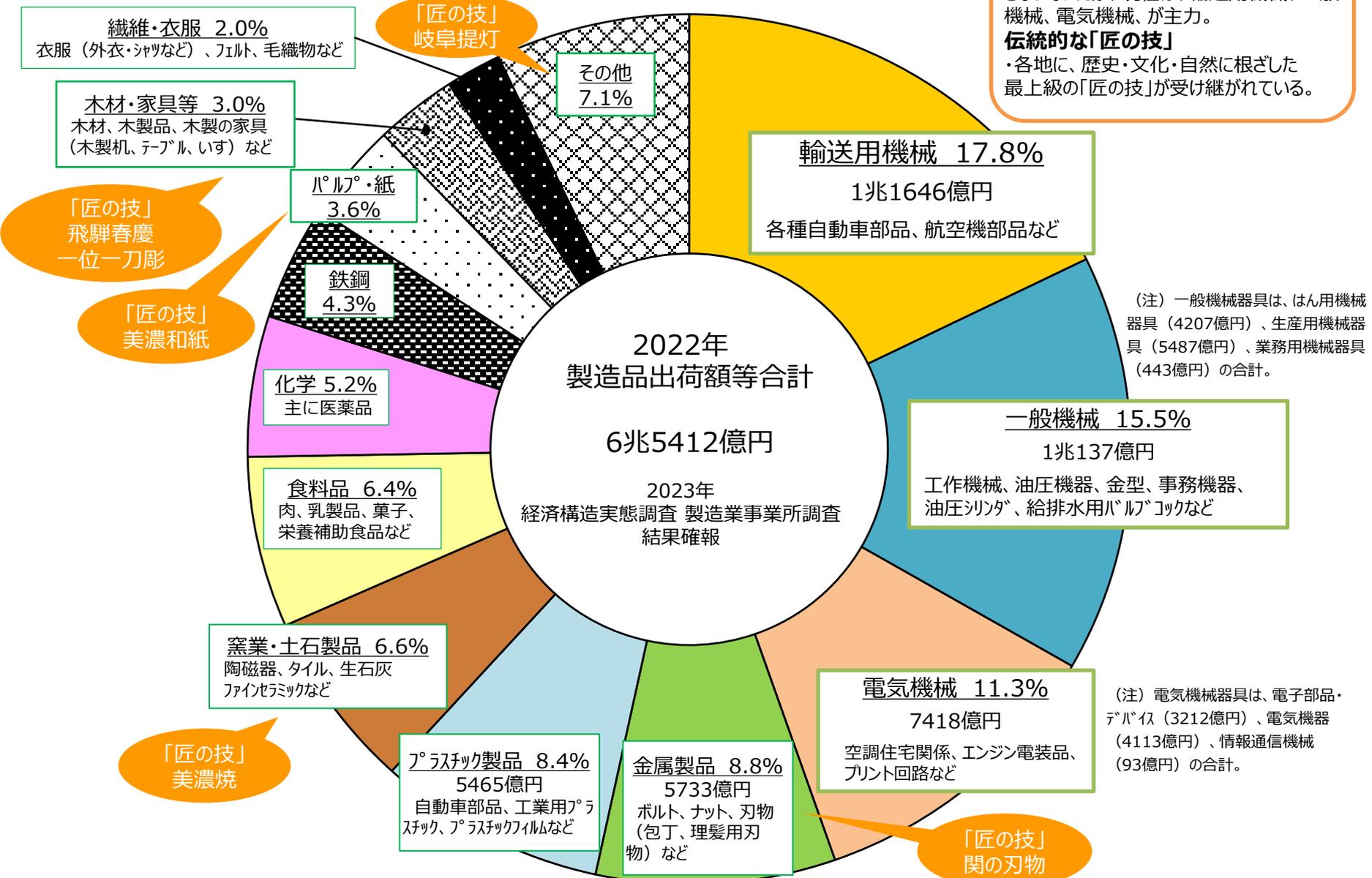
製造業製造品出荷額等の推移(岐阜県)



出典: 総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない) (年)  
 1989年～2019年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)  
 注: 「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

# 生活必需品から航空機部品まで幅広く生産している

**特色ある地場産業が各地に存在**  
 ・かつては、繊維、陶磁器が製造業の主力となっていたが、現在は、輸送用機械、一般機械、電気機械、が主力。  
**伝統的な「匠の技」**  
 ・各地に、歴史・文化・自然に根ざした最上級の「匠の技」が受け継がれている。

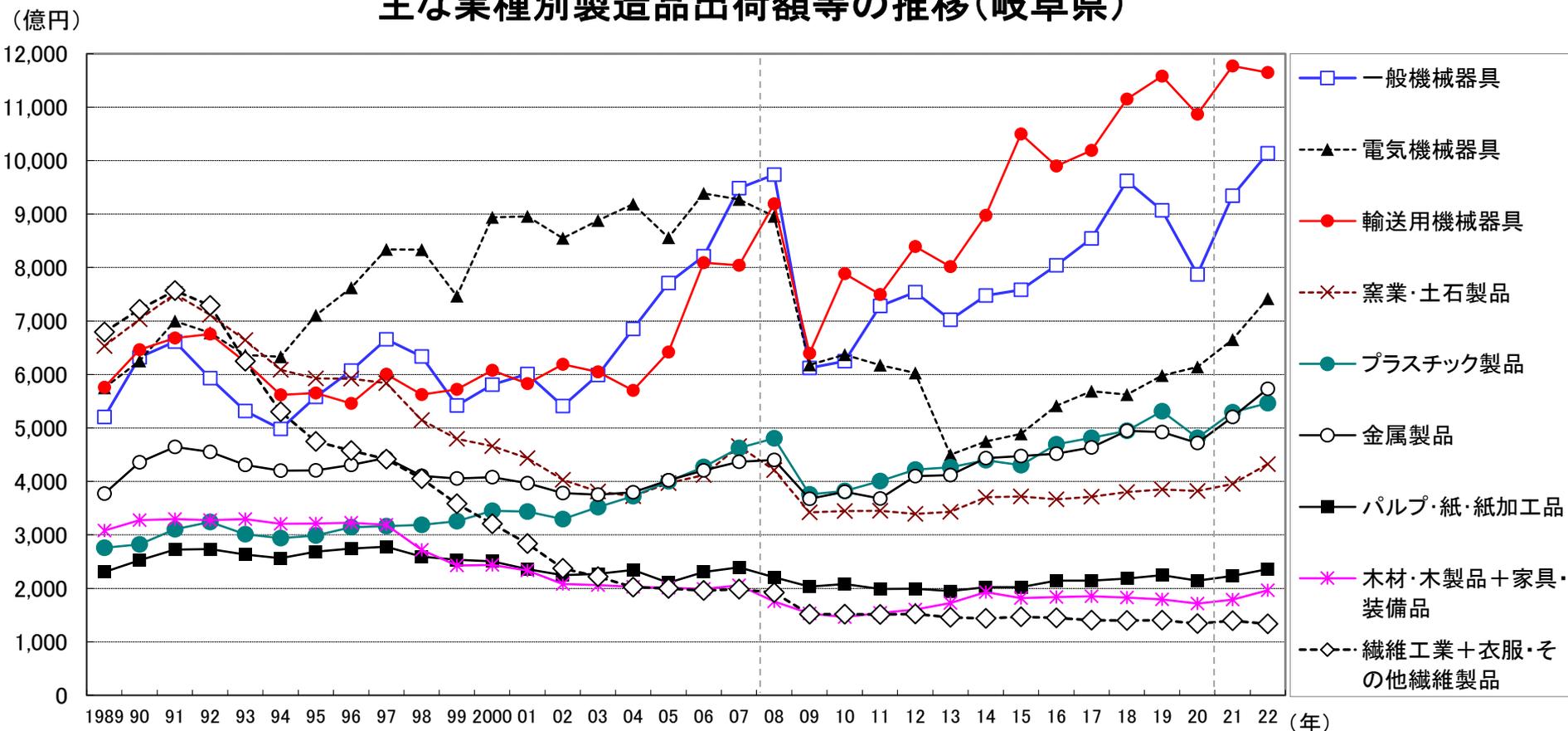


出典：総務省・経済産業省「令和5年(2023年)経済構造実態調査 製造業事業所調査」(個人経営を含まない)

注：各項目の金額は単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計は一致しない。

# 輸送用機械、一般機械、電気機械が製造業の主力 かつてトップであった繊維、窯業土石といった地場産業は大きく減少

## 主な業種別製造品出荷額等の推移(岐阜県)



出典: 総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

1989年～2019年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注1: 電気機械器具には、情報通信機械と電子部品・デバイス・電子回路を含む。

2007年から製造品出荷額等の内容に変更があり、当該事業所の転売収入額等も含めた額となっている。

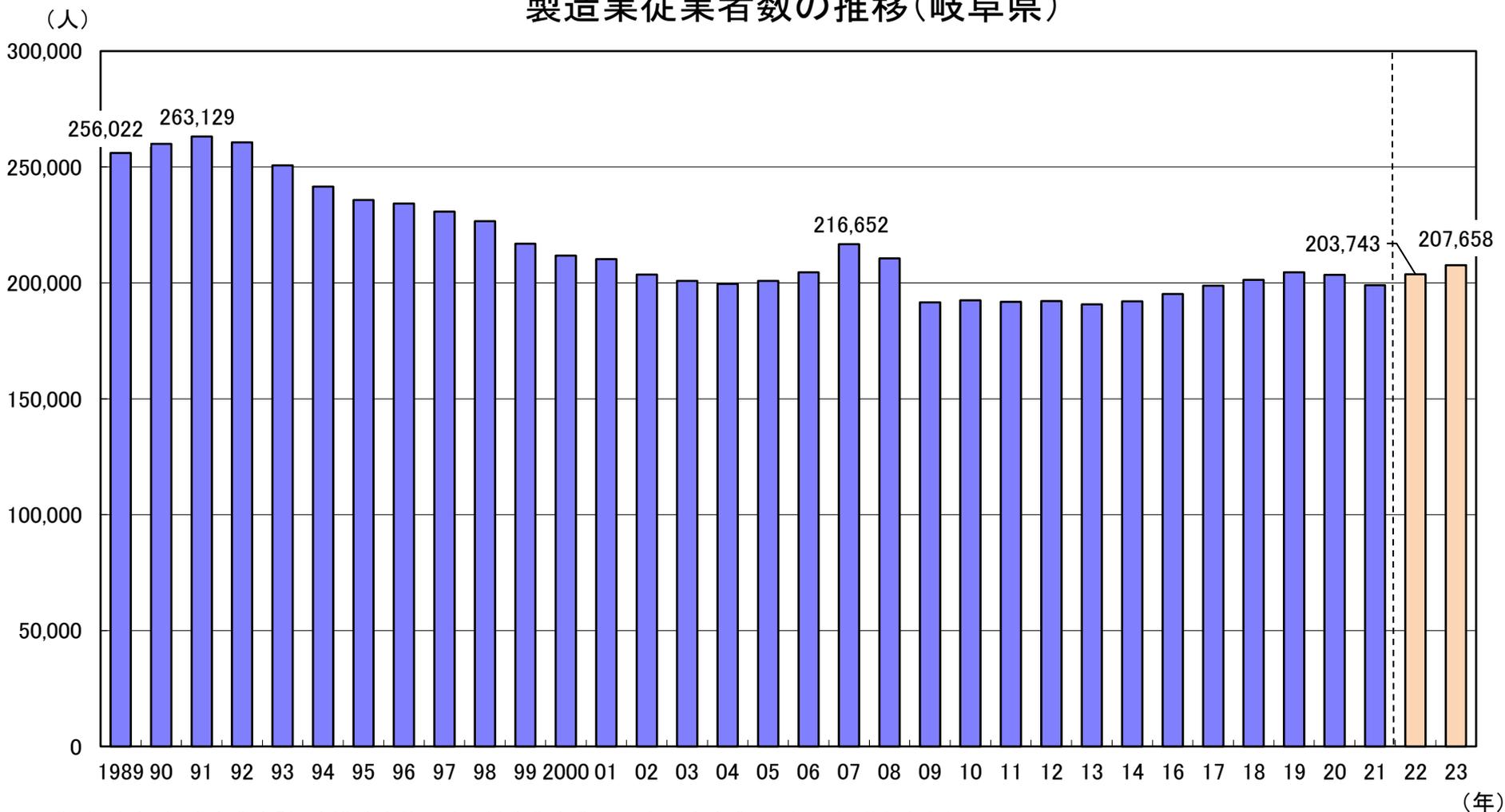
注2: 「繊維工業+衣服・その他繊維製品」、「パルプ・紙・紙加工品」、「窯業・土石製品」、「一般機械器具」は産業分類の改訂により2007年と2008年は接続しない。

注3: 一般機械器具には、はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具を含む。

注4: 「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

# 製造業従業者数は、2009年以降横ばい

製造業従業者数の推移(岐阜県)



出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

1989年～2020年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

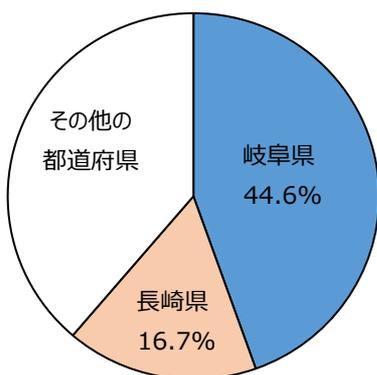
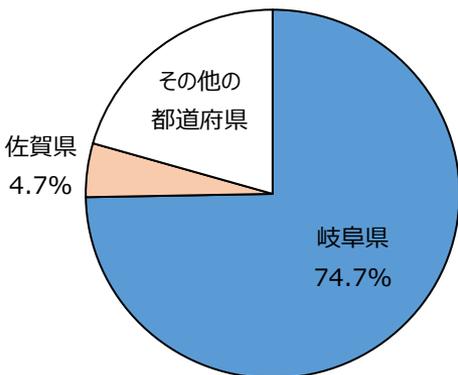
# 参考：製造業品目別出荷額等でみた全国シェア1位の主なもの（2022年）

## 窯業・土石製品

志野や織部で有名な「美濃焼」

陶磁器製洋飲食器

陶磁器製和飲食器

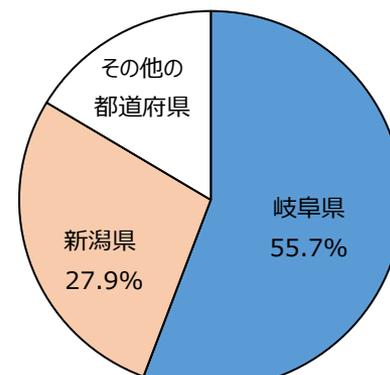
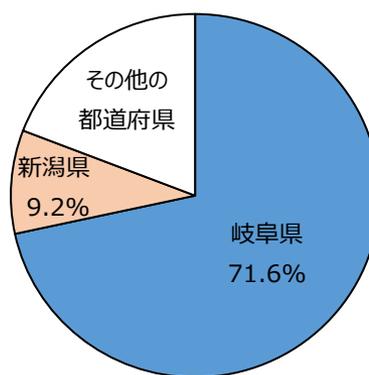


## 金属製品

刀鍛冶の伝統を受け継ぐ関市の刃物

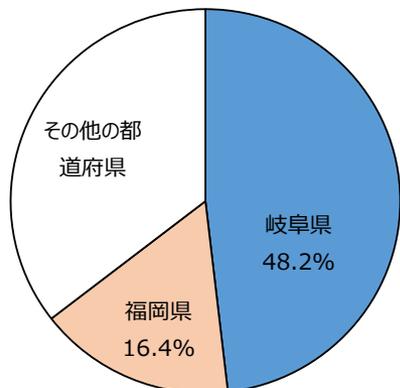
理髪用刃物

ほう丁



## 電気機械・一般機械など

給排水用バルブ・コック

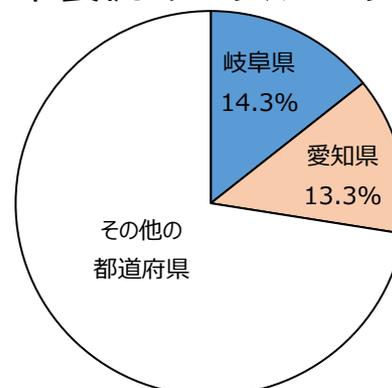


「飛騨の匠」の技を受け継いだ木工産業

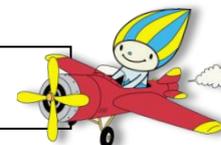


## 木材・家具等

木製机・テーブル・いす



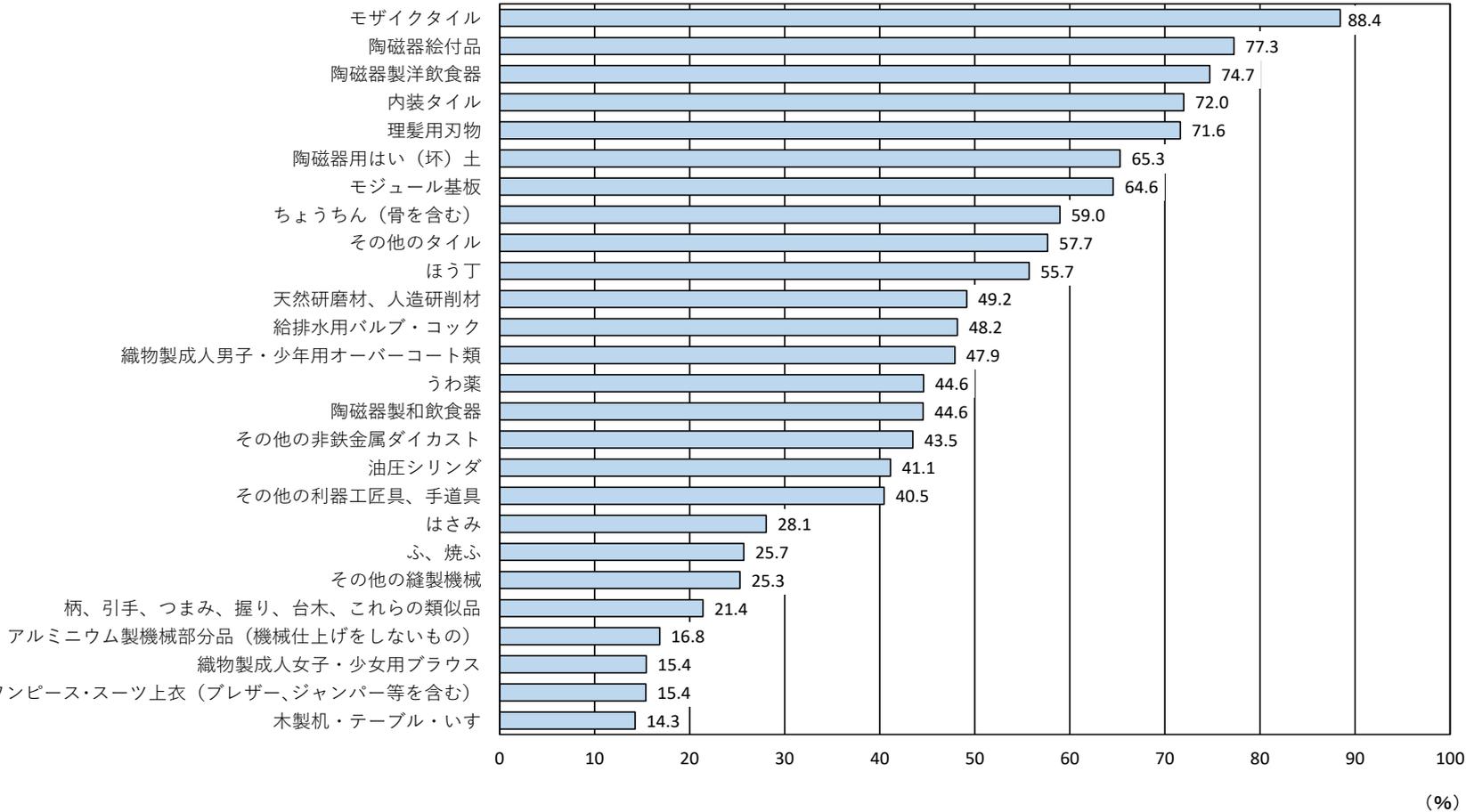
**航空機関連産業の従業者数は、愛知県、兵庫県に次いで3位**



出典：総務省・経済産業省「令和5年（2023年）経済構造実態調査 製造業事業所調査」（個人経営を含まない）  
 なお、秘匿となっているものは除いたランキング。

# 参考：陶磁器・刃物・家具など地場産業を中心に全国シェアが高い

出荷額1位品目別全国に占める出荷額の割合（2022年）



出典：総務省・経済産業省「令和5年（2023年）経済構造実態調査 製造業事業所調査」（個人経営を含まない）

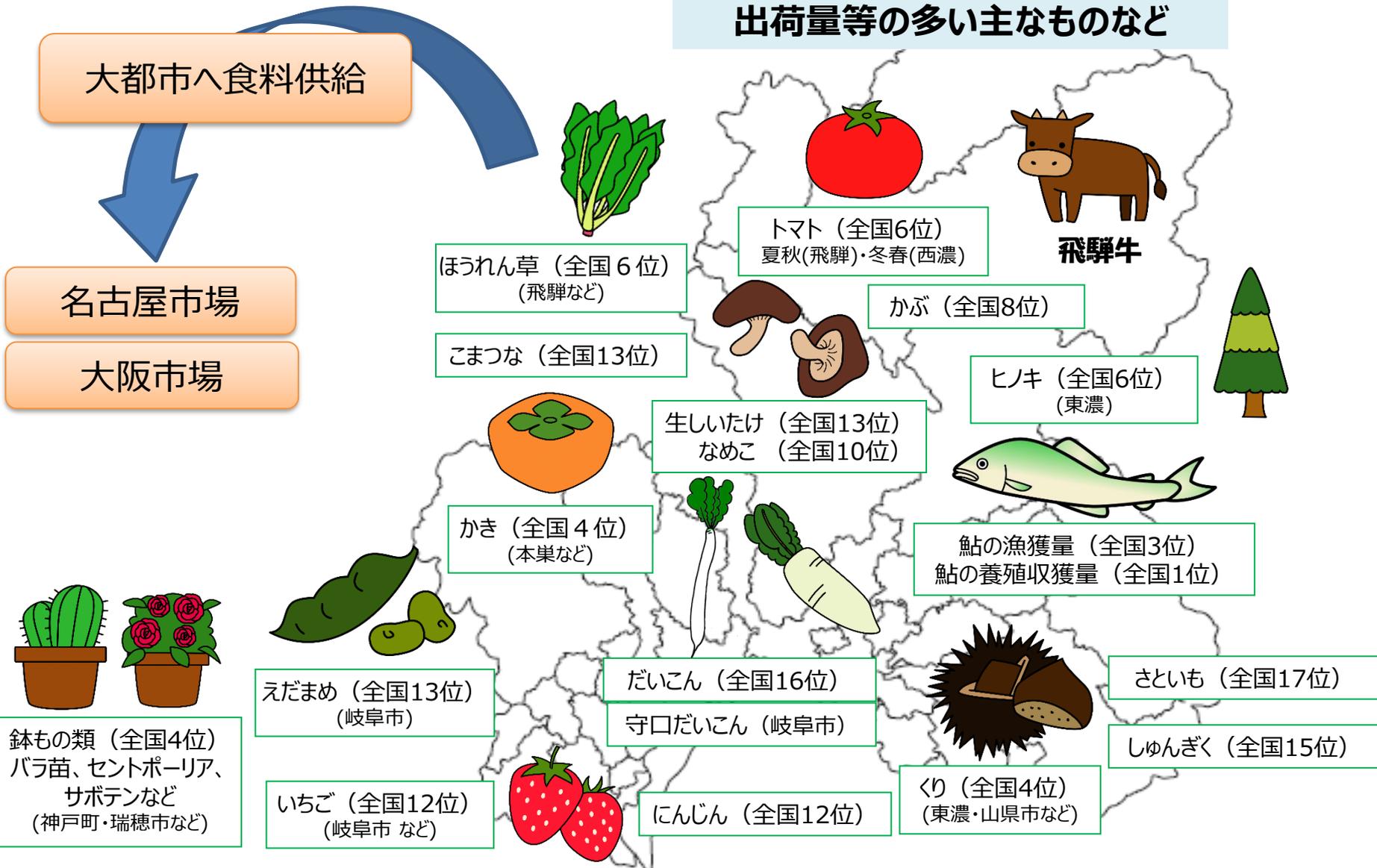
# 南北に長い、豊かな自然を活かした農林畜水産物を生産

大都市へ食料供給

名古屋市場

大阪市場

## 出荷量等の多い主なものなど



# 岐阜県には年間約4400万人の人々が観光で来訪

◆県の観光入込客数（実人数）

4364万9千人

◆観光消費額 3044億円

観光地点別の集客数

出典：令和5年(2023年)  
岐阜県観光入込客統計調査

世界遺産白川郷  
164万人

奥飛騨温泉郷  
45万人

高山地域  
347万人

下呂温泉  
104万人

岐阜公園  
123万人

伊奈波神社  
139万人

土岐プレミアム・アウトレット  
479万人

馬籠宿  
53万人

千代保稲荷神社  
124万人

長良川鶺鴒  
7万人

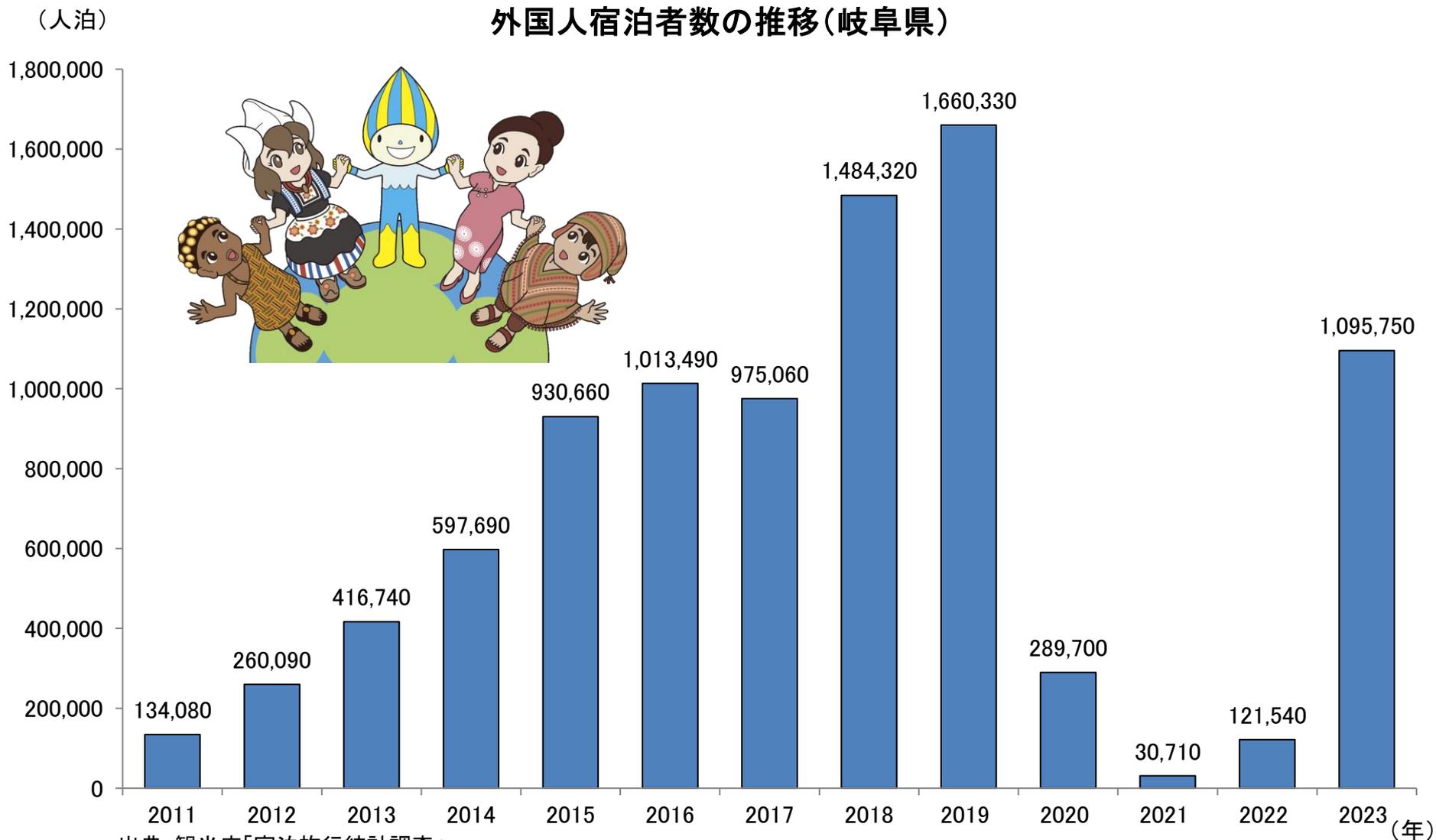
千本松原・国営木曾三川公園  
119万人

河川環境楽園  
467万人



# 岐阜県内に宿泊する外国人は減少していたが、回復傾向にある

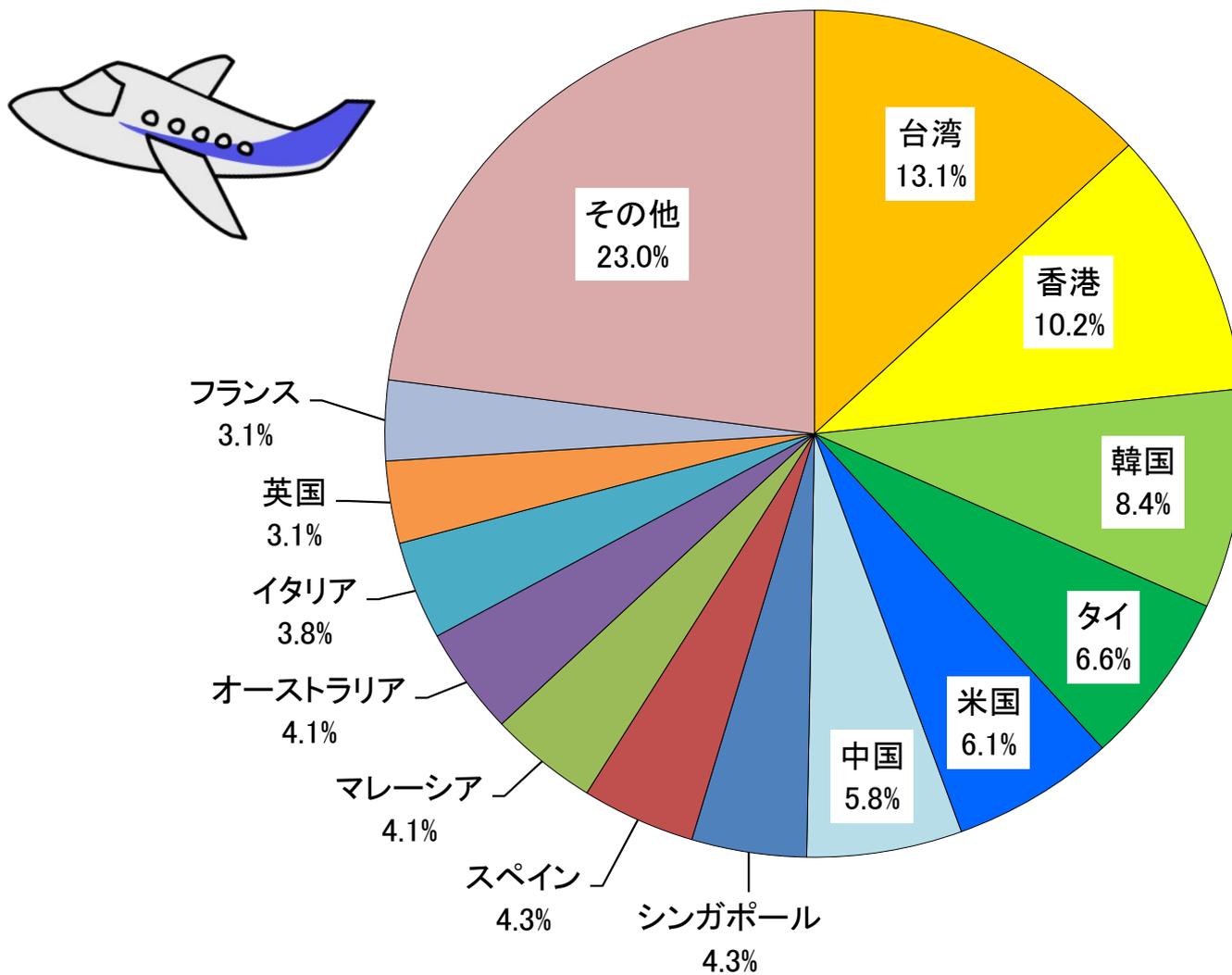
## 外国人宿泊者数の推移(岐阜県)



出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」

# アジア圏内からの外国人宿泊者が多い

国籍別外国人宿泊者数の割合(2023年:岐阜県)



出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」



# 国勢調査からみた 労働の状況

# 労働力人口（働く意思のある人）は、2005年をピークに減少傾向

## ◆労働力人口（就業者+完全失業者）は減少

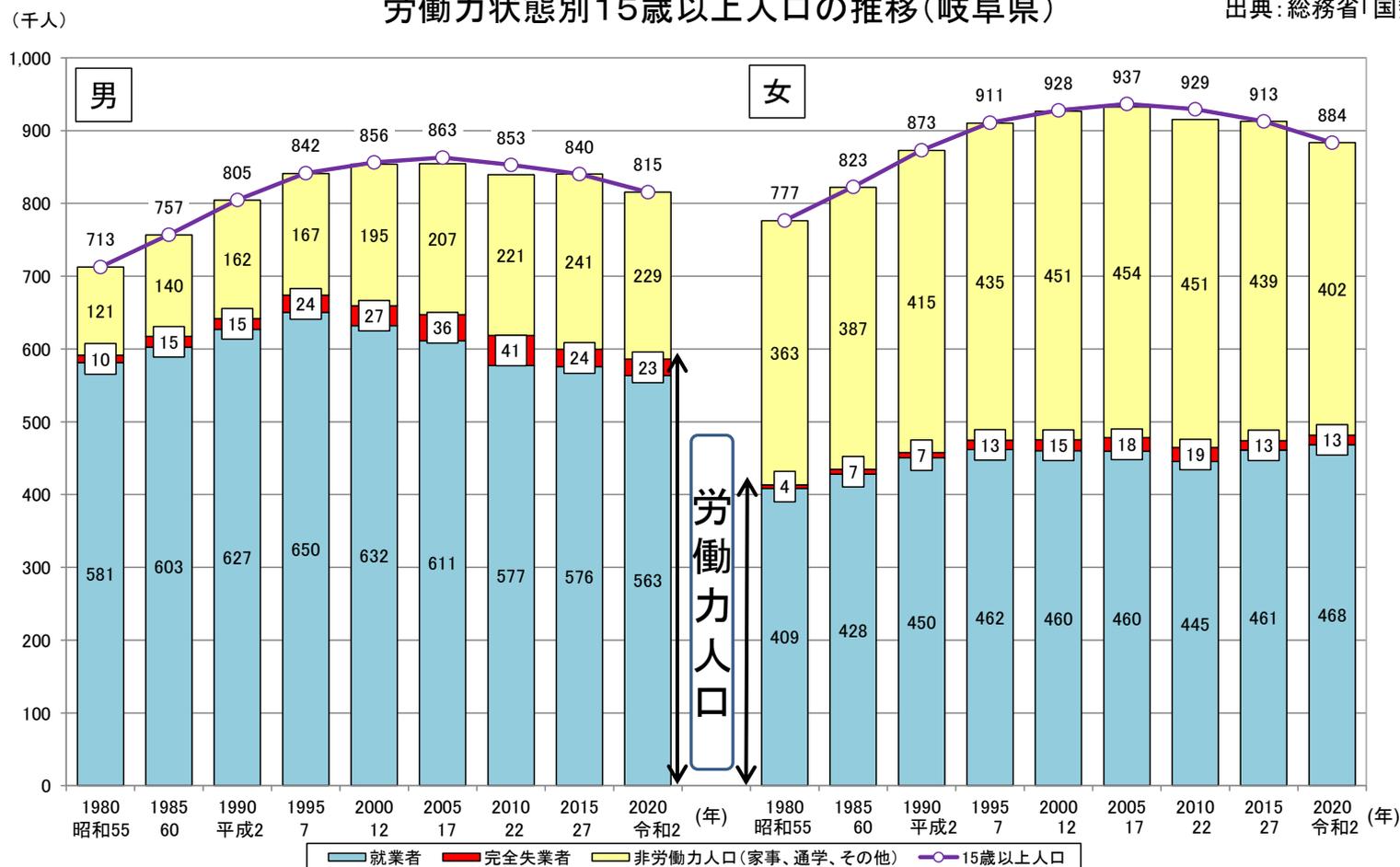
- ・就業者 男 563,470人(2015年比 12,393人減) 女 468,458人(2015年比 7,260人増)
- ・完全失業者 男 22,571人(2015年比 1,111人減) 女 13,297人(2015年比 587人増)

## ◆女性の労働力率（人口に占める労働力人口の割合）は上昇

- ・男 2015年：71.3%→2020年：71.9%(全国72.4%) 女 2015年：51.9%→2020年：54.5%(全国54.2%)

労働力状態別15歳以上人口の推移(岐阜県)

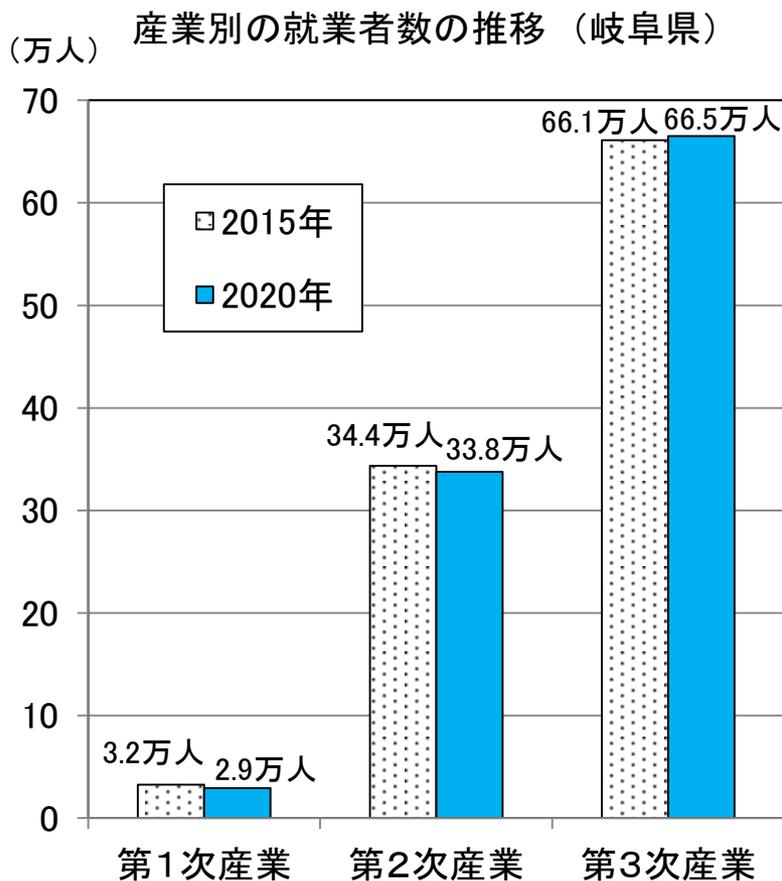
出典：総務省「国勢調査」



※なお、2010年までの総人口は労働力状態不詳を含むため、就業者、完全失業者、非労働力人口の計とは一致しない。2015年、2020年は不詳補完値。

# 就業者数は5年間で約5千人が減少

医療・福祉で増加  
卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業、製造業で減少



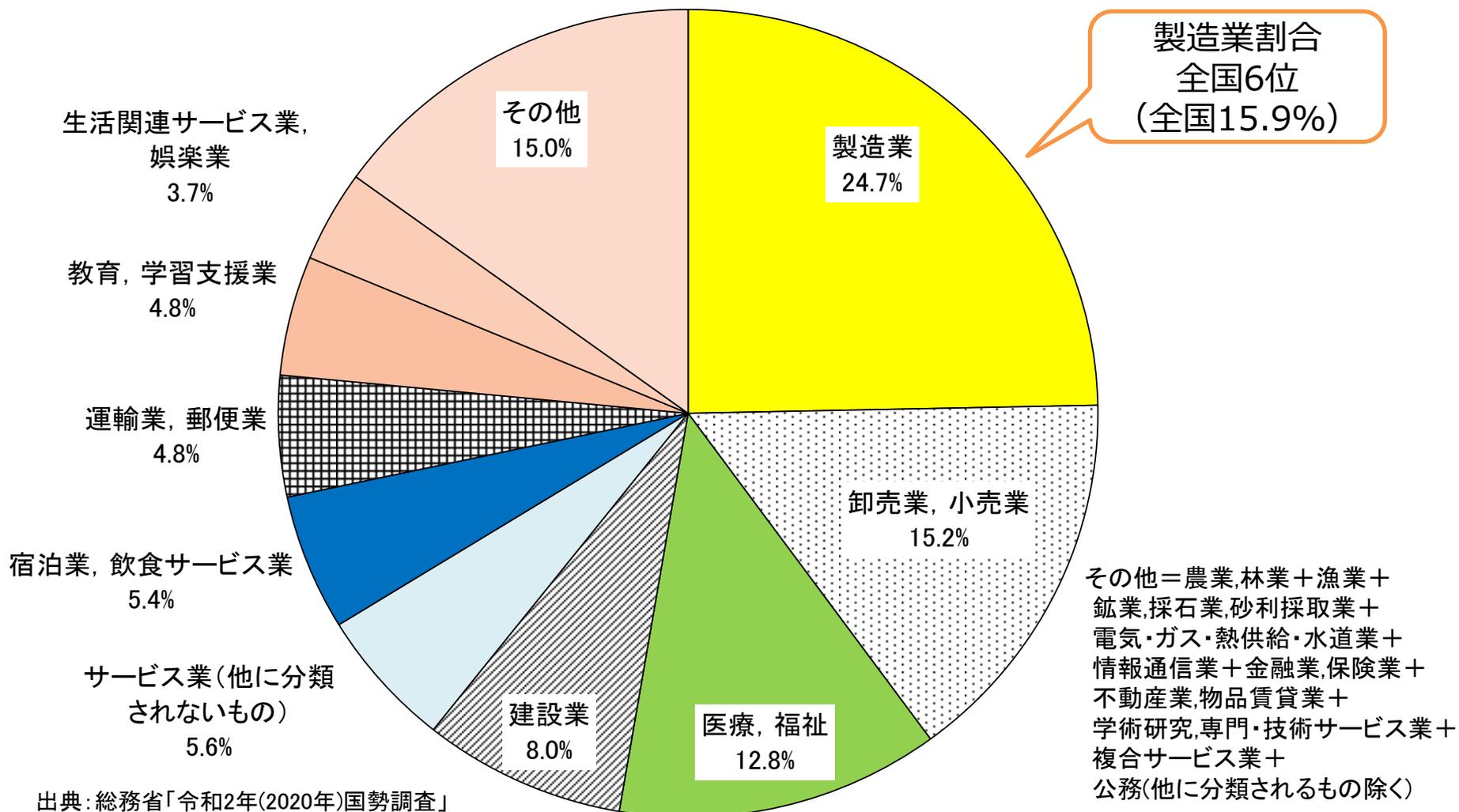
産業別の就業者数（岐阜県）

	2015年	2020年	2015→2020年
総数	1,037,061	1,031,928	△ 5,133
A 農業、林業	32,206	29,052	△ 3,154
B 漁業	227	199	△ 28
C 鉱業、採石業、砂利採取業	604	517	△ 87
D 建設業	84,466	82,430	△ 2,036
E 製造業	258,496	254,681	△ 3,815
F 電気・ガス・熱供給・水道業	4,842	4,540	△ 302
G 情報通信業	14,222	14,579	357
H 運輸業、郵便業	48,209	49,977	1,768
I 卸売業、小売業	164,400	157,341	△ 7,059
J 金融業、保険業	24,341	21,766	△ 2,575
K 不動産業、物品賃貸業	12,275	12,742	467
L 学術研究、専門・技術サービス業	27,487	28,779	1,292
M 宿泊業、飲食サービス業	59,930	56,099	△ 3,831
N 生活関連サービス業、娯楽業	40,237	37,793	△ 2,444
O 教育、学習支援業	46,236	49,338	3,102
P 医療、福祉	120,883	131,694	10,811
Q 複合サービス事業	9,950	9,276	△ 674
R サービス業（他に分類されないもの）	54,604	57,338	2,734
S 公務（他に分類されるものを除く）	33,446	33,787	341
T 分類不能の産業	-	-	-
第1次産業	32,433	29,251	△ 3,182
第2次産業	343,566	337,628	△ 5,938
第3次産業	661,062	665,049	3,987

出典：総務省「国勢調査」 ※2015年、2020年は不詳補完値による。

# 就業者数で、最も多くを占めるのは製造業次いで、 卸売小売業、医療・福祉が多くを占める

産業大分類別就業者数(岐阜県 2020年)



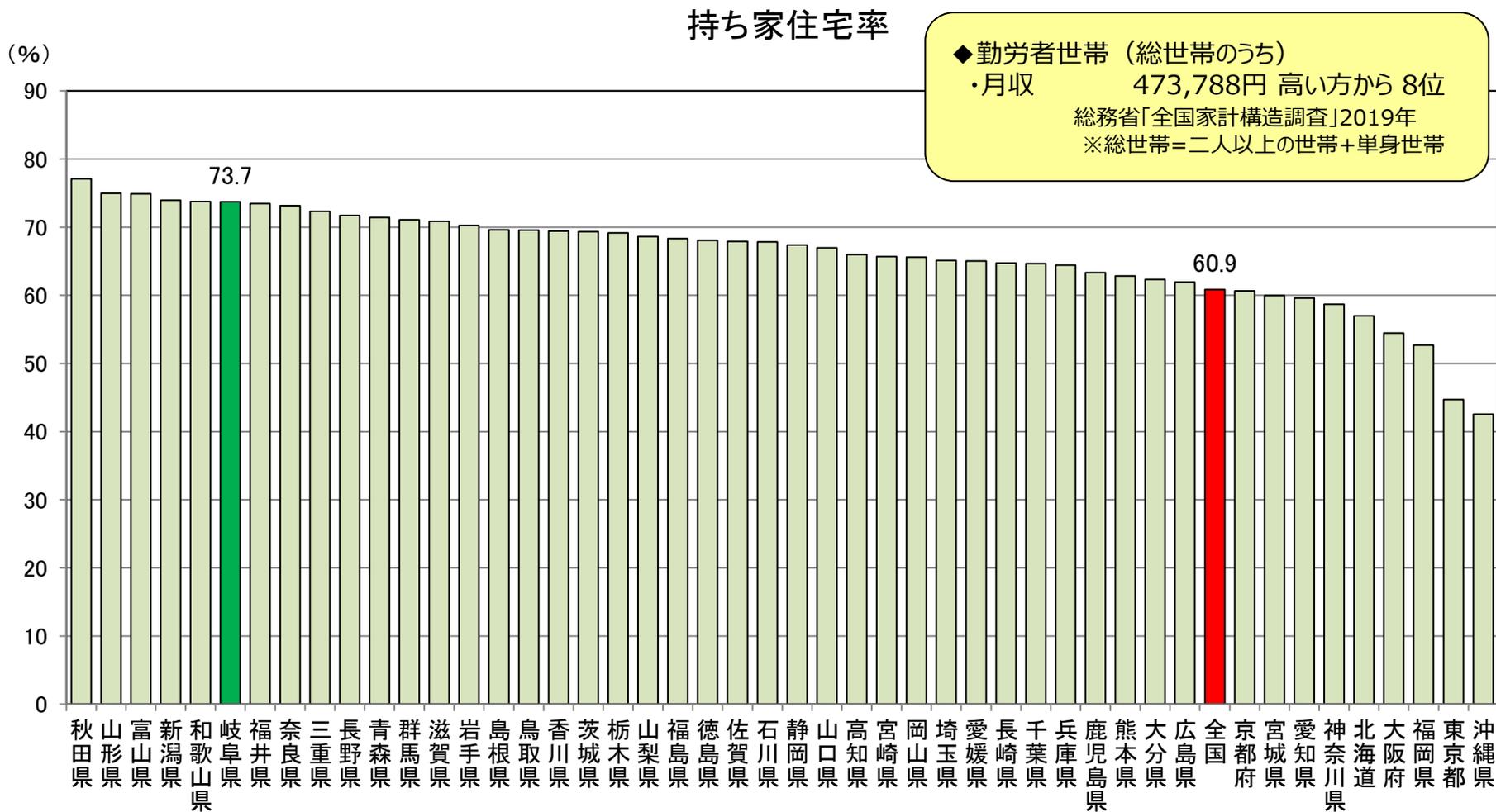
出典:総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

※不詳補完値

# 岐阜県民の暮らし

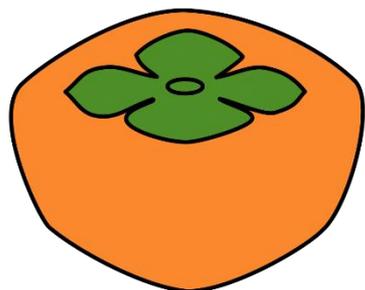
# ゆとりをもって暮らしている

- 県の居住世帯のある住宅のうち、持ち家の割合は73.7%で全国6位。全国平均は60.9%
- 県の1人あたり居住室の畳数は16.76畳で、全国8位と広い。全国平均は14.69畳。



# 岐阜の人はこんなものが大好き

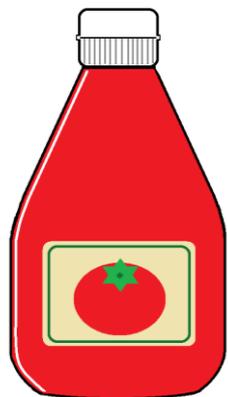
## ★柿とケチャップが大好き



**柿（かき）**

購入量 : 全国1位

購入金額 :



**ケチャップ**

購入量 : 全国1位

購入金額 :

その他こんなものの購入金額も多いです

全国 2位

・和生菓子  
（ようかん、まんじゅう以外）

全国 3位

・卵

全国 4位

・生しいたけ  
・スナック菓子

全国 5位

・もち  
・魚介のつくだ煮  
・えのきたけ  
・豆類  
・ふりかけ

出典：総務省「家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(2022年～2024年平均)」  
（1世帯あたり品目別年間支出金額・購入数量）

# 岐阜の人は外食が好き 家計調査では上位

令和4年(2022年)～令和6年(2024年)平均1世帯あたり品目別年間支出金額

(単位:円)

外食		日本そば・うどん		すし(外食)		和食		中華食		洋食		喫茶代	
順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額
0 全国	169,631	0 全国	6,744	0 全国	15,325	0 全国	24,196	0 全国	4,683	0 全国	11,834	0 全国	8,829
1 東京都区部	242,244	1 高松市	16,371	1 金沢市	22,489	1 岐阜市	42,343	1 岐阜市	8,710	1 宇都宮市	20,348	1 岐阜市	14,750
2 さいたま市	229,706	2 静岡市	11,270	2 静岡市	21,387	2 佐賀市	38,039	2 横浜市	8,503	2 横浜市	18,609	2 名古屋市	14,148
3 名古屋市	215,806	3 山形市	9,687	3 富山市	19,310	3 名古屋市	36,901	3 堺市	7,632	3 岐阜市	18,601	3 東京都区部	13,605
4 川崎市	212,345	4 岐阜市	8,974	4 名古屋市	18,959	4 高松市	34,804	4 川崎市	7,489	4 名古屋市	18,154	4 さいたま市	12,604
5 横浜市	209,099	5 宇都宮市	8,847	5 岐阜市	18,914	5 富山市	34,116	5 東京都区部	7,456	5 高松市	17,179	5 横浜市	11,757
6 千葉市	202,838	6 さいたま市	8,712	6 札幌市	18,520	6 静岡市	33,436	6 神戸市	7,416	6 東京都区部	16,901	6 川崎市	11,593
7 岐阜市	192,428	7 仙台市	8,666	7 高知市	18,244	7 金沢市	30,789	7 名古屋市	6,851	7 静岡市	16,842	7 千葉市	11,267
8 大津市	191,630	8 名古屋市	8,503	8 宇都宮市	18,171	8 宇都宮市	30,467	8 京都市	6,753	8 水戸市	16,116	8 京都市	10,345
9 宇都宮市	189,726	9 岡山市	8,254	9 川崎市	17,653	9 大阪市	29,611	9 静岡市	6,607	9 川崎市	15,982	9 神戸市	10,159
10 神戸市	188,666	10 浜松市	8,217	10 相模原市	17,554	10 横浜市	28,548	10 宇都宮市	6,476	10 千葉市	15,836	10 奈良市	10,058
11 静岡市	188,071	11 前橋市	8,143	11 奈良市	17,405	11 奈良市	28,504	11 奈良市	6,472	11 札幌市	15,181	11 大津市	9,901
12 熊本市	185,532	12 富山市	8,050	12 山形市	17,317	12 山口市	28,181	12 大津市	6,352	12 佐賀市	15,066	12 岡山市	9,804
13 奈良市	183,561	13 広島市	7,968	13 福井市	17,297	13 川崎市	27,857	13 高松市	6,351	13 富山市	14,846	13 相模原市	9,795
14 福岡市	183,479	14 山口市	7,812	14 堺市	17,219	14 浜松市	27,622	14 大阪市	6,305	14 京都市	14,504	14 金沢市	9,140
15 京都市	182,920	15 北九州市	7,785	15 東京都区部	17,051	15 東京都区部	27,478	15 高知市	6,077	15 山形市	14,263	15 宇都宮市	9,009
16 高知市	181,728	16 金沢市	7,699	16 京都市	16,946	16 さいたま市	27,330	16 千葉市	6,013	16 金沢市	13,936	16 仙台市	8,958
17 金沢市	181,507	17 福岡市	7,681	17 千葉市	16,398	17 徳島市	26,798	17 水戸市	5,367	17 さいたま市	13,923	17 甲府市	8,862
18 富山市	181,304	18 高知市	7,675	18 福島市	16,321	18 堺市	26,526	18 富山市	5,316	18 高知市	13,793	18 大阪市	8,832
19 相模原市	181,240	19 徳島市	7,652	19 大阪市	16,281	19 高知市	26,328	19 徳島市	4,872	19 仙台市	13,788	19 高松市	8,584
20 岡山市	175,255	20 佐賀市	7,476	20 長野市	16,181	20 福島市	26,091	20 さいたま市	4,855	20 前橋市	13,270	20 静岡市	8,540

出典:総務省「家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(2022年～2024年平均)」



データからも岐阜の人は外食が好き  
なことがよくわかるね。